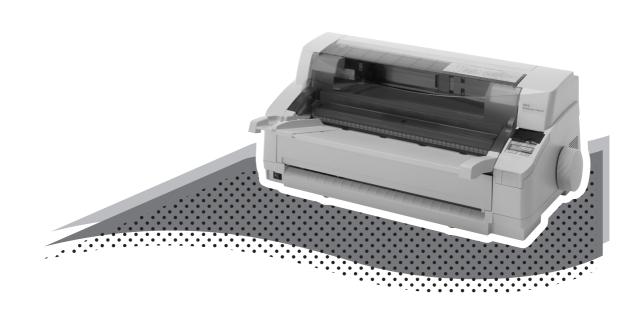
MultiImpact 700LX2

ドットインパクトプリンタ
オンラインマニュアル

853-810826-703-A
第2版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は、指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

記号	意味	記号	意味
△	**発煙または発火**のおそれがあることを示します。	△	**けが**をするおそれがあることを示します。
△	**感電**のおそれがあることを示します。	△	**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
△	**火傷**を負うおそれがあることを示します。	△	**特定しない一般的な注意・警告**を示します。
△	**体内に入れると有害な**物質であることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「🚫」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	金属類を差し込まないで下さい。感電のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による感電や火災のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。感電や火災のおそれがあります。		直射日光を避けてください。発火のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれてけがをするおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。けがをするおそれがあります。
	お子様を近づけないでください。けがをするおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。発火のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。火災のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。感電や火災のおそれがあります。
	プリンタを一人で持ち上げないでください。けがをするおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。	100V 専用	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して火災や感電のおそれがあります。		

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。
Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。
Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。
Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。
Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

853-810826-703-A　第2版

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NECドットプリンタMultiImpact 700LX2を正しくお使いいただくための手引き書です。本マニュアルにはMultiImpact 700LX2の設置、操作に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

なお、ユーザーズマニュアルではプリンタを初めてお使いになるときの手順や日常の保守、「故障かな？」と思ったときの処置方法が、ソフトウェアマニュアルではプリンタドライバなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

2005年 12月　初版
2006年　3月 第2版

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章　用紙の取り扱い

はがきと封筒の印刷方法について説明しています。

第2章　メニューモードで設定変更する

メニューモードの設定方法や設定の詳細について説明しています。

第3章　オプション

オプションの取り付け方法や取り外し方法について説明しています。

第4章　プリンタドライバ

各OSの印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第5章　リモートパネル

リモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

第6章　PrinterSignalStation

PrinterSignalStationの使用方法について説明しています。

付録　技術情報

テスト印刷のサンプルや文字コード表を載せています。

オンラインマニュアルの使い方

このオンラインマニュアルは、目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクが設定してあります。ここではしおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAdobe Readerを使用して簡単に説明します。Adobe Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの［Adobe Readerのヘルプ］をご覧ください。

目的のページを表示する

［しおり］、［サムネール］のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

しおりを使う

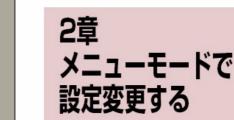
しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。

1. ［しおり］タブをクリックする。

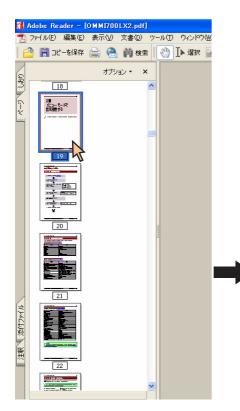
2. ［手のひら］ツールを表示させる。

3. 表示させたいしおりを選びクリックする。

   しおりの上へ［手のひら］ツールを移動すると［指さし］の形に変わるので、その場所をクリックしてください。選んだしおりのページが表示されます。

   階層化された項目は、項目名の左側に［+］、［—］の記号が表示されます。その下の階層は［+］を押すと表示し、［—］を押すと非表示になります。

サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。

1. ［ページ］タブをクリックする。

2. ［手のひら］ツールを表示させる。

3. 表示させたいページのサムネールを選びダブルクリックする。

   サムネールの上へ［手のひら］ツールを移動するとカーソル（矢印）に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。選んだページが表示されます。

リンクを使う

リンクをクリックすると、目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目的ページや文章内の青の下線文字にリンクの設定がしてあります。［手のひら］ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. ［手のひら］ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。
リンクのある場所へ[手のひら]ツールを移動すると[指さし]の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

2　メニューモードで設定変更する　26

メニューモード設定の手順

メニューモードに入り、設定を変更するための手順の流れは次のとおりです。具体的な手順は例をあげて説明します。例以外の設定を変えたいときは、「設定内容の詳細」(29ページ) を見ながら、例を参考にして変更を行ってください。

例1　「2.　機能選択」メニューの「2.4　書式設定1-用紙長」を99にする（初期設定値は66）

❶ プリンタの電源スイッチをONにする。

❷ トラクタユニットに連続紙（用紙幅約381mm（15インチ）以上）をセット・吸入する。

❸ プリンタの電源スイッチをOFFにする。

シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

❹ [印刷可]スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。
メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

【1. 設定状態印刷】
2. 機能選択
3. パラメータ設定機能
4. メモリスイッチ設定機能
5. 罫線ぞろえ
6. メニューモードの終了

❺ ［▼］スイッチを1回押し、以下のように印刷されることを確認する。

❽ ［▶］スイッチを33回押す。
以下のように印刷されれば、設定完了です。

高速印刷　x 33

2.4　書式設定1ー用紙長　99行

❾ ［印刷可］スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。

印刷可

2　メニューモードで設定変更する　29

設定内容の詳細

ここでは、メニューモードで設定できる内容をメニューモードの「メインメニュー」の順で説明します。設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

【1. 設定状態印刷】
2. 機能選択
3. パラメータ設定機能
4. メモリスイッチ設定機能
5. 罫線ぞろえ
6. メニューモードの終了

メインメニュー一覧

1.　設定の状態印刷

設定できるすべての項目に対し、現在の設定状態を印刷します。印刷結果は「設定状態一覧印刷結果サンプル」(24ページ) をご覧ください。

2.　機能選択

2.0　機能選択状態印刷　（【しない】，する）
「2. 機能選択」で設定できるすべての項目の現在の設定状態を印刷します。

2.1　用紙厚調整の設定　（【オート】，1~12）
用紙の厚さに応じて印刷ヘッドと用紙の間隔を調整します。通常は「オート」で使用します。マニュアルで設定したいときは、次の表を参照して設定値を選択してください。

用紙の厚さが約0.42mmを越えるものは使用しないでください。なお、マニュアル設定値の8~12は使用しないでください。

用紙枚数	用紙坪量（連量）	厚さ（mm）	マニュアル設定値
1枚	46.5g/m^2（40kg）	約0.06mm	1
	64.0g/m^2（55kg）	約0.08mm	1
	81.4g/m^2（70kg）	約0.10mm	1~2
	104.7g/m^2（90kg）	約0.12mm	2
	127.9g/m^2（110kg）	約0.16mm	2~3

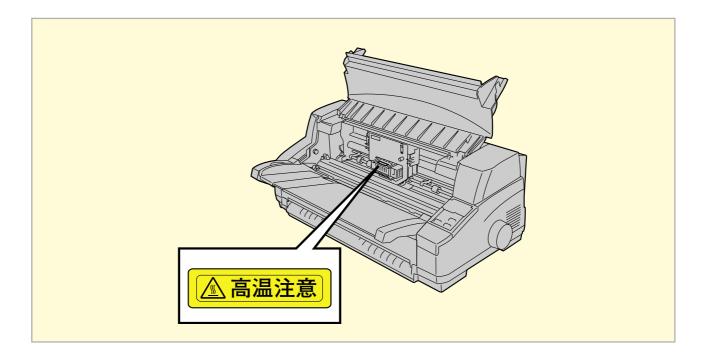
目次

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiImpact 700LX2プリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

853-810826-703-A　第2版

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明についてはii～iiiページの「安全にかかわる表示」を参照してください。

分解・修理・改造はしない

本書、またはユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFFにする

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

注意

高温注意

プリンタの内部には、使用中に高温になる印刷ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意

プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

プリンタ内に異物を入れない

プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

注意

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

雷が鳴りだしたらプリンタに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
- 装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

ほこり・湿気の多い場所で使用しない

- プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると、プリンタが異常動作したり、内部の温度が上がり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

不安定な場所に置かない

プリンタを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタの近くで携帯電話等を使用しない

携帯電話、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

インクリボンをなめたりしない

インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。インクリボンをなめたりすると健康を損なうおそれがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンタを一人で持ち上げない

プリンタや添付品を含んだ購入時の梱包箱の質量は、約22kgです。一人で持つと腰を痛めることがあります。持ち運ぶときは二人以上で持ってください。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

1章
用紙の取り扱い

この章では、MultiImpact 700LX2の用紙の取扱について以下の内容を説明します。

はがき・往復はがきのセット

はがき、往復はがきはカット紙と同じようにシートガイドにセットできます。

チェック

オプションのシートフィーダを使えば、一度に何枚ものはがきをセットすることができます。シートフィーダの使い方は3章の「シートフィーダ」（46ページ）をご覧ください。

使用できるはがき、往復はがきの確認

MultiImpact 700LX2で使用できるはがきの種類は次のとおりです。
詳細はユーザーズマニュアルの「用紙の規格」をご覧になり、印刷可能範囲も併せて確認してください。

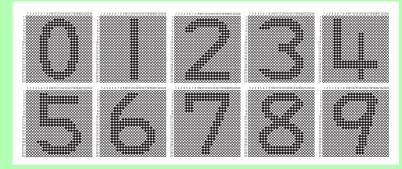
はがきの種類	はがきサイズ	はがき坪量（連量）	用紙セット方向
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m^2（135kg相当）	縦置き、横置き
折り目のない往復はがき	幅200mm×長さ148mm		

はがき、往復はがきに印刷するときの注意

はがき、往復はがきに印刷するときは次のことに注意してください。

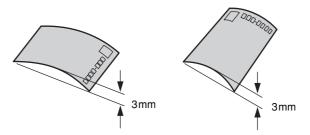
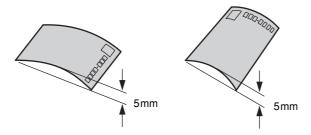
- 折り目のある往復はがきは印刷できません。
- 各用紙の印刷範囲を越えて印刷しないように注意してください。印刷ヘッドを破損したり、プラテンを傷つけたりすることがあります。
- 実際のはがきに印刷する前に、官製はがきと同等の用紙を使って試し印刷を行い、印刷位置や印刷濃度を確認してください。
- 差し出し人の郵便番号欄は、はがきの印刷範囲を越えていますので印刷できません。アプリケーションをお使いの場合はご注意ください。
- 印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70%の場所で行ってください。

チェック

- 宛先郵便番号を印刷する際にお手持ちのソフトウェアで外字登録を行うことができる場合、下記の日本郵政公社推奨の郵便番号パターンを登録してご使用になることをお勧めします。

- カスタマバーコードを印刷する際は付録の「カスタマバーコードを印刷する」（181ページ）をお読みください。

はがき、往復はがきのカールについて

はがき、往復はがきがカールしていると正しく印刷できない場合があります。次のことに注意してください。

- はがきを保管するときは、はがきのカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。
- はがきがカールしているときは、カールを3mm以下になるように直し、凹部が上側になるようにセットしてください。

- はがきの両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- はがきを投函するときは、カールが5mm以下になるように直してください。カールが大きいと、郵便番号読取機が番号を読み取れないことがあります。

ハガキ印刷モードの選択とはがきのセットと吸入

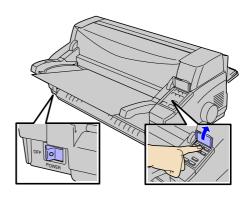
次の手順で「ハガキ印刷モード」を設定し、シートガイドにはがきをセットします。

チェック

はがきをオプションのシートフィーダにセットするときは、3章の「はがき・往復はがきのセットと吸入」(53ページ)をご覧ください。

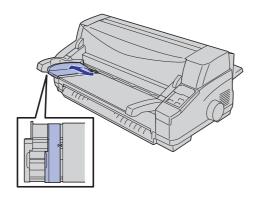
❶ **操作パネル上のシートガイドランプが点灯するまで［用紙選択］スイッチを押す。**

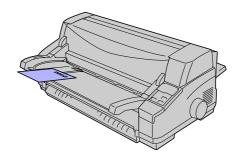
❷ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

❸ **操作パネルカバーを開けて［高速印刷］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。**

ハガキランプが点灯します。

これで、プリンタは「ハガキ印刷モード」になりました。

❹ **ペーパガイドの▷と、シートガイド上の◁を合わせる。**

❺ **はがきをセットする。**

はがきの印刷する面を表にし、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま軽く奥に突き当たるまではがきを押し込みます。

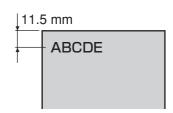
一定時間が経過するとはがきが自動的に吸入されます。用紙P.Eランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

チェック

一定時間とはパラメータ設定の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法は2章の「メニューモードの設定方法」(25ページ)をご覧ください。

チェック

- 上記の方法で「ハガキ印刷モード」をセットした場合は、プリンタの電源スイッチを OFFにするか強制リセットすると「ハガキ印刷モード」は解除されてしまいます。プリンタの電源スイッチをOFFにしても解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを設定してください。設定方法については2章の「メニューモードの設定方法」(25ページ) をご覧ください。
- はがきは水平にセットしてください。傾いて吸入された場合は、[排出/カット] スイッチを押して、いったんはがきを排出してからセットし直してください。
- メモリスイッチ4-8(MSW4-8)がONになっていると、はがきは自動吸入されません。この場合は、はがきをセット後、[吸入/退避] スイッチを押してはがきを吸入させてください。

はがき吸入位置の微調整

「ハガキ印刷モード」にすると、吸入位置がはがき先端から第1行目の文字中央位置まで11.5mmになります。
吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」(15ページ) をご覧ください。

封筒のセット

シートガイドに封筒をセットする方法について説明します。

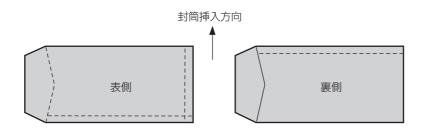
オプションのシートフィーダを使えば、一度に約20枚まで封筒をセットすることができます。シートフィーダの使い方は3章の「シートフィーダ」(46ページ)をご覧ください。

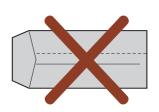
使用できる封筒の確認

MultiImpact 700LX2で印刷できる封筒の種類は次のとおりです。
詳細はユーザーズマニュアルの「用紙の規格」をご覧ください。また印刷可能範囲も併せて確認してください。

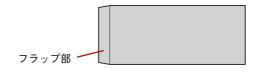
封筒の種類	封筒サイズ（幅・長さ）	封筒坪量＊1	封筒セット方向
長形4号	幅90mm×長さ205mm	50～85g/m^2	横置きのみ
長形3号	幅120mm×長さ235mm	50～85g/m^2	
角形3号	幅216mm×長さ277mm	70～85g/m^2	
角形2号	幅240mm×長さ332mm	70～120g/m^2	
洋形2号＊2	幅114mm×長さ162mm	70～85g/m^2	
洋形5号＊2	幅95mm×長さ217mm	70～85g/m^2	

＊1　単位は坪量［g/m^2］で、坪量とは 1m^2 の質量を g で示したものです。

＊2　シートフィーダではご使用になれません。

封筒に関する注意

- クラフト紙、ケント紙などでできた封筒を使用してください。
- 裏の中央付近で重ね合わせた封筒、フラップ部にのり付けしてある封筒、二重封筒は使用できません。
- 折れ、しわ、破れなどのない封筒を使用してください。
- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
- 封筒を保管するときは、封筒のカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。

封筒に印刷するときの注意

封筒に印刷するときは、次のことに注意してください。

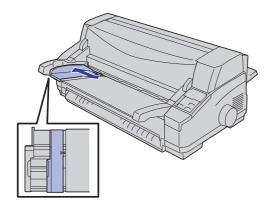
- フラップ部には印刷しないでください。
- 各用紙の印刷範囲を越えて印刷しないように注意してください。印刷ヘッドを破損したり、プラテンを傷つけたりすることがあります。
- 封筒はペーパガイドに沿って、まっすぐセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん封筒を排出してから、セットし直してください。
- メモリスイッチ 4-8（MSW4-8）が ON になっていると、封筒は自動吸入されません。この場合は封筒をセット後、［吸入/退避］スイッチを押して封筒を吸入させてください。
- 封筒の両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- 封筒への印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70%の場所で行ってください。
- フラップ部は曲げないでセットしてください。

封筒のセットと吸入

次の手順で封筒に印刷します。

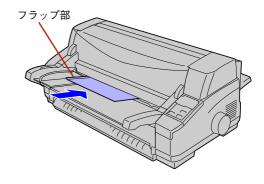
チェック

封筒をオプションのシートフィーダにセットするときは、3章の「封筒のセットと吸入」（55ページ）をご覧ください。

❶ **操作パネル上のシートガイドランプが点灯するまで［用紙選択］スイッチを押す。**

❷ **左のペーパガイドの▷と、シートガイド上の◁を合わせる。**

❸ **封筒をセットする。**

封筒の印刷する面を表にして、フラップ部の左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に突き当たるまで封筒を押し込みます。

一定時間が経過すると封筒が自動的に吸入されます。用紙P.Eランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

チェック

一定時間とはパラメータ設置の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法は2章の「メニューモードの設定方法」（25ページ）をご覧ください。

連続紙のカット

連続紙をカットするには、ミシン目のカット位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り、手でカットします。カット位置までの用紙送り方法には、以下の3つがあります。

- カット機能を使う（[排出/カット］スイッチを押す）.................................... 11ページ
- 自動カット位置送り機能を使う 13ページ
- プラテンノブを使う 14ページ

使用している連続紙が坪量46.5～157.0g/m^2（連量40～135kg相当）の上質紙で1枚の場合、連続紙のカット機能を使うことができます。
印刷終了後に連続紙の最後の部分がトラクタから外れている場合は、用紙が排出されてしまうため「カット機能」は働きません。カット機能を使わないで連続紙をカットするときには「プラテンノブ」を使用してください。

カット機能を使う

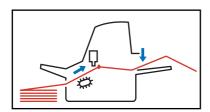
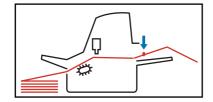
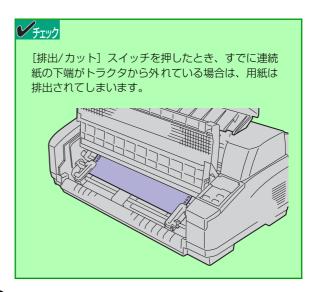
カット機能とは、連続紙のミシン目位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り出し、手でミシン目部をカットした後、次ページの先頭位置（用紙の吸入位置）まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙を無駄なく使用することができます。

カット機能を使ってきちんとミシン目位置でカットできるようにするには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。用紙長の設定については2章の「メニューモードの設定方法」（25ページ）を参照してください。

❶ ［排出/カット］スイッチを押す。

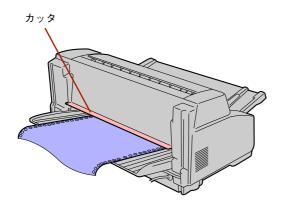
連続紙がカット位置まで送られます。カット位置を微調整する必要がないときは手順4に進んでください。

チェック

［排出/カット］スイッチを押したとき、すでに連続紙の下端がトラクタから外れている場合は、用紙は排出されてしまいます。

❷ ［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

印刷可ランプが消灯します。

❸ **カット位置を微調整する。**

［微調モード］スイッチを押しながら［▼］スイッチを押して連続紙を多めに戻してから、ミシン目がプリンタ背面の用紙排出口上部にあるカッタにそろうまで［▲］スイッチを押してください。

［▲］スイッチと［▼］スイッチの機能は次の表のとおりです。

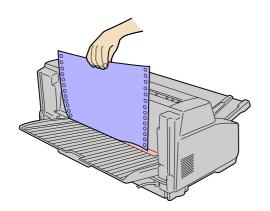
スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
［▲］スイッチ	約0.4mm（2/120インチ）順方向に用紙を送る	連続して送る
［▼］スイッチ	約 4.2mm（20/120 インチ）逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

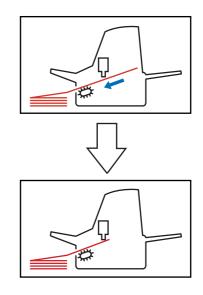
チェック

- 微調整時の用紙送りには順方向、逆方向とも限界位置があります。調整範囲は約−4.2mm（−20/120インチ）〜約4.2mm（20/120インチ）です。
- 設定した新しいカット位置は記憶され、次からのカット機能実行時のカット位置になります。

❹ **連続紙を引き上げ、カッタを利用してカットする。**

チェック

用紙の右または左端が破れると、プリンタが用紙幅を誤って認識するため正しく印刷されないことがあります。
連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分はカッタではきれいにカットできない可能性があります。

❺ **連続紙がカット位置まで排出された後、しばらくして自動的に先端が吸入位置まで戻ることを確認する。**

自動動作を待たなくても、もう一度［排出/カット］スイッチを押せば、用紙がすぐ戻ります。

自動カット位置送り機能を使う

印刷後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。メモリスイッチ4-2（MSW4-2）で自動カット位置送り機能をONにします。設定方法は以下のとおりです。

❶ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

❷ **トラクタユニットに連続紙をセット・吸入する。**

❸ **いったんプリンタの電源スイッチをOFFにする。**

> シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

❹ **［印刷可］スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

```
【1. 設定状態印刷】
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
 4. メモリスイッチ設定機能
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❺ **［▼］スイッチを3回押し、右のように印刷されることを確認する。**

```
 1. 設定状態印刷
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
【4. メモリスイッチ設定機能】
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❻ **［▶］スイッチを1回押し、サブメニューと設定内容を印刷する。**

```
4.　メモリスイッチ機能
  4.0　メモリスイッチ状態印刷　　【しない】　する
```

❼ **［▼］スイッチを「MSW4-2」が印刷されるまで繰り返し押す。**

以下のように印刷され、設定を変更できる状態になります。

```
4.26　MSW4-2　自動カット位置送り機能の切り替え　【OFF】　ON
```

❽ **［▶］スイッチを1回押す。**

以下のように印刷されれば、設定完了です。

```
4.26　MSW4-2　自動カット位置送り機能の切り替え　OFF　【ON】
```

❾ **［印刷可］スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。**

補足説明

用紙がカット位置に送られた後、連続紙をカットした、しないにかかわらず、一定時間で自動的に次の印刷位置まで用紙が戻ります。一定時間とはパラメータ設定の「連続紙カット位置からの自動戻り時間」で設定した時間です。

カットできなかった場合は［排出/カット］スイッチを押して、もう一度用紙をカット位置まで送り直してカットしてください。

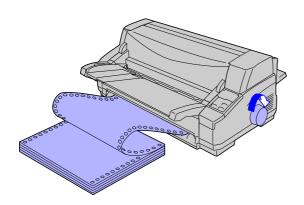
あらかじめ、パラメータ設定機能でカット位置からの自動戻り時間を「無し」にすることもできます。パラメータ設定の方法については2章の「メニューモードの設定方法」（25ページ）をご覧ください。

自動戻り時間を「無し」に設定した場合は、用紙をカットした後［吸入/退避］スイッチを押して、次の印刷位置まで用紙を戻してください。

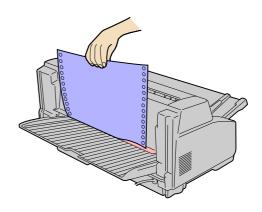
用紙のカットを行わずに印刷を継続すると、障害が発生するおそれがあります。用紙のカットをあまり行わずに印刷を継続する場合は、自動カット位置送り機能をOFFにして使うことをお勧めします。

プラテンノブを使う

プラテンノブを手で回して、手動で連続紙をカット位置まで送り出す方法です。

❶ プリンタ背面のカッタにミシン目がそろうまで、プラテンノブを時計回りに回す。

❷ 連続紙を引き上げ、カッタを利用してカットする。

チェック

- 用紙の右または左端が破れると、プリンタが用紙幅を誤って認識するため正しく印刷されないことがあります。
- 連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分はカッタではきれいにカットできないことがあります。

❸ プラテンノブを反時計回りに回して、連続紙を次の印刷開始位置まで戻す。

用紙吸入位置の微調整

用紙を吸入したとき、吸入位置を微調整することができます。吸入位置はカット紙、連続紙、はがきのそれぞれに設定できます。たとえばカット紙吸入時に吸入位置を微調整した場合、その設定は次からのカット紙の吸入位置になりますが、連続紙やはがきの吸入位置には影響しません。また、そのカット紙の設定はシートガイドでもシートフィーダでも共通です。シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整については、3章の「シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整」(60ページ) をご覧ください。次の方法で微調整を行ってください。

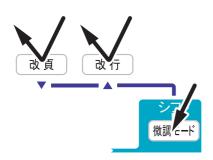
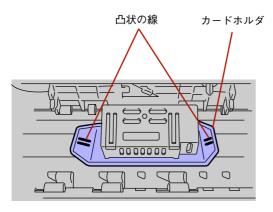
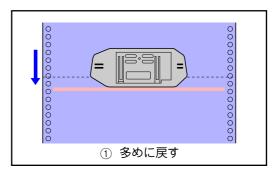
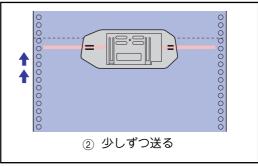
❶ **用紙をセット・吸入する。**

カット紙はシートガイドから自動的に吸入されます。連続紙の場合は用紙のセット後、[吸入/退避] スイッチを押して用紙を吸入します。

❷ **操作パネルカバーを開け、[印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **[微調モード] スイッチを押しながら [▲] スイッチと [▼] スイッチを使って用紙吸入位置を微調整する。**

[▼] スイッチで用紙を多めに戻してから、[▲] スイッチで微調整するようにしてください。

カードホルダの左右にある上下2本の凸状の線の間に第1印刷行がくるので、用紙吸入位置を調整するときの目安にしてください。

① 多めに戻す

② 少しずつ送る

[▲] スイッチと [▼] スイッチの機能は次の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
[▲] スイッチ	約0.4mm（2/120 インチ）順方向に用紙を送る	連続して送る
[▼] スイッチ	約4.2mm（20/120インチ）逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

❹ **微調整が終了したら [微調モード] スイッチから手を放す。**

新規に設定した吸入位置がプリンタに記憶されます。

❺ **[印刷可] スイッチを押す。**

印刷可ランプが点灯します。

補足説明

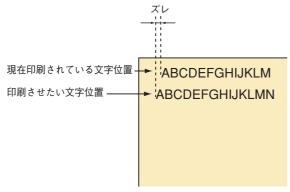
- ［▲］スイッチを押し続けると約0.4mm（2/120インチ）単位で連続して用紙送りできますが、［▼］スイッチで用紙を戻してから［▲］スイッチを押し続けた場合などは、微調整モード起動時の位置になると用紙はその位置でいったん停止します。さらに用紙を送りたいときは、一度手を放してから改めて［▲］スイッチを押してください。
  用紙吸入の工場設定値は次のとおりです。

用紙の種類	用紙上端から第 1 印刷行までの距離
カット紙・封筒（シートガイド使用時）	9.73mm（文字下端まで）
カット紙・封筒（シートフィーダ使用時）	
連続紙	25.4mm（文字下端まで）
はがき	11.5mm（文字中央まで）

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行（文字下端）までの距離が0～26mmになる範囲です。印刷範囲についてはユーザーズマニュアルの付録の「印刷範囲」を参照してください。
- 微調整後の用紙吸入位置を記憶するかしないかは、メモリスイッチ 3-3（MSW3-3）で切り替えることができます。「記憶しない」設定の場合、次の用紙吸入時は前の微調位置に戻ります。メモリスイッチの設定については2章の「メニューモードの設定方法」（25ページ）をご覧ください。
- シートガイドで設定した微調整量はシートフィーダでも有効になります。
- 用紙吸入位置はメニューモードの「パラメータ設定」、あるいは添付のリモートパネルからも調整できます。

印刷開始位置の微調整

各用紙のセット方法で用紙をセットしても印刷桁位置方向（横方向）の印刷開始位置が合わない場合は、以下の手順で印刷開始位置の微調整を行うことができます。この機能で調整された印刷位置の設定は、シートガイドだけでなくトラクタフィーダ、シートフィーダ使用時も有効となります。

❶ **現在印刷されている印刷位置とお望みの印刷位置とのずれ量を測定してください。**

印刷させたい位置の方が左にある場合は、－（マイナス）です。

印刷させたい位置が右にある場合は、＋（プラス）です。

調整可能範囲は、約－1.3mm（－3/60インチ）から約＋1.3mm（＋3/60インチ）の範囲で、約0.4mm（1/60インチ）単位で調整できます。

❷ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❸ **トラクタユニットに連続紙をセット・吸入する。**

❹ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

❺ **［印刷可］スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

メニューモードに入り、以下のようにメインメニューが印刷されます。

```
【1. 設定状態印刷】
  2. 機能選択
  3. パラメータ設定機能
  4. メモリスイッチ設定機能
  5. 罫線ぞろえ
  6. メニューモードの終了
```

❻ **［▼］スイッチを1回押し、以下のように印刷されることを確認する。**

```
  1. 設定状態印刷
【2. 機能選択】
  3. パラメータ設定機能
  4. メモリスイッチ設定機能
  5. 罫線ぞろえ
  6. メニューモードの終了
```

❼ **［▶］スイッチを1回押し、図のようなサブメニューと設定内容を印刷する。**

```
2.  機能選択
  2.0  機能選択状態印刷    【しない】 する
```

❽ **［▼］スイッチを3回押し、「印刷位置の微調整」の設定を変更できる状態にする。**

以下のように印刷されます。

現在値は【 】で囲まれた数値です。

```
2.3 印刷位置の微調整 -1.3mm,-0.8mm, -0.4mm,【0mm】, +0.4mm,+0.8mm, +1.3mm
```

❾ **［▶］スイッチまたは［◀］スイッチを設定したい数値になるまで何度も押す。**

設定したい数値が【 】で囲まれて印刷されれば、設定完了です。

```
2.3 印刷位置の微調整 -1.3mm, -0.8mm,【-0.4mm】, 0mm, +0.4mm,+0.8mm, +1.3mm
```

❿ **［印刷可］スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。**

添付のリモートパネルからも調整することができます。

2章
メニューモードで設定変更する

ここでは、メニューモードで変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法、および設定方法について説明します。

設定を変更する前に

メニューモード設定変更の流れ

メニューモード設定一覧を印刷する（23ページ参照）

メニューモードに入る（25ページ参照）
メインメニューが印刷されます。

変更したいメニューをメインメニューの中から選ぶ（[▲][▼]スイッチ）
メインメニューが印刷されます。

【1. 設定状態印刷】
2. 機能選択
3. パラメータ設定機能
4. メモリスイッチ設定機能
5. 罫線ぞろえ
6. メニューモードの終了

サブメニューに入る（[▶]スイッチ）
サブメニューが印刷されます。

2.　機能選択
2.0　機能選択状態印刷　【しない】　する

サブメニューから変更したい項目を選ぶ（[▲][▼]スイッチ）

設定を変更する（[◀][▶]スイッチ）
サブメニューが印刷されれば変更完了

2.4　書式設定1 ー 用紙長　99行

メニューモードを終了する（印刷可スイッチ2回）

メニューモードで変更できる設定項目

メニューモードで変更できる設定項目および設定値を次の表に示します。【　】で囲んだ値は初期値です。

機能選択設定を変更する（29ページ参照）

設定項目	設定値
機能選択状態印刷	【しない】／する
用紙厚調整の設定	【オート】、1～12
印刷圧微調整	-6 ～【0】～+3
印刷位置の微調整	-1.3mm ～【0mm】～ +1.3mm
書式設定1	8項目
書式設定2	8項目
書式設定3	8項目
クワイエット印刷	【OFF】／ON
縮小印刷の選択	【縮小なし】／縮小2/3／縮小4/5
書体	【明朝体】／ゴシック体

パラメータ設定を変更する（32ページ参照）

設定項目	設定値
パラメータ状態印刷	【しない】／する
カット紙使用時の印刷ヘッドのセンタリング位置	10桁 ～【40桁】～68桁
連続紙使用時の印刷ヘッドのセンタリング位置	10桁 ～【36桁】～68桁
漢字コード表の選択	【JIS1978】／JIS1983／JIS1990
拡張制御コードESC 01で選択できるANK文字フォント	【標準】／イタリック／クーリエ／ゴシック／OCR-B
拡張制御コードESC 02で選択できるANK文字フォント	【標準】／イタリック／クーリエ／ゴシック／OCR-B
用紙長の設定	1行 ～【66行】～ 99行
連続紙使用時の吸入位置	0インチ、1/8インチ、3.8mm、1/6インチ、6.03mm、1/4インチ、1/3インチ、9.7mm、1/2インチ、【1インチ】
カット紙使用時の吸入位置	0インチ、1/8インチ、3.8mm、1/6インチ、6.03mm、1/4インチ、1/3インチ、【9.7mm】、1/2インチ、1インチ
はがき使用時の吸入位置	0インチ、1/8インチ、3.8mm、1/6インチ、6.03mm、1/4インチ、1/3インチ、【11.5mm】、1/2インチ、1インチ
カット紙の印刷位置左側への移動量	【0】～68桁
連続紙使用時のカット位置からの自動戻り時間	8秒、【15秒】、自動戻り無し
ハガキ印刷モード	【解除】／選択
シートガイド使用時の用紙吸入時間	【2】～5秒

メモリスイッチ設定を変更する（34ページ参照）

設定項目	設定値
メモリスイッチ状態印刷	【しない】／する
各国文字	【日本】／アメリカ／イギリス／ドイツ／スウェーデン
データ受信方法の切り替え	【従来互換】／高速受信
制御コードDC1、DC3	【有効】／無効
自動復帰改行機能	【復帰改行】／復帰のみ
印刷指令コード	【CR】／CR+その他
制御コードCRの機能	【復帰のみ】／復帰改行
1バイトコード系の数字「0」の字体	【O】／Ø
シートガイド使用時の用紙無し検出	印刷時のみ／【常時行う】
グラフィックモード	【ネイティブモード】／コピーモード
印刷モード	【HDパイカ】／HSパイカ
8ビット／7ビットデータの切り替え	【8ビット】／7ビット
1行の文字数	【136桁】／80桁
印刷方向	【両方向最短】／片方向
PCモード／情処モード切り替え	【PCモード】／情処モード
用紙吸入位置	【記憶する】／記憶しない
シートフィーダの吸入コード	【ESC a、FF、印刷データ+印刷指令コード】／ESC a、FF、LF、US、VT、印刷データ+印刷指令コード
2バイトコード系の数字「0」の字体	【O】／Ø
ミシン目スキップ	【無効】／有効
印刷ヘッド空打ち防止機能	【有効】／無効
自動カット位置送り機能	【無効】／有効
カット機能の用紙送り量	固定長／【ページ先頭位置+固定長】
ドット列印刷モードの印刷方向	片方向／【両方向】
高速印刷	【解除】／選択
シートガイド使用時の排出方向	【排出方向指定コマンドに従う】／スタッカに排出
シートフィーダ使用時の排出方向	スタッカに排出／【排出方向指定コマンドに従う】
シートガイドからの用紙の自動吸入方式（オートローディング方法）の選択	【オート】／マニュアル

チェック

リモートパネル

このプリンタは「リモートパネル」というソフトウェアを付属しています。これは「機能選択設定」、「パラメータ設定」、または「メモリスイッチ設定」をコンピューター上で設定できるようにするものです。リモートパネルについては「5章　リモートパネル」（125ページ）をご覧ください。

メニューモードの設定一覧を印刷する

MultiImpact 700LX2は表示用パネルを持っていないため、設定の過程や変更ができたかどうかなどを印刷しながら設定確認します。
現在の設定状態を確認するために、メニューモードの設定一覧を次の手順で印刷します。

チェック

メニューモードの設定一覧を印刷する際は、用紙幅約381mm（15インチ）以上の連続紙を使用してください。約381mm（15インチ）以下の連続紙を使うと、全部印刷されないおそれがあります。

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **トラクタユニットに連続紙（用紙幅約381mm（15インチ）以上）をセット・吸入する。**

❸ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

❹ **操作パネルカバーを開け、［印刷可］スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

```
【1. 設定状態印刷】
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
 4. メモリスイッチ設定機能
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❺ **［▶］スイッチを1回押し、以下のように印刷されることを確認する。**

【　】で囲まれたものが、現在の設定です。

```
1.  設定状態印刷
  1.0  設定状態印刷（全体）   【しない】 する
```

❻ **［▶］スイッチを1回押し、以下のように印刷され、続いて設定状態一覧が印刷されることを確認する。**

印刷結果サンプルは次ページをご覧ください。

```
1.  設定状態印刷
  1.0  設定状態印刷（全体）    しない 【する】
```

❼ **印刷が終了したら、［印刷可］スイッチを2回押す。**

- 用紙がセット・吸入されていない場合は、設定状態の印刷は行われません。
- 途中で用紙がなくなった（用紙P.Eランプ点灯）場合は、新しい用紙をセット・吸入してから［印刷可］スイッチを押してください。続きが印刷されます。

```
  【1.設定状態印刷】
   2.機能選択
   3.ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定機能
   4.ﾒﾓﾘｽｲｯﾁ設定機能
   5.罫線ぞろえ
   6.ﾒﾆｭｰﾓｰﾄﾞの終了

1.設定状態印刷
 1. 0  設定状態印刷（全体）     【しない】  する

1.設定状態印刷
 1. 0  設定状態印刷（全体）      しない  【する】

2.機能選択
 2. 0  機能選択状態印刷            【しない】  する
 2. 1  用紙厚調整の設定             【ｵｰﾄ】   1     2     3     4     5     6     7     8     9     10    11    12
 2. 2  印刷圧の微調整                 -6    -5    -4    -3    -2    -1    【0】  +1    +2    +3
 2. 3  印刷位置の微調整           -1.3mm     -0.8mm     -0.4mm     【0mm】    +0.4mm     +0.8mm     +1.3mm
 2. 4  書式設定-1用紙長             66行
 2. 5  書式設定-1ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ幅           0桁
 2. 6  書式設定-1ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ幅         136桁
 2. 7  書式設定-1吸入位置-連続紙    0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ  9.7mm   1/2ｲﾝﾁ【1ｲﾝﾁ】
 2. 8  書式設定-1吸入位置-ｶｯﾄ紙     0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【9.7mm】  1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 2. 9  書式設定-1吸入位置-はがき    0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【11.5mm】1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 2.10  書式設定-1ｶｯﾄ紙位置補正        0桁
 2.11  書式設定-1        書式ｸﾘｱ【しない】  する
 2.12  書式設定-2用紙長             66行
 2.13  書式設定-2ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ幅           0桁
 2.14  書式設定-2ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ幅         136桁
 2.15  書式設定-2吸入位置-連続紙    0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ  9.7mm   1/2ｲﾝﾁ【1ｲﾝﾁ】
 2.16  書式設定-2吸入位置-ｶｯﾄ紙     0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【9.7mm】  1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 2.17  書式設定-2吸入位置-はがき    0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【11.5mm】1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 2.18  書式設定-2ｶｯﾄ紙位置補正        0桁
 2.19  書式設定-2        書式ｸﾘｱ【しない】  する
 2.20  書式設定-3用紙長             66行
 2.21  書式設定-3ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ幅           0桁
 2.22  書式設定-3ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ幅         136桁
 2.23  書式設定-3吸入位置-連続紙    0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ  9.7mm   1/2ｲﾝﾁ【1ｲﾝﾁ】
 2.24  書式設定-3吸入位置-ｶｯﾄ紙     0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【9.7mm】  1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 2.25  書式設定-3吸入位置-はがき    0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【11.5mm】1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 2.26  書式設定-3ｶｯﾄ紙位置補正        0桁
 2.27  書式設定-3        書式ｸﾘｱ【しない】  する
 2.28  ｸﾜｲｴｯﾄ印刷                  【OFF】   ON
 2.29  縮小印刷の選択          【縮小なし】   2/3縮小     4/5縮小
 2.30  書体選択                  【明朝体】   ｺﾞｼｯｸ体

3.ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定機能
 3. 0  ﾊﾟﾗﾒｰﾀ状態印刷            【しない】  する
 3. 1  ｶｯﾄ紙ｾﾝﾀﾘﾝｸﾞ位置             40桁
 3. 2  連続紙ｾﾝﾀﾘﾝｸﾞ位置            36桁
 3. 3  漢字ｺｰﾄﾞ表              【1978年版】   1983年版    1990年版
 3. 4  ﾌｫﾝﾄ1                      【標準】   ｲﾀﾘｯｸ     ｸｰﾘｴ     ｺﾞｼｯｸ     OCR-B
 3. 5  ﾌｫﾝﾄ2                      【標準】   ｲﾀﾘｯｸ     ｸｰﾘｴ     ｺﾞｼｯｸ     OCR-B
 3. 6  用紙長                       66行
 3. 7  吸入位置-連続紙             0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ  9.7mm   1/2ｲﾝﾁ【1ｲﾝﾁ】
 3. 8           ｶｯﾄ紙              0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【9.7mm】  1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 3. 9           はがき             0ｲﾝﾁ  1/8ｲﾝﾁ  3.8mm  1/6ｲﾝﾁ  6.03mm  1/4ｲﾝﾁ  1/3ｲﾝﾁ【11.5mm】1/2ｲﾝﾁ  1ｲﾝﾁ
 3.10  ｶｯﾄ紙位置補正                 0桁
 3.11  連続紙ｶｯﾄ位置からの自動戻り時間   8秒    【15秒】    自動戻り無し
 3.12  ﾊｶﾞｷ印刷ﾓｰﾄﾞ                   【OFF】   ON
 3.13  ｼｰﾄｶﾞｲﾄﾞからの用紙吸入時間       【2秒】   3秒     4秒     5秒

4.ﾒﾓﾘｽｲｯﾁ設定機能
 4. 0  ﾒﾓﾘｽｲｯﾁ状態印刷                              【しない】  する
 4. 1  MSW1-1  各国文字の切り替え                      【OFF】   ON
 4. 2  MSW1-2  各国文字の切り替え                      【OFF】   ON
 4. 3  MSW1-3  各国文字の切り替え                      【OFF】   ON
 4. 4  MSW1-4  ﾃﾞｰﾀ受信方法の切り替え                  【OFF】   ON
 4. 5  MSW1-5  DC1/DC3ｺｰﾄﾞ処理の切り替え               【OFF】   ON
 4. 6  MSW1-6  自動復改の切り替え                      【OFF】   ON
 4. 7  MSW1-7  印刷指令の切り替え                      【OFF】   ON
 4. 8  MSW1-8  CR機能の切り替え                        【OFF】   ON
 4. 9  MSW2-1  数字「0」(1ﾊﾞｲﾄｺｰﾄﾞ系)の字体              【OFF】   ON
 4.10  MSW2-2  ｼｰﾄｶﾞｲﾄﾞ使用時の用紙無し検出               OFF   【ON】
 4.11  MSW2-3  ﾄﾞｯﾄ対応ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾄﾞｯﾄ数の初期設定           【OFF】   ON
 4.12  MSW2-4  未使用                                  【OFF】   ON
 4.13  MSW2-5  印刷ﾓｰﾄﾞの初期設定                      【OFF】   ON
 4.14  MSW2-6  7/8ﾋﾞｯﾄﾃﾞｰﾀの切り替え                   【OFF】   ON
 4.15  MSW2-7  印刷桁数の切り替え                      【OFF】   ON
 4.16  MSW2-8  印刷方向の初期設定                      【OFF】   ON
 4.17  MSW3-1  未使用                                  【OFF】   ON
 4.18  MSW3-2  PC/情処ﾓｰﾄﾞの切り替え                   【OFF】   ON
 4.19  MSW3-3  用紙吸入位置の記憶                      【OFF】   ON
 4.20  MSW3-4  ｼｰﾄﾌｨｰﾀﾞの吸入ｺｰﾄﾞ                      【OFF】   ON
 4.21  MSW3-5  未使用                                  【OFF】   ON
 4.22  MSW3-6  未使用                                  【OFF】   ON
 4.23  MSW3-7  数字「0」(2ﾊﾞｲﾄｺｰﾄﾞ系)の字体              【OFF】   ON
 4.24  MSW3-8  ﾐｼﾝ目ｽｷｯﾌﾟの初期設定                     【OFF】   ON
 4.25  MSW4-1  印刷ﾍｯﾄﾞ空打ち防止機能の切り替え          【OFF】   ON
 4.26  MSW4-2  自動ｶｯﾄ位置送り機能有効／無効            【OFF】   ON
 4.27  MSW4-3  ｶｯﾄ位置送り機能送り出し量切り替え          OFF   【ON】
 4.28  MSW4-4  ﾄﾞｯﾄ列印刷ﾓｰﾄﾞの印刷方向                  OFF   【ON】
 4.29  MSW4-5  高速印刷ﾓｰﾄﾞの初期設定                  【OFF】   ON
 4.30  MSW4-6  ｶｯﾄ紙の排出方向の切り替え               【OFF】   ON
 4.31  MSW4-7  ｼｰﾄﾌｨｰﾀﾞの排出方向の切り替え            【OFF】   ON
 4.32  MSW4-8  ｵｰﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ方法の切り替え               【OFF】   ON

5.罫線ぞろえ
 5. 0  罫線ぞろえ状態印刷     【しない】  する
 5. 1  罫線ぞろえ  HD          -5    -4    -3    -2    -1   【0】  +1    +2    +3    +4    +5
 5. 2  罫線ぞろえ  NHS         -5    -4    -3    -2    -1   【0】  +1    +2    +3    +4    +5


 1. 0  設定状態印刷（全体）     【しない】  する

   1.設定状態印刷
  【2.機能選択】
   3.ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定機能
   4.ﾒﾓﾘｽｲｯﾁ設定機能
   5.罫線ぞろえ
   6.ﾒﾆｭｰﾓｰﾄﾞの終了
```

設定状態一覧印刷結果サンプル

- この印刷結果サンプルは、プリンタが工場設定のまま印刷したものです。
- 各設定項目の先頭番号は「設定内容の詳細」(29ページ)の説明の中で使われる番号と対応しています。

メニューモードの設定方法

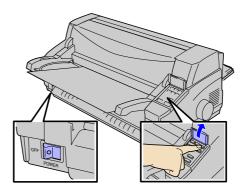
メニューモードの入り方

プリンタの設定をメニューモードで変更するには、まず「メニューモード」にする必要があります。次の手順で「メニューモード」に入ってください。

MultiImpact 700LX2は表示用パネルを持っていないため、設定の過程や変更ができたかどうかなどを印刷しながら確認します。

1. **プリンタの電源スイッチをONにする。**
2. **トラクタユニットに連続紙（用紙幅約381mm（15インチ）以上）をセット・吸入する。**
3. **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

4. **操作パネルカバーを開け、［印刷可］スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

【1. 設定状態印刷】
2. 機能選択
3. パラメータ設定機能
4. メモリスイッチ設定機能
5. 罫線ぞろえ
6. メニューモードの終了

メニューモード時のスイッチ機能

プリンタがメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ		機能
通常の状態	メニューモード時	
印刷可	メニュー	このスイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにし、メニューモードに入る。
		メニューモードのメインメニュー時はメニューモード終了スイッチとなる。
		メニューモードのサブメニュー時はメインメニューへ戻るスイッチとなる。
改行/L.F	▲	メニューの選択スイッチとして機能する。＊1
改頁	▼	
書式選択	◀	設定値の変更スイッチとして機能する。＊1
高速印刷	▶	
吸入／退避		有効（用紙無し検出時）
上記以外のスイッチ		無効

＊1　これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値や項番が増減します。また、1秒間に4回の割合で同じスイッチを連打すると、項番や数値をスキップさせることができます。

メニューモード設定の手順

メニューモードに入り、設定を変更するための手順の流れは次のとおりです。具体的な手順は例をあげて説明します。例以外の設定を変えたいときは、「設定内容の詳細」（29ページ）を見ながら、例を参考にして変更を行ってください。

例1　「2.　機能選択」メニューの「2.4　書式設定1-用紙長」を99にする（初期設定値は66）

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **トラクタユニットに連続紙（用紙幅約381mm（15インチ）以上）をセット・吸入する。**

❸ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

❹ **[印刷可]スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

【1. 設定状態印刷】
2. 機能選択
3. パラメータ設定機能
4. メモリスイッチ設定機能
5. 罫線ぞろえ
6. メニューモードの終了

❺ **[▼] スイッチを1回押し、以下のように印刷されることを確認する。**

1. 設定状態印刷
【2.機能選択】
3. パラメータ設定機能
4. メモリスイッチ設定機能
5. 罫線ぞろえ
6. メニューモードの終了

❻ **[▶] スイッチを1回押し、図のようなサブメニューと設定内容を印刷する。**

2.　機能選択
2.0　機能選択状態印刷　　【しない】　する

❼ **[▼] スイッチを4回押し、以下のように印刷され、「書式設定1—用紙長」の設定を変更できる状態にする。**

2.4　書式設定1ー用紙長　　66行

❽ **[▶] スイッチを33回押す。**

以下のように印刷されれば、設定完了です。

2.4　書式設定1ー用紙長　　99行

❾ **[印刷可] スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。**

例2　「3.　パラメータ設定機能」メニューの「3.1　カット紙センタリング位置」を【38桁】にする（初期設定値は【40桁】）

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **トラクタユニットに連続紙（用紙幅約381mm（15インチ）以上）をセット・吸入する。**

❸ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

❹ **［印刷可]スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

```
【1. 設定状態印刷】
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
 4. メモリスイッチ設定機能
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❺ **［▼］スイッチを2回押し、以下のように印刷されることを確認する。**

```
 1. 設定状態印刷
【2.機能選択】
 3. パラメータ設定機能
 4. メモリスイッチ設定機能
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❻ **［▶］スイッチを1回押し、サブメニューと設定内容を印刷する。**

```
3.　パラメータ設定機能
  3.0　パラメータ状態印刷　　【しない】　する
```

❼ **［▼］スイッチを 1 回押し、以下のように印刷され、「カット紙センタリング位置」の設定を変更できる状態にする。**

```
3.1　カット紙センタリング位置　　40行
```

❽ **［◀］スイッチを2回押す。**

以下のように印刷されれば、設定完了です。

```
3.1　カット紙センタリング位置　　40行
```

❾ **［印刷可］スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。**

例3　「4.　メモリスイッチ設定機能」メニューの「4.5　MSW4-5　高速印刷モードの初期設定」を【ON】にする（初期設定値は【OFF】）

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **トラクタユニットに連続紙（用紙幅約381mm（15インチ）以上）をセット・吸入する。**

❸ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

❹ **[印刷可]スイッチを押しながら、電源をONにする。**

メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

```
【1. 設定状態印刷】
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
 4. メモリスイッチ設定機能
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❺ **［▼］スイッチを3回押し、以下のように印刷されることを確認する。**

```
 1. 設定状態印刷
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
【4.メモリスイッチ設定機能】
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❻ **［▶］スイッチを1回押し、サブメニューと設定内容を印刷する。**

```
4.　メモリスイッチ機能
  4.0　メモリスイッチ状態印刷　　【しない】　する
```

❼ **［▼］スイッチを29回押し、以下のように印刷され、「MSW 4-5」の設定を変更できる状態にする。**

```
4.29　MSW4-5　高速印刷モードの初期設定　　【OFF】　ON
```

❽ **［▶］スイッチを1回押す。**

以下のように印刷されれば、設定完了です。

```
4.29　MSW4-5　高速印刷モードの初期設定　　OFF　【ON】
```

❾ **［印刷可］スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。**

設定内容の詳細

ここでは、メニューモードで設定できる内容をメニューモードの「メインメニュー」の順で説明します。設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

【1. 設定状態印刷】
2. 機能選択
3. パラメータ設定機能
4. メモリスイッチ設定機能
5. 罫線ぞろえ
6. メニューモードの終了

メインメニュー一覧

1.　設定の状態印刷

設定できるすべての項目に対し、現在の設定状態を印刷します。印刷結果は「設定状態一覧印刷結果サンプル」（24ページ）をご覧ください。

2.　機能選択

2.0　機能選択状態印刷　（【しない】, する）

「2. 機能選択」で設定できるすべての項目の現在の設定状態を印刷します。

2.1　用紙厚調整の設定　（【オート】, 1～12）

用紙の厚さに応じて印刷ヘッドと用紙の間隔を調整します。通常は「オート」で使用します。マニュアルで設定したいときは、次の表を参照して設定値を選択してください。

用紙の厚さが約0.42mmを越えるものは使用しないでください。なお、マニュアル設定値の8～12は使用しないでください。

用紙枚数	用紙坪量（連量）	厚さ（mm）	マニュアル設定値
1枚	46.5g/m^2（40kg）	約0.06mm	1
	64.0g/m^2（55kg）	約0.08mm	1
	81.4g/m^2（70kg）	約0.10mm	1～2
	104.7g/m^2（90kg）	約0.12mm	2
	127.9g/m^2（110kg）	約0.16mm	2～3
	157.0g/m^2（135kg）	約0.19mm	3
2枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.12mm	2
3枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.18mm	3
4枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.24mm	4
5枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.30mm	5～6
6枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.36mm	6
7枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.42mm	7

2.2　印刷圧の微調整　（－6～【0】～＋3）

複写のコピー能力を増やしたいときや、減らしたいときに使用します。＋の方向にすれば増え、－の方向にすれば減ります。

2.3　印刷位置の微調整　（－1.3mm, －0.8mm, －0.4mm, 【0mm】, ＋0.4mm, ＋0.8mm, ＋1.3mm）

印刷位置を約0.42mm（1/60インチ）単位（最大±1.3mm）で左右に調整します。＋の方向にすれば右、－の方向にすれば左に移動します。枠罫線などが印刷された用紙に印刷する場合の印刷位置合わせなどに使用すると有効です。

2.4～2.11書式設定1

2.12～2.19書式設定2

2.20～2.27書式設定3

書式設定は1～3まで3つあり、それぞれに8種類の設定を行うことができます。設定後、書式設定1～3を選ぶには、操作パネルの［書式選択］スイッチを押します。手順は次のとおりです。

① 印刷可ランプが消灯していることを確認します。点灯していたら［印刷可]スイッチを押す。

② ［書式選択]スイッチを押し続けることで、書式設定1～3を選択する。
▷ランプは通常は用紙選択ランプですが、［書式選択］スイッチを押している間は書式選択ランプとなります。選択されている書式の番号（左側）が点灯します。

③ ［印刷可]スイッチを押す。

次に8種類の設定内容について説明します。

- **用紙長　（1～【66】～99）**
  用紙長を約4.2mm（1/6インチ）単位で設定します。現在の改行量には影響されません。

- **レフトマージン幅　（【0】～135）**
  レフトマージン幅を約2.5mm（1/10インチ）単位の桁数で設定します。

- **ライトマージン幅　（1～【136】）**
  ライトマージン幅を約2.5mm（1/10インチ）単位の桁数で設定します。

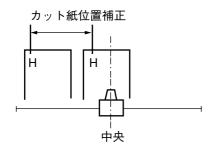
- **吸入位置―連続紙（0㌅, 1/8㌅, 3.8mm, 1/6㌅, 6.03mm, 1/4㌅, 1/3㌅, 9.7mm, 1/2㌅, 【1㌅】）**
- **吸入位置―カット紙（0㌅, 1/8㌅, 3.8mm, 1/6㌅, 6.03mm, 1/4㌅, 1/3㌅, 【9.7mm】, 1/2㌅, 1㌅）**
- **吸入位置―はがき（0㌅, 1/8㌅, 3.8mm, 1/6㌅, 6.03mm, 1/4㌅, 1/3㌅, 【11.5mm】, 1/2㌅, 1㌅）**
  用紙の吸入位置を選択します。現在使用している用紙の種類にかかわらず、上記の3種類の用紙経路または用紙の種類に対して、個別に吸入量を設定します。

  － 吸入基準位置は、ハガキ吸入基準位置の11.5mm（文字中央）を除き、文字下端で表現した値です。
  － 連続紙を使用しているときは、「連続紙」を選択します。
  － カット紙を使用しているとき（シートガイドまたはシートフィーダ）は「カット紙」を選択します。
  － はがきを使用しているときは「はがき」を選択します。
  － 吸入位置微調がされている場合は、微調整値が設定一覧の右端に印刷されます。

- **カット紙位置補正　(【0】～68)**
  印刷開始位置をプリンタ正面から見て左方向へ移動させる量を10cpi文字の桁数で設定します。カット紙使用時は常に有効となります。

  設定した桁数の範囲内のデータを文字幅単位で削除します。印刷データがある場合は印刷データも削除します。

> MultiImpact 700LX2では、カット紙のセット位置が左端基準となっています。接続しているコンピュータのアプリケーションの印刷機能によっては、カット紙のセット位置が中央基準となっている場合があります。このような場合は、設定した値（桁数）のデータを無視して、左端にセットしたカット紙に印刷位置を合わせます。設定した値で文字が欠けるような場合は、アプリケーションの「左余白」または本設定を変更してください。

参考値

用紙幅	既定値
B4ヨコ	0
A4ヨコ	11
B4タテ、B5ヨコ	19
A4タテ、A5ヨコ	28
B5タテ	34
A5タテ	40
はがき	50

- **書式クリア　(【しない】, する)**
  現在書式設定を行っている書式番号の内容をクリアします。「する」を選択すると初期化されます。

2.28 クワイエット印刷　(【OFF】, ON)

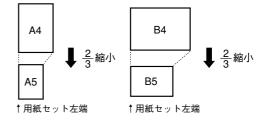
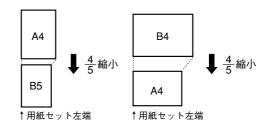
ONで印刷音を小さくします。特殊な制御を行いますので、印刷時間が通常より長くかかります。

2.29 縮小印刷の選択　(【縮小なし】, 2/3縮小, 4/5縮小)

データをレフト（左基準）で、2/3または4/5に縮小して印刷します。詳しくは、下記の「縮小印刷について」をご覧ください。はがきモード時とメモリスイッチ2-7（MSW2-7）がONのときは縮小印刷はできません。
この設定は電源をOFFまたは強制リセットを実行すると【縮小なし】に戻ります。

縮小印刷について

縮小印刷の種類は以下のとおりです。縮小印刷を行う場合は、レフト（左基準）のみです。

- **2/3縮小**
  左端基準で作成されたA4サイズのデータをA5サイズに、またB4サイズのデータをB5サイズに、それぞれ縮小して印刷します。

- **4/5縮小**
  左端基準で作成されたB4サイズのデータをA4サイズに、またA4サイズのデータをB5サイズに、それぞれ縮小して印刷します。（B5→A5も可能です。）

2.30 書体選択　(【明朝体】, ゴシック体)

明朝体またはゴシック体のどちらかの書体を選択します。
この設定は電源をOFFまたは強制リセットを実行すると【明朝体】に戻ります。

3.　パラメータ設定機能

3.0　パラメータ状態印刷　（【しない】，する）

「3. パラメータ設定機能」で設定できるすべての項目の現在の設定状態を印刷します。

3.1　カット紙センタリング位置　（10～【40】～68）

カット紙吸入時の印刷ヘッドのセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

3.2　連続紙センタリング位置　（10～【36】～68）

連続紙吸入時の印刷ヘッドのセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

3.3　漢字コード表　（【1978年版】，1983年版, 1990年版）

漢字コードを選択します。

3.4　フォント1　（【標準】，イタリック, クーリエ, ゴシック, OCR-B）

拡張制御コード「ESC O 1」で選択できるフォントを選択します。

3.5　フォント2　（【標準】，イタリック, クーリエ, ゴシック, OCR-B）

拡張制御コード「ESC O 2」で選択できるフォントを選択します。

「フォント1」「フォント2」

コマンド選択したフォントとの関係は次のとおりです。

パラメータの選択	拡張制御コード		
	ESCO 0	ESCO 1	ESCO 2
工場設定値のまま	標準	標準	標準
フォント1のみ設定	標準	フォント1	フォント1
フォント2のみ設定	標準	フォント2	フォント2
フォント1、2を設定	標準	フォント1	フォント2

3.6　用紙長　（1～【66】～99）

用紙長を指定します。約4.23mm（1/6インチ）単位の行数で選択します。スイッチを押した回数分だけ増減した用紙長を1行印刷します。

3.7　吸入位置—連続紙　（0インチ，1/8インチ，3.8mm, 1/6インチ，6.03mm, 1/4インチ，1/3インチ，9.7mm, 1/2インチ，【1インチ】）

3.8　吸入位置—カット紙　（0インチ，1/8インチ，3.8mm, 1/6インチ，6.03mm, 1/4インチ，1/3インチ，【9.7mm】，1/2インチ，1インチ）

3.9　吸入位置—はがき　（0インチ，1/8インチ，3.8mm, 1/6インチ，6.03mm, 1/4インチ，1/3インチ，【11.5mm】，1/2インチ，1インチ）

用紙の吸入位置を選択します。現在使用している用紙の種類にかかわらず、上記の3種類の用紙経路または用紙の種類に対して、個別に吸入量を設定します。

- 連続紙を使用しているときは、「連続紙」で選択します。
- カット紙を使用しているとき（シートガイドまたはシートフィーダ）は「カット紙」で選択します。
- はがきを使用しているときは「はがき」で選択します。

3.10　カット紙位置補正　（【0】～68）

印刷開始位置をプリンタ正面から見て左方向へ移動させる量を10cpi文字の桁数で設定します。カット紙使用時は常に有効となります。設定した桁数の範囲内のデータを文字幅単位で削除します。印刷データがある場合は印刷データも削除します。

3.11 連続紙カット位置からの自動戻り時間 （8秒,【15秒】, 自動戻り無し）

連続紙において、カット位置からの自動戻り時間を選択します。

3.12 ハガキ印刷モード （【OFF】, ON）

ハガキ印刷モードを設定します。この設定をONにすると、プリンタの電源スイッチをONにしたときの設定がハガキ印刷モードとなります。

3.13 シートガイドからの用紙吸入時間 （【2秒】, 3秒,4秒,5秒）

セットした用紙が吸入されるまでの時間を選択します。

4.　メモリスイッチ設定機能

ここではメモリスイッチ設定機能で設定できる内容の詳細について説明します。メモリスイッチで設定できる項目および初期設定値、ON／OFFの内容を次の表に示します。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW1	1	各国文字の切り替え	3つのスイッチON/OFFの組み合わせ＊1により、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの文字を切り替えます。		OFF
	2				OFF
	3				OFF
	4	データ受信方法の切り替え	従来互換	高速受信	OFF
	5	DC1、DC3コード処理の切り替え	有効	無効	OFF
	6	自動復改の切り替え	復帰改行	復帰のみ	OFF
	7	印刷指令コード切り替え	CRのみ	CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b	OFF
	8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	OFF
MSW2	1	数字「0」の字体（1バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	2	シートガイド使用時の用紙なし検出	印刷時検出	常時検出	ON
	3	ドット対応グラフィックドット数の初期設定＊2	ネイティブモード	コピーモード	OFF
	4	未使用			
	5	印刷モードの初期設定＊2	HDパイカ	HSパイカ	OFF
	6	7/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	OFF
	7	印刷桁数の切り替え	136桁	80桁	OFF
	8	印刷方向の初期設定	両方向	片方向	OFF
MSW3	1	未使用			
	2	PCモード/情処モード切り替え	PCモード	情処モード	OFF
	3	用紙吸入位置の記憶	記憶する	記憶しない	OFF
	4	シートフィーダの吸入コード	ESC　a、FF、印刷データ＋印刷指令コード	ESC a、FF、LF、US、VT、印刷データ＋印刷指令コード	OFF
	5	未使用			
	6				
	7	数字「0」の字体(2バイトコード系)	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	8	ミシン目スキップの初期設定	スキップしない	スキップする	OFF
MSW4	1	印刷ヘッド空打ち防止機能の有効／無効	有効	無効	OFF
	2	自動カット位置送り機能の切り替え	無効	有効	OFF
	3	カット機能の用紙送り量	固定長	TOF＋固定長	ON
	4	ドット列印刷モードの印刷方向	片方向	両方向（MSW2-8 をOFFにしてください）	ON
	5	高速印刷モードの初期設定＊2	標準モード	高速印刷モード	OFF
	6	カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え＊2	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	7	カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え＊2	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	8	オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え	オート方式	マニュアル方式	OFF

＊1　MSW1-1～1-3の組み合わせ。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります（各国文字の組み合わせ表は次ページにあります）。

＊2　制御コードを使って設定することもできます（初期状態になるとメモリスイッチの設定に戻ります）。

各設定項目の説明は以下のとおりです。（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

4.0　メモリスイッチ状態印刷　（【しない】, する）

「4. メモリスイッチ設定機能」で設定できるすべての項目の現在の設定状態を印刷します。

4.1　MSW1-1　各国文字の切り替え　（【OFF】, ON）

4.2　MSW1-2　各国文字の切り替え　（【OFF】, ON）

4.3　MSW1-3　各国文字の切り替え　（【OFF】, ON）

MSW1-1～MSW1-3の3つのメモリスイッチを組み合わせて、各国の文字に切り替えます。メモリスイッチの組み合わせを次の表に示します。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります。

各国文字	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON
【日本】	【OFF】	【OFF】	【OFF】

4.4　MSW1-4　データ受信方法の切り替え　（【OFF】, ON）

データ受信方法を高速受信にするか従来互換にするか切り替えます。高速受信の場合、同期コマンドなどによる受信同期機能は無効となります。

4.5　MSW1-5　DC1、DC3コード処理の切り替え　（【OFF】, ON）

制御コードDC1、DC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。

4.6　MSW1-6　自動復改の切り替え　（【OFF】, ON）

バッファフル印刷を行うとき、復帰の動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

4.7　MSW1-7　印刷指令の切り替え　（【OFF】, ON）

印刷指令コードをどの制御コードに割り当てるかを設定します。

4.8　MSW1-8　CR機能の切り替え　（【OFF】, ON）

制御コードCRを受信したとき、復帰の動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

4.9　MSW2-1　数字「0」（1バイトコード系）の字体　（【OFF】, ON）

8ビットコード表、7ビットコード表において、数字ゼロを“0”と印刷するか“Ø”と印刷するかを切り替えます。

4.10　MSW2-2　シートガイド用紙無し検出　（OFF, 【ON】）

シートガイドを使用時に、用紙無し検出を印刷時のみ行うか、常時行うかを切り替えます。用紙無し検出をON（常時）にすると、用紙がセットされていないときに印刷可ランプが点灯します。

4.11　MSW2-3　ドット対応グラフィックドット数の初期設定　（【OFF】, ON）

ドット対応グラフィックドット数の横ドット数の初期設定をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。

4.13　MSW2-5　印刷モードの初期設定　（【OFF】, ON）

印刷モードの初期設定をHDパイカにするか、HSパイカにするかを切り替えます。

4.14　MSW2-6　7／8ビットデータの切り替え　（【OFF】, ON）

インタフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。グラフィック（ドット列印刷）モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定にかかわらず8ビット有効です。

4.15 MSW2-7　印刷桁数の切り替え　（【OFF】, ON）

1行に印刷する文字数を、10cpi文字で136桁にするか、80桁にするかを切り替えます。80桁に指定した場合、用紙のセット位置は左端基準の第1桁から第80桁が印刷範囲となります。

4.16 MSW2-8　印刷方向の初期設定　（【OFF】, ON）

印刷方向の初期設定を両方向最短印刷にするか、片方向印刷にするかを切り替えます。ドット列印刷の印刷方向は、MSW2-8とMSW4-8両方の設定が必要です。

4.17 MSW3-1　未使用

4.18 MSW3-2　PCモード／情処モード切り替え　（【OFF】, ON）

PCモード／情処モードを切り替えます。

4.19 MSW3-3　用紙吸入位置の記憶　（【OFF】, ON）

用紙吸入位置を微調整したとき、微調整後の吸入位置を記憶するか、しないかを切り替えます。
ONにした場合、【3. パラメータ設定機能】の3.7～3.9と微調モードで微調した値は記憶しないので、電源再投入後または強制リセット時に工場設定値に戻ります。

4.20 MSW3-4　シートフィーダの吸入コード　（【OFF】, ON）

シートフィーダの吸入コードは、一般的に吸入命令（ESCa）を使用しますが、改行コード（LF、VT、複数行改行）でも吸入を実行するかしないかを切り替えます。

4.21 MSW3-5　未使用

4.22 MSW3-6　未使用

4.23 MSW3-7　数字「0」（2バイトコード系）の字体　（【OFF】, ON）

漢字コード表において、数字ゼロを“0”と印刷するか“Ø”と印刷するかを切り替えます。

4.24 MSW3-8　ミシン目スキップの初期設定　（【OFF】, ON）

電源ON時に連続紙のミシン目の前後約25.4mm（1インチ）の印刷をスキップするか、しないかを切り替えます。
この機能は連続紙使用時に有効で、ONにするとスキップします。また、VFUコマンドによってボトムライン設定時は、その設定が優先します。

4.25 MSW4-1　印刷ヘッド空打ち防止機能の有効／無効　（【OFF】, ON）

用紙の左右端位置を自動的に検出するか、しないかを切り替えます。OFF（有効）にすると、用紙の左右端位置を自動的に検出し、プラテンへの空印刷によるプラテン汚れを防止します。

4.26 MSW4-2　自動カット位置送り機能の切り替え　（【OFF】, ON）

印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。ONにすると自動カット位置送りは有効になります。

4.27 MSW4-3　カット機能の用紙送り量　（OFF, 【ON】）

カット時の用紙送り量を固定長にするかページ先頭位置＋固定長にするかを切り替えます。［排出/カット］スイッチのみ有効です。

4.28 MSW4-4　ドット列印刷モードの印刷方向　（OFF, 【ON】）

ドット列印刷モードの印刷方向を、片方向にするか、両方向にするかを切り替えます。MSW2-8で片方向印刷を指定している場合、MSW4-4をON（両方向）にしてもドット列印刷方向は片方向になります。

4.29 MSW4-5　高速印刷モードの初期設定　（【OFF】, ON）

電源ON時に高速印刷モードを選択するか、解除するかを切り替えます。

4.30 MSW4-6　カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え　（【OFF】, ON）

シートガイド使用時に、用紙排出方向を排出方向指定コマンドに従うか、後方排出固定（スタッカに排出）するかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は手前排出（シートガイドに排出）します。

4.31 MSW4-7　カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え　（【OFF】, ON）

シートフィーダ使用時に、排出方向を後方排出固定（スタッカ上に排出）するか、排出方向指定コマンドに従うかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は、後方排出となります。

4.32 MSW4-8　オートローディング方法（シートガイド自動吸入方式）の切り替え　（【OFF】, ON）

シートガイドを使用するとき、用紙の吸入方式をマニュアル方式にするか、オート方式にするかを切り替えます。マニュアル方式では［吸入/退避］スイッチを押して用紙を吸入させますが、オート方式にするとカット紙はセットされてから一定時間（パラメータ設定3.13で設定した時間）経過後に自動的に吸入されます。

5.　罫線ぞろえ確認モード

罫線を印刷したときに右方向印刷の行と左方向印刷の行で罫線の位置がずれていて、罫線がきれいにつながっていないことがあります。このようなときは、罫線ぞろえ機能を使うことによってきれいな罫線を印刷できるようになります。

罫線ぞろえを行うときは、まず罫線のずれ具合を確認するためのテストパターンを印刷し、その結果を見ながら罫線のずれを修正します。次の手順で印刷します。

いったん罫線位置を変更すると、たとえプリンタの電源スイッチをOFFにしても次に変更するまで設定内容は変わりません。

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **トラクタユニットに連続紙（用紙幅約381mm（15インチ）以上）をセット・吸入する。**

❸ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

シートガイドやオプションのシートフィーダを取り外すと印刷結果が見やすくなります。

❹ **操作パネルカバーを開け、[印刷可]スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをONにする。**

メニューモードに入り、メインメニューが印刷されます。

```
【1. 設定状態印刷】
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
 4. メモリスイッチ設定機能
 5. 罫線ぞろえ
 6. メニューモードの終了
```

❺ **[▼] スイッチを4回押す。**

以下のように印刷されます。

```
 1. 設定状態印刷
 2. 機能選択
 3. パラメータ設定機能
 4. メモリスイッチ設定機能
【5.罫線ぞろえ】
 6. メニューモードの終了
```

❻ **[▶] スイッチを1回押す。**

以下のように印刷されます。

```
5.　罫線ぞろえ
  5.0　罫線ぞろえ状態印刷　　【しない】　する
```

❼ **[▶] スイッチを1回押す。**

テストパターンが印刷されます。

「HD」、「NHS」は印刷モードを示します。数字は修正量で（詳細は下記の表を参照）、＊が付いている数値は現在値です。

5．1　罫線そろえ　HD

HD
-5
-4
-3

現在の設定値

5．2　罫線そろえ　NHS

NHS
-5
-4
-3

現在の設定値

罫線ぞろえテストパターン

テストパターンに続いて、以下のように印刷されます。

5.0　罫線ぞろえ状態印刷　　【しない】　する

印刷モード

印刷モード	内容
HD	HD（漢字、HDパイカ、エリート）
NHS	NHS（高速漢字、高速HDパイカ、高速エリート、NHSパイカ、コンデンス）

修正値

修正値	内容
+5	約+0.176mm（+5/720インチ）
+4	約+0.141mm（+4/720インチ）
+3	約+0.106mm（+3/720インチ）
+2	約+0.071mm（+2/720インチ）
+1	約+0.035mm（+1/720インチ）
0	【0】（工場設定）
-1	約-0.035mm（-1/720インチ）
-2	約-0.071mm（-2/720インチ）
-3	約-0.106mm（-3/720インチ）
-4	約-0.141mm（-4/720インチ）
-5	約-0.176mm（-5/720インチ）

❽ HD、NHS の各印刷モードそれぞれについて罫線のずれを調整する。

HD印刷モードの調整を行うときはこの後の手順へ、NHSの印刷モードの調整を行うときは手順9へ進んでください。

① HD印刷モードを調整したいときは［▼］スイッチを1回押す。

以下のように印刷されます。

5.1 罫線ぞろえ HD -5 -4 -3 -2 -1【0】+1 +2 +3 +4 +5

② 手順7で印刷されたテストパターンを見ながら、［◀］スイッチまたは［▶］スイッチを押して、罫線のずれが最も少ない値（＋5〜ー5）を選択する。

❾ NHS印刷モードを調整したいときは手順7の状態になった後、［▼］スイッチを2回押す。

以下のように印刷されます。

5.1 罫線ぞろえ NHS -5 -4 -3 -2 -1【0】+1 +2 +3 +4 +5

後は、手順8 ②と同じ方法で修正を行います。

❿ ［▲］スイッチを2回押す。

サブメニューが印刷されます。

5.0 罫線ぞろえ状態印刷 【しない】 する

⓫ ［▶］スイッチを1回押して、再度テストパターンを印刷する。

5.0 罫線ぞろえ状態印刷 しない 【する】

⓬ テストパターンの印刷結果で現在値（＊が付いている）を確認し、罫線がきれいにつながったかどうかをチェックする。

→ 現在値の罫線がきれいにつながっていれば、［印刷可］スイッチを2回押してメニューモードを終了します。

→ 罫線がまだずれている場合は、手順8からやり直します。

- 用紙がセット・吸入されていない場合、テストパターンは印刷されません。
- 途中で用紙がなくなった場合（用紙 P.E ランプ点灯）は、新しい用紙をセット・吸入してから［印刷可］スイッチを押してください。続きが印刷されます。

6.　メニューモードの終了

メニューモードを終了し、プリンタは通常の印刷可能状態に戻ります。

スイッチの応用機能

スイッチには、“印刷する”、“用紙を送る”などの基本機能の他にもいろいろな機能があります。ここではスイッチの応用的な機能について説明します。

受信データをHEXダンプする

プリンタが受信したデータを16進コードとデータに対応する英数カナ文字で印刷します。プログラムで正しく印刷できないようなとき、その原因を見つけるためHEXダンプ機能を使います。

チェック

- カバーオープンまたは排出アラーム中はHEXダンプモード切り替えを行うことはできません。
- 用紙サイズは、用紙幅A4縦以上のカット紙か、用紙幅254mm（10インチ）以上の連続紙をセットしてください。これより小さい用紙の場合、印刷データが全部印刷されない可能性があります。

❶ **用紙をセット・吸入する。**

❷ **［印刷可］スイッチを押しながら、［改頁］スイッチを2回押す。**

未印刷データがプリンタ内に残っていれば印刷されます。

❸ **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが点灯し、印刷可能状態になります。

❹ **コンピュータからプリンタへ印刷データを送る。**

これでプリンタが受信したデータが16進コードとデータに対応する英数カナ文字で印刷されます。

❺ **HEX ダンプを終了するときは、［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押して、プリンタを強制リセットする。**

- データに該当する英数カナ文字がないときは、「.」（ピリオド）を印刷します。
- HEXダンプを一時中断するときは、［印刷可］スイッチを押してください。もう一度押すと再開します。
- 途中で用紙がなくなった場合（用紙 P.E ランプ点灯）は、新しい用紙をセット･吸入してから［印刷可］スイッチを押してください。続きが印刷されます。
- ハガキ印刷モード時は無効となります。

複写力の選択

MultiImpact 700LX2は用紙の厚さに応じて自動的に印刷ヘッドと用紙の間隔を調整しますが、複写枚数の多い用紙に印刷するなど、より強い複写力（印刷圧）を必要とする場合は複写力を選択することができます。ただし、複写力を強くすると、印刷速度が少し遅くなります。なお、電源をOFFにしても複写力の設定は消えません。

❶ **印刷可ランプが点灯しているときは、[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **[微調モード]スイッチを押しながら、[書式選択]スイッチを押す。**

一回押すと現在の設定状態のランプが点灯します。押し続けていると、設定状態が変化するので、設定したい表示になったらスイッチから手を離します。

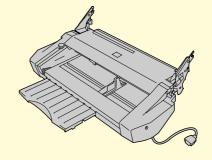
表示の内容は次のとおりです。

ランプ表示	内容	
	用紙の種類	詳細
1	厚紙	はがきやラベル紙など、複写用紙以外の厚い用紙に印刷する場合に選択します。
2	標準	プリンタが自動で調整します。通常はこの設定で使用してください。（工場設定値）
3	複写	複写枚数4～5枚以上で、さらに複写力を必要とする場合に選択します。

3章
オプション

この章では、MultiImpact 700LX2用として提供される別売品（オプション）を紹介しています。さらに、シートフィーダについては、その取り付け、取り外し、用紙のセット方法などについて説明します。

シートフィーダ 46ページ
（型番　PR-D700LX-04）

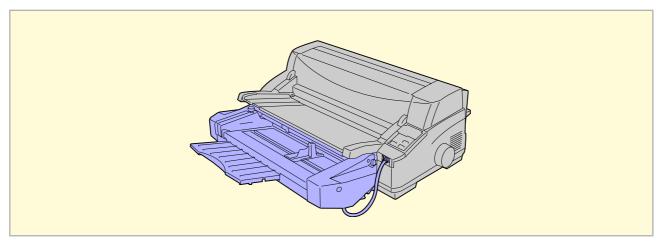
◇ カット紙やはがきを自動的に給紙します。
◇ カット紙を約180枚までセットできます（A4サイズの用紙で坪量64.0g/m^2（連量55kg）の場合）。
◇ 複写式用紙は5枚綴りのものを約40組までセットできます（A4サイズの複写用紙の場合）。

プリントサーバ（LANアダプタ）
（型番　PR-NP-07）

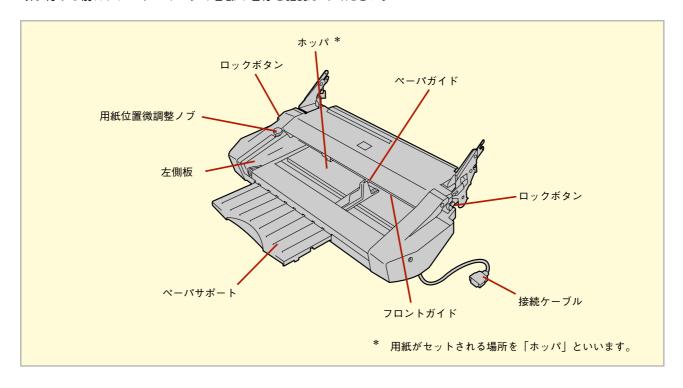
◇ 取り扱いについては、プリントサーバの取扱説明書をご覧ください。

オプション一覧

シートフィーダ

ここでは、PR-D700LX-04シートフィーダのプリンタへの取り付け・取り外しと、用紙のセット方法について説明します。

各部の名称

プリンタにシートフィーダを取り付けた状態

取り付ける前に、シートフィーダの各部の名称を確認してください。

シートフィーダの取り付け

シートフィーダは次の手順でプリンタの前面に取り付けます。

❶ **連続紙やシートガイドに用紙がセットされているときは、それぞれの用紙を取り除く。**

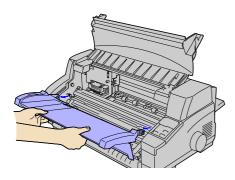
連続紙は［吸入/退避］スイッチを押して一時退避させます。印刷終了後の連続紙がセットされているときは、印刷されたページをカットしてから［吸入/退避］スイッチを押してください。

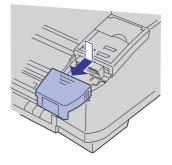
❷ **プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**

重要

プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り付けると故障の原因となることがあります。

❸ **トップカバーを開け、シートガイドを取り外す。**

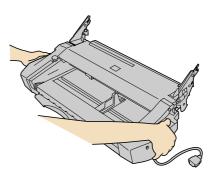
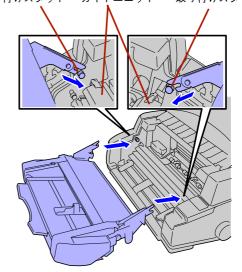
シートガイドの両サイドを持ち、手前に引き抜きます。

❹ **操作パネルの手前にあるコネクタカバーを取り外す。**

コネクタカバーの中央部を押し込みながら両サイドを持ち、手前にスライドさせれば外れます。

コネクタカバーに装着されているスライドカバーを外します。コネクタカバーは手順7で取り付けます。

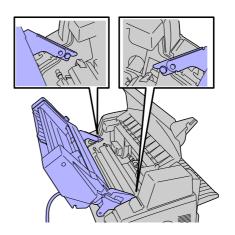
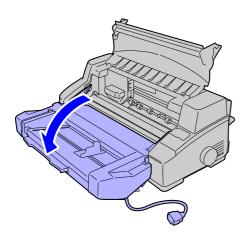
チェック

取り外したコネクタカバーとスライドカバーは、シートフィーダを取り外すときに必要です。なくさないように保管しておいてください。

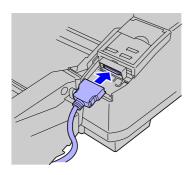
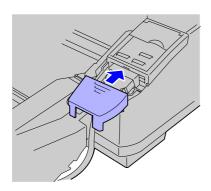
❺ **シートフィーダを取り付ける。**

シートフィーダを図のように持ちます。

左右のツメを左右のシートフィーダ取り付けスタッドに押し込みます。

チェック

シートフィーダ取り付けスタッドはフロントペーパガイドユニットよりも上に位置しています。

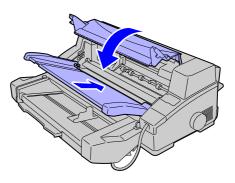
左右のシートフィーダ取り付けスタッドに左右のツメがはまったことを確認します。

下に突き当たるまでそのまま下ろします。

✔チェック

- ケーブルをシートフィーダの下に挟まないよう注意してください。
- シートフィーダを確実に下に突き当たるまで下ろして使用してください。中途半端に下ろすと紙づまりの原因となります。

❻ **シートフィーダのコネクタをプリンタのコネクタに差し込む。**

❼ **コネクタカバーを取り付ける。**

✔チェック

コネクターカバーは、ほこりや静電気を防ぐために必ず取り付けてください。ほこりや静電気の影響を受けると、プリンタが正しく動作しないおそれがあります。

❽ **シートガイドを取り付け、トップカバーを閉める。**

シートガイドを取り付ける際、フロントカバーは「カチッ」と音がするまではめ込み、戻します（シートガイドの取り付けについてユーザーズマニュアル参照）。

これでシートフィーダの取り付けは完了です。

シートフィーダを取り外す場合は「シートフィーダの取り外し」（58ページ）を参照してください。

シートフィーダ使用時の注意

シートフィーダを使用するときは次のことに注意してください。

- 用紙がプリンタ内に残ったままプリンタの電源スイッチをONにしたりソフトウェアリセットや強制リセットを行ったりしたときは、その用紙は自動的に排出されます。
- プリンタの電源スイッチがONのときや強制リセット時には、用紙がセットされている、いないにかかわらず、用紙P.Eランプは消灯しています。
- シートフィーダを使ってテスト印刷を行うときは、あらかじめ用紙を吸入しておく必要はありません。［改頁］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにすると、用紙が自動的に吸入されてテスト印刷が始まります。（用紙があらかじめ吸入されていた場合は、プリンタはその用紙を排出してから新しい用紙を吸入してテスト印刷を開始します。）
- シートフィーダでは逆方向改行はできません。
- ペーパサポートの上に用紙など、物を載せないでください。
- シートフィーダには2種類以上の用紙をセットしないでください。シートフィーダを使用する場合は、必ず1種類の用紙をセットしてください。

シートフィーダへの用紙のセットと吸入

シートフィーダにセットできる用紙は、カット紙、複写式カット紙、はがき、折り目のない往復はがき、封筒です。連続紙はセットできませんが､シートフィーダをプリンタに取り付けたまま連続紙をフロントトラクタユニットにセットすることはできます。また、「用紙吸入位置の微調整」は、シートガイドからの用紙の吸入と同じように調整することができます（詳しくは「シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整」（60ページ）を参照してください）。

用紙をセットする前に、シートフィーダにセットできる用紙の種類と枚数を確認してください。詳細はユーザーズマニュアルの「用紙の規格」をご覧ください。また印刷可能範囲も併せて確認してください。

用紙の種類	用紙サイズ	セットできる枚数＊1
普通紙	定形サイズ A5、B5、A4、B4 定形外サイズ 幅55～364 x 長さ90～364mm	約180枚（坪量64.0g/m²（連量55kgの場合））
複写式用紙 1組5枚まで（オリジナル+4枚） （シートガイド使用時は7枚）		約40組（200枚）
はがき・往復はがき	6ページ	約65枚
封筒	9ページ	約20枚

＊1　セットできる用紙の最大の高さは 15mm です。封筒をセットする場合は、約 20 枚までです。封筒の一番厚い部分での高さが用紙限界マークを越えないようにセットしてください。

チェック

- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドを破損したり、プラテンを傷つけたりすることがあります。
- シートフィーダにセットした用紙の枚数が多すぎると、アラームランプが点灯し、動作しなくなることがあります。この場合は、左側板にある用紙セット限界マークを超えないように枚数を減らし、いったんプリンタの電源スイッチをOFFにした後、再度電源スイッチをONにしてください。

カット紙・複写式カット紙のセットと吸入

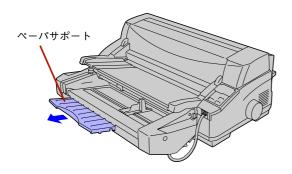
MultiImpact 700LX2のカット紙のセット位置は、左端を基準にしています。アプリケーションの設定で中央セットで使用していた場合は、メニューのカット紙位置補正機能を使用するか、左セットにしてから使用してください。

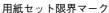
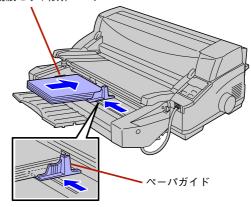
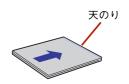
❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

❷ **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、印刷されたページをカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避する。**

連続紙のカットについては1章の「連続紙のカット」（11ページ）、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

❸ **操作パネル上のシートフィーダランプが点灯するまで［用紙選択］スイッチを押す。**

❹ **ペーパサポートを引き出す。**

❺ **用紙をホッパにセットし、右のペーパガイドを印刷する用紙サイズに合わせる。**

印刷する面を上にし、カット紙の左端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままカット紙の先端をフロントガイドにぴったりと突き当たるまで挿入し、右のペーパガイドを用紙に合わせます。ペーパーガイドを動かすときは3本線の入った部分を持って動かしてください。その際、ペーパガイドの水平板をカット紙の下に入り込ませてください。

複写式用紙を使用する場合は、印刷する面を上にし、天のりの方を挿入します。

チェック

ホッパにセットできるカット紙の量はシートフィーダの左側板の用紙セット限界マークまでです。

［吸入/退避］スイッチを押す。

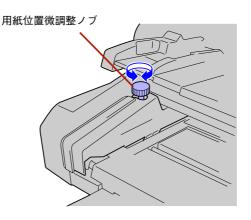
ホッパが自動的に持ち上がり、用紙が吸入されます。

これで用紙のセット・吸入は完了です。印刷するデータをプリンタが受信すれば、カット紙への印刷が開始されます。また、用紙の吸入位置および横方向の印刷位置を微調整することができます。詳しくは「シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整」（60ページ）および「シートフィーダでの印刷開始位置の確認」（61ページ）をご覧ください。

チェック

- 用紙はペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。特に複写式の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。
- 左側のみとじてある片とじ伝票は使用しないでください。紙づまりが発生するおそれがあります。
- 折り目、しわ、傷、反りがあるもの、用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質、厚さ、大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。
- 一度にセットできる用紙の最大量は、用紙の総紙厚が15mm以下です。
- 一般紙の場合、坪量64.0g/m^2（連量55kg相当）で約180枚です。はがき、官製はがきの場合は約65枚です。封筒の場合は約20枚です。
- 官製はがきの両面に印刷する場合は、片面を印刷した後、反りをなくしてから反対側の面に印刷してください。
- 印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

用紙セット位置（左右方向）を変えたいときは

用紙位置微調整ノブを用いて、ホッパにセットされた用紙の位置を左右方向に移動できます。ノブを時計方向に回すと用紙をセットする左側板は左方向に移動します。また、反時計方向に回すと右方向に移動します。

用紙を追加または変更するときは

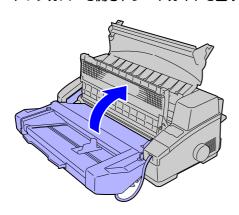
一度セットした用紙にさらに用紙を追加したり、印刷するカット紙の種類を変更するときは、次の手順で行います。はがき、封筒、名刺サイズの用紙の場合も同様の手順です。

❶ **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）になります。

チェック

本操作を行わなかった場合、正しい印刷ができないことがあります。

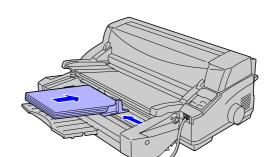
❷ **トップカバーを開き、シートガイドを上げる。**

❸ **すべての用紙をいったん取り除く。**

❹ **用紙をよくそろえて、追加または変更する。**

チェック

用紙を追加または変更する前に、セットできる用紙の種類と枚数を確認してください。
カット紙については「カット紙・複写式カット紙のセットと吸入」（50ページ）、はがき、往復はがきについては「はがき・往復はがきのセットと吸入」（53ページ）、封筒については「封筒のセットと吸入」（55ページ）を参照してください。

❺ **追加または変更した用紙をホッパにセットし直す。**

右のペーパガイドも合わせ直してください。

❻ **トップカバーとシートガイドを戻す。**

❼ **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

はがき・往復はがきのセットと吸入

はがき・往復はがきをセットする前に、1章の「使用できるはがき、往復はがきの確認」（6ページ）および「はがき、往復はがきに印刷するときの注意」（6ページ）をご覧ください。

❶ **プリンタの電源スイッチをONにする。**

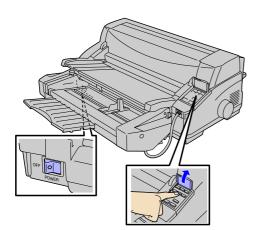
❷ **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。**

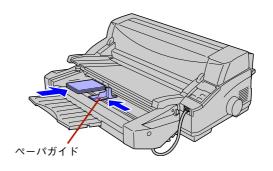
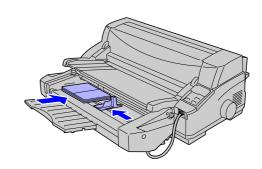
連続紙のカットについては1章の「連続紙のカット」（11ページ）、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

❸ **操作パネル上のシートフィーダランプが点灯するまで［用紙選択］スイッチを押す。**

❹ **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

❺ **操作パネルカバーを開けて［高速印刷］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。**

ハガキランプが点灯します。これでプリンタは「ハガキ印刷モード」になります。

❻ **はがきをホッパにセットする。**

はがきをセットする場合は、印刷する面を上にし、はがきの左端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままはがきの先端をフロントガイドにぴったりと突き当たるまで挿入し、右のペーパガイドをはがきに合わせます。その際ペーパガイドの水平板は、はがきの下に入り込ませてください。

往復はがきも普通のはがきと同じ手順でセットします。

［吸入/退避］スイッチを押す。

ホッパが自動的に持ち上がり、はがきが吸入されます。

印刷するデータをプリンタが受信すれば、はがきへの印刷が開始されます。

チェック

- 上記の方法で「ハガキ印刷モード」をセットした場合は、電源をOFFにすると「ハガキ印刷モード」は解除されてしまいます。電源をOFFにしても解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを設定してください。設定方法は2章の「メニューモードの設定方法」(25ページ)をご覧ください。
- はがきはペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

封筒のセットと吸入

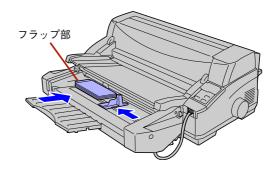
封筒をセットする前に、「使用できる封筒の確認」(9ページ)、「封筒に関する注意」(9ページ)、「封筒に印刷するときの注意」(10ページ) をご覧ください。

1. **プリンタの電源スイッチをONにする。**
2. **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、印刷されたページをカットし［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。**

   連続紙のカットについては1章の「連続紙のカット」(11ページ)、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

3. **操作パネル上のシートフィーダランプが点灯するまで［用紙選択］スイッチを押す。**

4. **封筒をホッパにセットし、右のペーパガイドを封筒に合わせる。**

   封筒の印刷する面を上にし、フラップ部（折り返し部分）の先端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままフロントガイドに突き当たるまで挿入します。次に右のペーパガイドを封筒に合わせます。その際ペーパガイドの水平板は封筒の下に入り込ませてください。

5. **［吸入/退避］スイッチを押す。**

   ホッパが自動的に持ち上がり、封筒が吸入されます。

   印刷するデータをプリンタが受信すれば、封筒への印刷が開始されます。

チェック

- 封筒はペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

用紙の排出

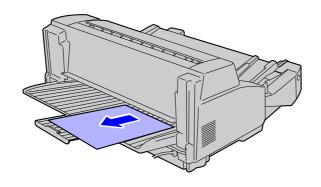
印刷が終了したカット紙は、スタッカまたはシートガイドに排出されます。

複写式用紙に印刷した場合は、プリンタの背面のスタッカに排出してください。シートガイド上に排出すると紙づまりなどを起こす原因となります。

スタッカに排出する

通常、シートフィーダから吸入したカット紙は、印刷が終了した後、自動的にプリンタ背面のスタッカ*[1] に排出されるので、何も設定する必要はありません。

スタッカには約100枚（坪量64.0g/m^2（連量55kg相当））の用紙の場合）スタックする（積み重ねる）ことができます。

あらかじめメモリスイッチ4-7（MSW4-7）をONにすると、ソフトウェアからシートガイドに排出させるコマンドを送っても常にスタッカに排出されます。（メモリスイッチの設定方法は、2章の「メニューモードの設定方法」（25ページ）をご覧ください。

シートガイドに排出する

メモリスイッチ4-7（MSW4-7）をOFFにし、排出方向指定コマンドにより指定してください。ただしこの場合は、排出した用紙を取り除かないと次の用紙を吸入できません。

*[1] スタッカに一度にスタックできる用紙の最大量は、坪量64.0g/m2（連量55kg相当）のA4カット紙で約100枚までです。

シートフィーダと連続紙の切り替え印刷

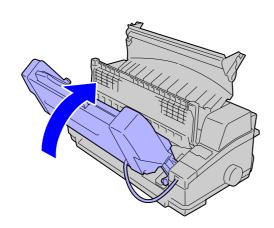
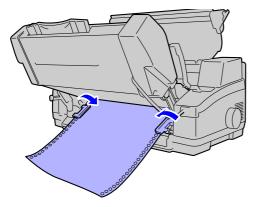
シートフィーダを取り付けたままでも連続紙に印刷することができます。次の手順で連続紙をセットして印刷を行ってください。

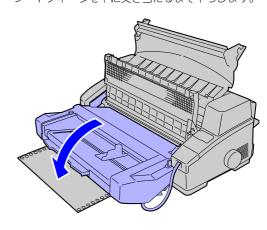
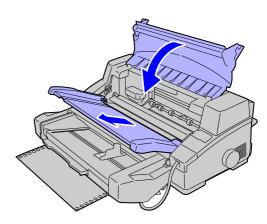
❶ **カット紙が吸入されている場合は、［排出/カット］スイッチを押して排出する。**

❷ **操作パネル上の連続紙ランプが点灯するまで［用紙選択］スイッチを押す。**

トラクタユニットに連続紙をセットしていないときは、次の手順でセットします。

① **トップカバーを開け、シートガイドを上げる。**

② **シートフィーダを上げる。**

③ **連続紙をセットする。**

④ **シートフィーダを下げる。**

シートフィーダを下に突き当たるまで下ろします。

⑤ **シートガイドを下げ、トップカバーを閉める。**

⑥ **［吸入/退避］スイッチを押す。**

連続紙が吸入されれば用紙P.Eランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

これで連続紙に印刷できます。

シートフィーダの取り外し

次の手順でシートフィーダを取り外します。

❶ **シートフィーダに用紙がセットされているときや、印刷終了後の連続紙が残っているときは、用紙を取り除く。**

シートフィーダから用紙を吸入しているときは、［排出/カット］スイッチを押して用紙を排出します。

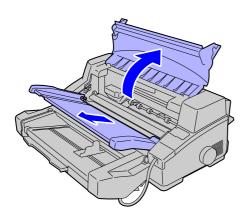
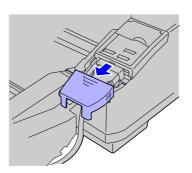
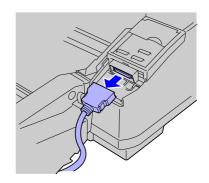
印刷終了後の連続紙が残っている場合は印刷されたページをカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させて取り除きます。

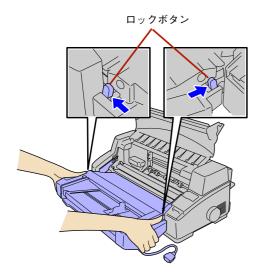
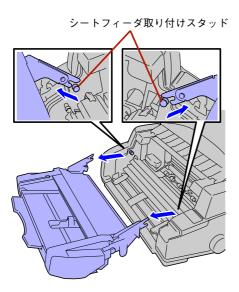
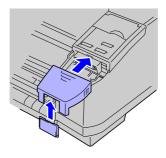
連続紙のカットについては1章の「連続紙のカット」（11ページ）、一時退避についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

❷ **プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**

> **重要**
>
> プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り外すと故障の原因となることがありますので、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。

❸ **トップカバーを開け、シートガイドを取り外す。**

シートガイドの両端を持ち、手前に引き抜きます。

❹ **操作パネル手前のコネクタカバーを取り外す。**

❺ **シートフィーダのコネクタをプリンタのコネクタから取り外す。**

❻ **シートフィーダを取り外す。**

左右にあるロックボタンを押しながら手前に引き、シートフィーダ取り付けスタッドからシートフィーダを取り外します。

❼ **保管していたスライドカバーをコネクタカバーに取り付け、コネクタカバーをプリンタに取り付ける。**

❽ **シートガイドを取り付け、トップカバーを閉める。**

シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整

シートフィーダ使用時の用紙吸入位置の微調整は以下の手順で行います。なお、シートガイドで設定した用紙吸入位置微調量は、変更しない限りシートフィーダでも有効です。

チェック

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行（文字下端）までの距離が0～26mmになる範囲です。
- 吸入中の用紙があるときに［微調モード］スイッチを押しながら［▼］スイッチを押した場合、吸入中の用紙は排出されます。その後新しい用紙が吸入位置0.0mmで吸入されるので、［微調モード］スイッチを押しながら［▲］スイッチを押して微調整を行ってください。

❶ ［吸入/退避］スイッチを押す。

カット紙を吸入します。

❷ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）になります。

❸ ［微調モード］スイッチを押しながら［▲］スイッチを押して、用紙吸入位置を微調整する。

［▲］スイッチを一回押すごとに約0.42mm（2/120インチ）順方向に送ります。

❹ 微調整が終了したら［微調モード］スイッチを押す。

新しい吸入位置がプリンタに記憶されます。

❺ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが点灯します。

シートフィーダでの印刷開始位置の確認

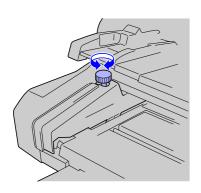
シートフィーダ使用時でお使いになる用紙への印刷開始位置を、以下の方法で適正な位置に合わせてください。

❶ **現在印刷されている印刷位置とお望みの印刷位置とのずれ量を測定してください。**

お使いになる用紙に対しての印刷位置を左側に移動したい場合は、用紙位置微調整ノブを反時計方向に回して、用紙セット位置を右側に寄せます。

印刷位置を右側に移動したい場合は、時計方向に回します。用紙セット位置の移動範囲は左方向へ3mm、右方向へ3mmです。

チェック

用紙セット位置の移動後には、右側のペーパガイドを用紙にぴったりと合わせ直してください。紙づまりの原因となります。

❷ **「メニューモード」の「機能選択」の中の「印刷位置の微調整」に従って、印刷位置の微調整を行うことも可能です（1章の「印刷開始位置の微調整」（17ページ）参照）。**

上記1の方法でも調整量が足りない場合に行ってください。また、添付の「リモートパネル」からも調整することができます。

紙づまりのときは

用紙吸入時に用紙がつまった場合は、アラームランプと用紙P.Eランプが点灯します。このようなときは、次の手順に従って処理してください。

❶ **プラテンノブを時計回りに回して、つまったカット紙を取り除く。**

シートフィーダ内で紙づまりした場合は、用紙を手前に引っ張り、シートフィーダから取り除いてください。

チェック

ラベル紙などの「粘着剤」が付着している用紙の場合は、用紙やちぎれた用紙片の除去に加えて、プリンタ内部に粘着剤が残っていないか確認し、残っていたら、きれいに取り除いてください。付着した粘着剤を取り除けない、または取り除いた箇所で紙づまりが発生する場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口までお問い合わせください。

❷ **［吸入/退避］スイッチを押す。**

用紙が吸入され、用紙P.Eランプが消灯します。

4章
プリンタドライバ

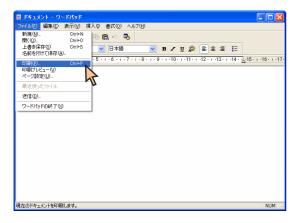
プリンタドライバは、MultiImpact 700LX2で印刷を行うために必要なソフトウェアです。ご使用のコンピュータにプリンタドライバをインストールすることによって、印刷品質に関する様々な要求に応えることができます。ここでは一般的な印刷の手順と印刷の詳細な設定を行うプロパティダイアログボックスの概要について、各OSに分けて説明します。

Windows XP/2000/Server 2003 日本語版の場合

印刷の手順

ここでは、Windows XPで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

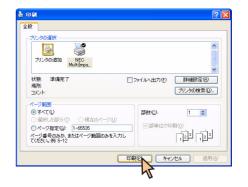
［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ **使用するプリンタ名として「NEC MultiImpact 700LX2」が選択されていることを確認する。**

もし選択されていなければ、選択し直します。65ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。

❸ **ページ範囲、部数を指定する。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は、［詳細設定］をクリックし、設定変更します。Windows 2000の場合は、［レイアウト］シートまたは［用紙/品質］シートで設定変更します。

❹ **印刷の設定が終わったら［印刷］をクリックする。**

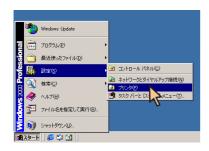
印刷が開始されます。

プリンタドライバの選択

1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

❶ ［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

❷ 「NEC MultiImpact 700LX2」アイコンをクリックする。

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。

❸ ［ファイル］メニューの［通常使うプリンタ］をクリックする。

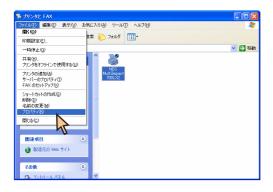
これでプリンタドライバが選択されます。

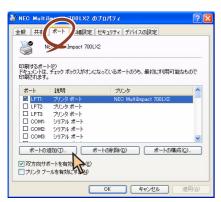
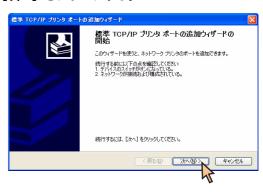
印刷先の変更

LANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［ポート］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「Standard TCP/IP Port」を使用した場合を例にとって説明します。LANアダプタについては、LANアダプタの取扱説明書を参照してください。

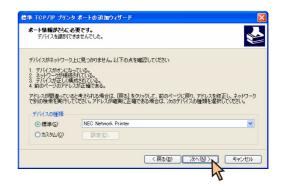
ここではWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 700LX2とNEC PR-NP-07を使用した場合を例にとって説明します。

❶ **［MultiImpact 700LX2のプロパティ］のダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタとFAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダの［NEC MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］シートを開く。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［Standard TCP/IP Port］を選んで、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

❻ **「NEC PR-NP-07」のIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**

❼ **手順❻で入力された IP アドレスがネットワーク上に設定されていない場合、次のようなダイアログボックスが表示される。［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選択し、［次へ］をクリックする。表示されない場合は手順❽へ進んでください。**

❽［完了］をクリックする。

❾［閉じる］をクリックする。

印刷先の変更が完了しました。

共有プリンタに設定する

MultiImpact 700LX2を、Windows XP 日本語版/2000 日本語版/Server 2003 日本語版環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版の環境で、共有プリンタとして設定する手順について説明します。

❶ ［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows　XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

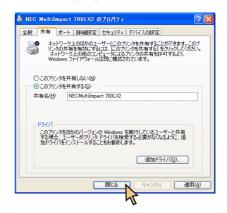
Windows　XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

❷ 「NEC MultiImpact 700LX2」アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。

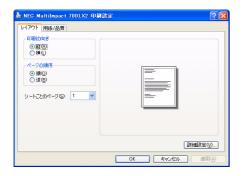
［NEC MultiImpact 700LX2のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❹ ［このプリンタを共有する］または［共有する］をチェックし、そのプリンタの共有名を入力し、［OK］をクリックする。

これで共有プリンタの設定は完了です。

印刷の詳細設定

次のような2つの［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

［印刷設定］ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の2つのプロパティシートから構成されています。

- ［レイアウト］シート
- ［用紙/品質］シート

［プロパティ］ダイアログボックス

プリンタのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の7枚のプロパティシートから構成されています。

- ［全般］シート
- ［共有］シート
- ［ポート］シート
- ［詳細設定］シート
- ［セキュリティ］シート*
- ［デバイスの設定］シート

* Windows XP Home Editionの場合、表示されません。Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、［スタート］からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。

［プロパティ］ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

❶［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

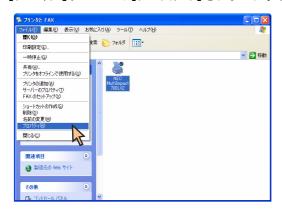
❷「NEC MultiImpact 700LX2」アイコンをクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスを開きたいときは手順❸へ、［プロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❹へ進んでください。

❸［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、73ページからの「［印刷設定］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

❹［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、79ページからの「［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

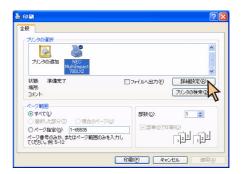
アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

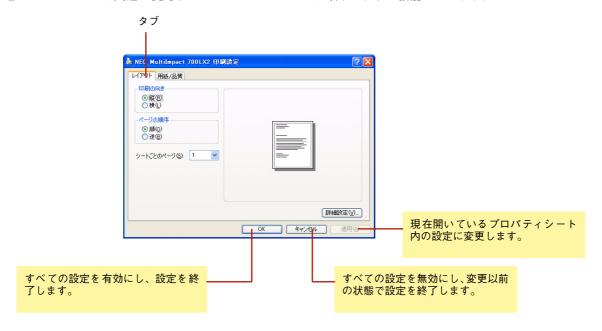
［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ **［詳細設定］をクリックし、印刷の設定を行う。**

Windows 2000の場合は［レイアウト］シートおよび［用紙／品質］シートで、印刷の設定を行います。

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

[印刷設定] ダイアログボックスで詳細設定を行う

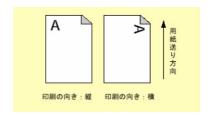
[印刷設定] ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

[レイアウト] シート

このプロパティシートは印刷の向き、ページの順序など印刷のレイアウトに関する設定を行うものです。

印刷の向き、ページの順序などを設定すると右側に表示されているイラストが設定に応じて変化します。

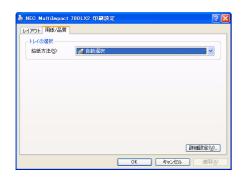
印刷の向き

縦：　用紙を縦長に使って印刷します。
横：　用紙を横長に使って印刷します。

ページの順序

順：　用紙をページの始めから順に印刷します。
逆：　用紙をページの終わりから順に印刷します。

シートごとのページ

1枚の用紙にドキュメントの何ページ分を印刷するかを指定します。

［用紙/品質］シート

このプロパティシートは給紙方法の選択に関する設定を行うものです。

トレイの選択

用紙の給紙方法を選択します。詳細は75ページをご覧ください。

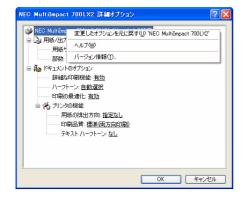
給紙方法について

給紙方法を選択します。MultiImpact 700LX2プリンタドライバがサポートする給紙方法は次のとおりです。

画面表示	内　容
自動選択	［デバイスの設定］プロパティシート上の給紙方法の設定に従います。
シートガイド	シートガイドに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド（上余白0）＊1	シートガイドに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ	オプションのシートフィーダに用紙をセットします。＊2 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ（上余白0）＊1	オプションのシートフィーダに用紙をセットします。＊2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ	フロントトラクタに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ（上下余白0）＊1	フロントトラクタに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。

＊1　通常の印刷では使用しません。印刷可能領域をミシン目近くまで取りたい場合にのみ、ご使用いただけますが、以下の点をご承知の上で使用してください。

- ユーザーズマニュアル記載の印刷保証領域以外は、かすれ等の印刷品位劣化が生じる場合があります。
- ミシン目上は印刷しないでください。ピン折れ等の障害が発生することがあります。

＊2　この設定をお使いになる場合は、［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［デバイスの設定］シートの［インストール可能なオプション］において［シートフィーダ］を［あり］に設定してください。

［詳細設定］

このボタンをクリックすると［詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスで印刷の詳細に関する以下の設定を行うことができます。

チェック

このダイアログボックスで右クリックすると、左の画面を表示します。

- 変更したオプションを元に戻す
  変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
- バージョン情報
  本プリンタに関する情報を表示します。

用紙サイズ

印刷用紙のサイズを選択します。
MultiImpact 700LX2がサポートする用紙サイズについては78ページを参照してください。

部数

印刷部数を選択します。

詳細な印刷機能

［詳細オプション］ダイアログボックスで設定した印刷機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

ハーフトーン

ハーフトーンの設定方法を選択します。

印刷の最適化

印刷の最適化を有効にするか、無効にするかを選択します。

用紙の排出方向

印刷した用紙の排出先を選択します。

- 指定なし

  用紙の排出方向を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。

- 前方排出

  用紙をシートガイドに排出します。

- 後方排出

  用紙をスタッカに排出します。

印刷品質

- 指定なし

  高速印刷および印刷方向（片方向／両方向）を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。

- 標準（片方向印刷）

  左から右へ印刷を行います。最もきれいに印刷することができます。

- 標準（両方向印刷）

  両方向最短印刷を行います。片方向印刷に比べて印刷時間が短縮されます。

- 高速（片方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引き、左から右へ印刷を行います。［標準（片方向印刷）］に比べて印刷時間が短縮されます。

- 高速（両方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引いて両方向最短印刷を行います。最も高速に印刷することができます。

テキストハーフトーン*

TrueTypeフォントにハーフトーン処理を行うかを設定します。

- なし

  従来OSとTrueTypeフォントの印刷結果が同じになります。

- 160

  ハーフトーン処理を行います。

* Windows 2000には、この設定はありません。

用紙サイズについて

用紙サイズを選択します。MultiImpact 700LX2プリンタドライバがサポートする用紙の種類は次のとおりです。給紙方法により、サポートする用紙が異なります。現在設定されている給紙方法で使用できない用紙を選択すると、使用不可のメッセージが出ます。

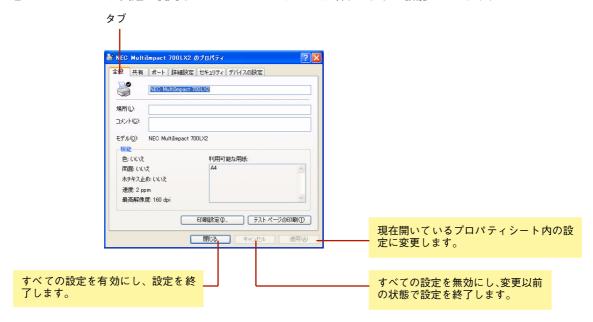
画面表示		内　容
A3	(297×420mm)	A3サイズの用紙を縦置きにセットします。
A3横	(420×297mm)	A3サイズの用紙を横置きにセットします。
A4	(210×297mm)	A4サイズの用紙を縦置きにセットします。
A4横	(297×210mm)	A4サイズの用紙を横置きにセットします。
A5	(148×210mm)	A5サイズの用紙を縦置きにセットします。
A5横	(210×148mm)	A5サイズの用紙を横置きにセットします。
B4	(257×364mm)	B4サイズの用紙を縦置きにセットします。
B4横	(364×257mm)	B4サイズの用紙を横置きにセットします。
B5	(182×257mm)	B5サイズの用紙を縦置きにセットします。
B5横	(257×182mm)	B5サイズの用紙を横置きにセットします。
はがき	(100×148mm)	はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
はがき横	(148×200mm)	はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき	(200×148mm)	往復はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき横	(148×200mm)	往復はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
10×11インチ		10インチ幅の連続紙をセットします。
15×11インチ		15インチ幅の連続紙をセットします。
封筒　角形2号　横		封筒　角形2号（332×240mm）を横置きにセットします。
封筒　角形3号　横		封筒　角形3号（277×216mm）を横置きにセットします。
封筒　長形3号　横		封筒　長形3号（235×120mm）を横置きにセットします。
封筒　長形4号　横		封筒　長形4号（205×90mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形2号　横		封筒　洋形2号（162×114mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形5号　横		封筒　洋形5号（217×95mm）を横置きにセットします。
名刺	(55×91mm)	名刺または名刺サイズの用紙を縦置きにセットします。
登録した用紙		Windows XP/2000/Server 2003の「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙を使用する場合は、登録した用紙名を選択してください。以下の範囲内で作成してください。用紙の登録方法については「ユーザー定義用紙サイズの登録」（83ページ）をご覧ください。 幅　50.8～420.05mm／高さ　25.4～541mm
上記の他に「15×1インチ」～「15×14インチ」などの連続紙を12種類選択することができます。		

注意事項

- シートフィーダをお使いの場合は用紙サイズA3（縦置き）、A3横は使用できません。
- シートフィーダをお使いの場合は封筒洋形2号、洋形5号は使用できません。
- ユーザー定義用紙サイズを上余白0mmまたは上下余白0mmで使用する場合は、給紙方法をシートガイド（上余白0）、シートフィーダ（上余白0）または、フロントトラクタ（上下余白0）に設定してください。

［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う

［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

［全般］シート

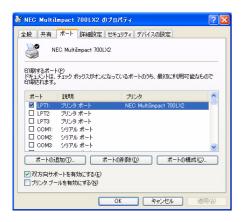
このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

［共有］シート

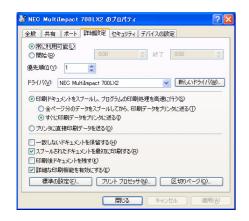
このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

［ポート］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

PrinterSignalStationを使用する場合は［双方向サポートを有効にする］を選択してください。

［詳細設定］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

［セキュリティ］シート

このプロパティシートはWindows XP/2000/Server 2003対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows XP/2000/Server 2003のヘルプをご覧ください。

Windows XP Home Editionの場合、表示されません。
Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

[デバイスの設定] シート

このプロパティシートはデバイスの設定に関する以下の設定を行います。

> **チェック**
>
> このプロパティシートで右クリックすると、左の画面が表示されます。
>
> - 変更したオプションを元に戻す
>   変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
> - バージョン情報
>   プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

給紙方法と用紙の割り当て

MultiImpact 700LX2がサポートしている給紙方法から、使用するものを選択します。

ツリービューの中の給紙方法の1つをクリックすると給紙方法に割り当てる用紙が表示されます（MultiImpact 700LX2でサポートする給紙方法については75ページを参照してください)。給紙方法に割り当てる用紙を選択します。

> **チェック**
>
> - 給紙方法として［自動選択］を選択したときに、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定が有効となります。設定方法については、82ページを参照してください。
> - オプションの［シートフィーダ］は、［インストール可能なオプション］において使用するオプションを［あり］に設定した場合に有効となります。

漢字コード表の選択

漢字コード表の選択を設定します。

- JIS1978年版
  JIS1978年版漢字コード表で印刷します。
- JIS1990年版
  JIS1990年版漢字コード表で印刷します。

シートフィーダ、シートフィーダ（上余白0）

オプション装置の有無を設定します。

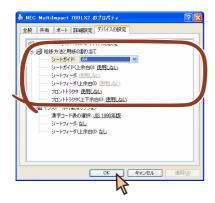
- なし
- あり

給紙方法と用紙の割り当てについて

給紙方法と用紙の割り当てにより、給紙方法を自動選択する場合は以下のように設定します。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスを開く。**

［プロパティ］ダイアログボックスの開き方については、70ページの「［スタート］ボタンを使って呼び出す」をご覧ください。

❷ **［デバイスの設定］シートで［給紙方法と用紙の割り当て］を設定し、［OK］をクリックする。**

チェック

同じ用紙サイズを複数の給紙方法に割り当てた場合は、上の方に表示されている給紙方法が選択されます。

❸ **［印刷設定］ダイアログボックスを開く。**

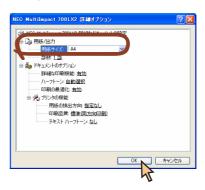
［印刷設定］ダイアログボックスの開き方については、70ページの「［プロパティ］ダイアログボックスを開く」をご覧ください。

❹ **［用紙／品質］シートで給紙方法から［自動選択］を選択する。**

チェック

［自動選択］以外の給紙方法を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定にかかわらず、ここで選択した給紙方法で印刷が行われます。

❺ **［詳細オプション］ダイアログボックスを開き、使用する用紙サイズを選択し、［OK］をクリックする。**

手順2でこの用紙サイズを割り当てた給紙方法が自動選択されます。

チェック

ここで、［給紙方法と用紙の割り当て］で設定した用紙サイズ以外の用紙を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］で一番上に表示されている給紙方法が選択されます。

❻ **［OK］をクリックする。**

ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

❶ ［プリンタと FAX］フォルダまたは［プリンタ］フォルダを開く。

Windows　XP Professional/Server 2003の場合は、［スタート］の［プリンタとFAX］をクリックします。

Windows　XP Home Editionの場合は、［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows 2000の場合は、［スタート］の［設定］から［プリンタ］をクリックします。

❷ ［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックし、［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを開く。

❸ ［用紙］シートにおいて［新しい用紙を作成する］をチェックする。

❹ ［用紙名］に用紙の名前を設定する。

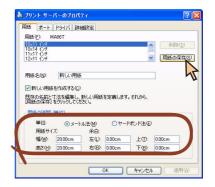
チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❺ ［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定する。

チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- MultiImpact 700LX2プリンタドライバでは、幅50.8～420.05mm、長さ25.4～541mmの範囲内で用紙サイズを使用することができます。
- MultiImpact 700LX2プリンタドライバでは、ユーザー定義用紙サイズの左右余白は0mm固定です。また、上下余白は給紙方法を選択することで設定されます。このため、用紙登録時の余白設定は反映されません。

❻ ［用紙の保存］をクリックする。

❼［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認する。

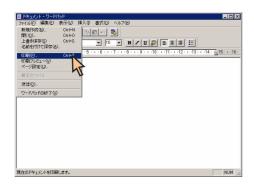
Windows Me/98 日本語版の場合

印刷の手順

ここでは、Windows Meで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

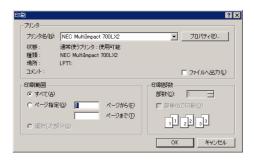
印刷する

❶ ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ 使用する［プリンタ名］として「NEC　MultiImpact 700LX2」が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ、選択し直します。88ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。

❸ 印刷範囲、部数を指定する。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は［プロパティ］をクリックし、設定変更します。

❹ 印刷の指定が終わったら［OK］をクリックする。

印刷が開始されます。

NEC Print Server Portのインストール方法

ここでは、Windows 98とPR-NP-07を使用して印刷する場合に必要となるNEC Print Server Portをインストールする手順を説明します。

なお、Windows 98の基本的な操作およびセットアップについては、OS添付のマニュアルなどをご覧ください。

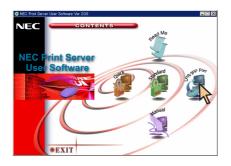
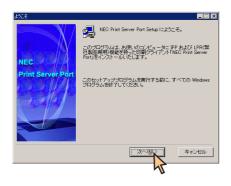
チェック

- NEC Print Server Portをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了させてください。
- インストールを始める前に、PR-NP-07添付のCD-ROMを用意してください。
- NEC PR-NP-07添付のCD-ROMはCD-ROMをドライブにセットするだけで、自動的にメニュープログラムを起動させる機能を持っています。自動的にメニュープログラムが起動しない場合は、CD-ROM内のルートディレクトリにあるAutoRun.exeを実行してください。

❶ **コンピュータの電源をONにし、Windows 98を起動する。**

❷ **PR-NP-07に添付のCD-ROMをドライブにセットする。**

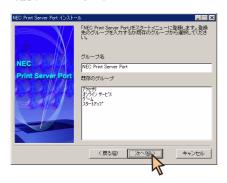
User Softwareのメインメニューが起動します。

❸ **［LPR/IPP Port］ボタンをクリックする。**

❹ **［次へ］をクリックする。**

❺ **使用許諾契約を読み、［はい］をクリックする。**

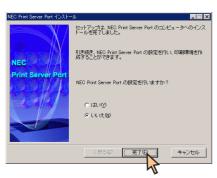
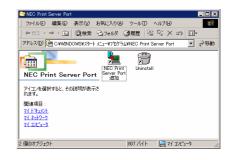
❻ **［NEC Print Server Port］のインストール先を指定し、［次へ］をクリックする。**

作成先フォルダを変更したい場合は、［参照］をクリックしインストールするフォルダを選択してください。

❼ **スタートメニューの登録先を指定し、［次へ］をクリックする。**

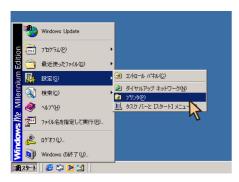
既存のグループに登録したい場合は、下のリストボックスから選択してください。

❽ **［いいえ］をクリックし、［完了］をクリックする。**

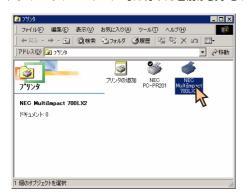
［はい］を選択すると、引き続きNEC Print Server Portの設定を行えますが、ここでは［いいえ］を選択し、インストールを終了させます。

このままセットアップを続けたい場合は、NEC PR-NP-06添付のオンラインマニュアルを参照してください。

❾ **下に表示された画面を閉じる。**

プリンタドライバの選択

1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックする。

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。

❸ ［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

これでプリンタドライバが選択されます。

印刷先の変更

LANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［詳細］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「NEC Print Server Port」をインストールした後に行ってください。

LANアダプタについては、LANアダプタの取扱説明書を参照してください。

NEC Print Server Portについては、PR-NP-07を使用した場合のインストール方法を、「NEC Print Server Portのインストール方法」（86ページ）に記載してありますので、そちらを参照してください。

ここではWindows Me 日本語版、Windows 98 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 700LX2とNEC PR-NP-07を使用した場合を例にとって説明します。

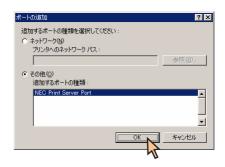
❶ **［MultiImpact 700LX2のプロパティ］のダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダの「NEC MultiImpact 700LX2」アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［詳細］シートを開く。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［その他］を選択する。**

❺ **「NEC Print Server Port」を選んで、［OK］をクリックする。**

❻ **［NEC Print Server Port］が開いたら、［LPR（Line Printer Remote）で印刷する］をクリックし、［次へ］をクリックする。**

［IPP（Internet Printing Protocol）］を選択してPortを設定したい場合は、PR-NP-07添付のUser Softwareのオンラインマニュアルを参照してください。

❼ IPアドレスまたはホスト名を入力し、[次へ]をクリックする。

「NEC PR-NP-07」が存在する場合、検索をクリックし使用するPR-NP-07を選択してください。

❽ 印刷先のポート名を確認し，[次へ] をクリックする。

❾ [完了] をクリックする。

❿ [OK] をクリックする。

共有プリンタに設定する

MultiImpact 700LX2を、Windows Me/98環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。
ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows Me/98の環境で、共有プリンタとして設定する手順について説明します。

❶ ［コントロールパネル］を開く。

❷ ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする。

❸ ［ファイルとプリンタの共有］をクリックする。

［ファイルとプリンタの共有］ダイアログボックスが開きます。

チェック

ネットワーク構成にTCP/IPプロトコル、Microsoftネットワーク共有サービスが必要です。

❹ ［プリンタを共有できるようにする］をチェックし、［OK］をクリックする。

［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

❺ ［OK］をクリックする。

チェック

ネットワークの構成を変更した場合は、必ずWindowsを再起動してください。

❻ ［プリンタ］フォルダ内の［NEC MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックする。

［プリンタ］フォルダは［スタート］から［設定］―［プリンタ］をクリックすると開きます。

❼ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［NEC MultiImpact 700LX2のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❽［共有］シートを開く。

❾［共有］シートの設定をする。

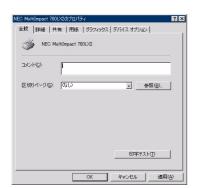
［共有する］を選び、そのプリンタに対して、共有名を入力します（コメント、パスワードは必要に応じて入力します）。

❿［OK］をクリックする。

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoftネットワーク共有サービス」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

印刷の詳細設定

次のような［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。［プロパティ］ダイアログボックスは以下のような7枚のプロパティシートから構成されています。

ここでは［プロパティ］ダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要について説明します。

- ［全般］シート
- ［詳細］シート
- ［共有］シート*
- ［用紙］シート
- ［グラフィックス］シート
- ［デバイスオプション］シート

* お使いのコンピュータの設定環境によっては、表示されない場合があります。

［プロパティ］ダイアログボックスを開く

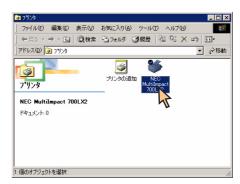
プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

下のような［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここではWindows Meで日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を使用した場合を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

❶ ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ ［プロパティ］をクリックする。

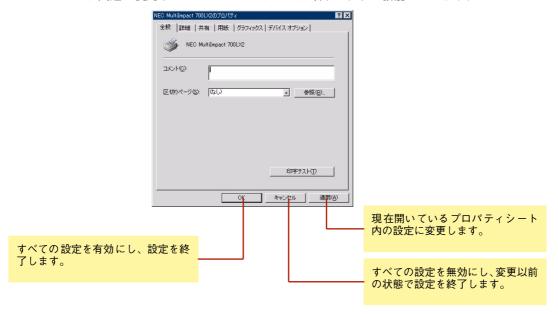
下のような［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

チェック

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

プロパティシートで詳細設定を行う

［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる内容についてプロパティシートごとに説明します。なお、各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されているヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

［全般］シート

このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

［詳細］シート

このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

スプールの設定(L)...

［スプールの設定］

このボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでプリンタスプールに関するいろいろな設定を行うことができます。

［共有］シート

このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタドライバ共通のものです。
このプロパティシートはWindows Me/98対応のプリンタをネットワークで使用しているときのみ表示されます。
プリンタを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows Me/98のヘルプをご覧ください。

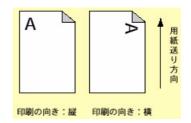
［用紙］シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行うものです。

用紙サイズ

用紙のサイズを選択します。詳しくは98ページをご覧ください。

用紙の向き

縦：　用紙を縦長に使って印刷します。
横：　用紙を横長に使って印刷します。

給紙方法

給紙方法を選択します。詳しくは99ページをご覧ください。

［余白の編集］

このボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスで余白の編集を行います。選択した用紙サイズに最適な値が設定されていますので通常の印刷で、この値を変更する必要はありません。
設定を変更すると印刷位置が不正になる場合がありますので、必要なとき以外は変更しないでください。

［バージョン情報］

プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

［既定値に戻す］

現在開いているプロパティシート内のすべての設定を標準の状態に戻します。

用紙サイズについて

用紙のサイズを選択します。MultiImpact 700LX2プリンタドライバがサポートする用紙の種類は次のとおりです。給紙方法により、サポートする用紙が異なります。現在設定されている給紙方法で使用できない用紙を選択すると、使用不可のメッセージが出ます。

画面表示	内　容
A3　（297×420mm）	A3サイズの用紙を縦置きにセットします。
A3横　（420×297mm）	A3サイズの用紙を横置きにセットします。
A4　（210×297mm）	A4サイズの用紙を縦置きにセットします。
A4横　（297×210mm）	A4サイズの用紙を横置きにセットします。
A5　（148×210mm）	A5サイズの用紙を縦置きにセットします。
A5横　（210×148mm）	A5サイズの用紙を横置きにセットします。
B4　（257×364mm）	B4サイズの用紙を縦置きにセットします。
B4横　（364×257mm）	B4サイズの用紙を横置きにセットします。
B5　（182×257mm）	B5サイズの用紙を縦置きにセットします。
B5横　（257×182mm）	B5サイズの用紙を横置きにセットします。
はがき　（100×148mm）	はがきを縦置きにセットします。
はがき横　（148×200mm）	はがきを横置きにセットします。
往復はがき　（200×148mm）	往復はがきを縦置きにセットします。
往復はがき横　（148×200mm）	往復はがきを横置きにセットします。
10×11インチ	10インチ幅の連続紙をセットします。
15×11インチ	15インチ幅の連続紙をセットします。
封筒　角形2号　横	封筒　角形2号（332×240mm）を横置きにセットします。
封筒　角形3号　横	封筒　角形3号（277×216mm）を横置きにセットします。
封筒　長形3号　横	封筒　長形3号（235×120mm）を横置きにセットします。
封筒　長形4号　横	封筒　長形4号（205×90mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形2号　横	封筒　洋形2号（162×114mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形5号　横	封筒　洋形5号（217×95mm）を横置きにセットします。
名刺　（55×91mm）	名刺または名刺サイズの用紙を縦置きにセットします。
ユーザー定義サイズ*	上記以外の定形外サイズの用紙を、幅50.8～370.8mm、長さ25.4～541mmの範囲内で、［ユーザー定義サイズ］で定義して使うことができます。
上記の他に「15×1インチ」～「15×16.5インチ」などの連続紙を40種類、選択することができます。	

*　「ユーザー定義サイズ」を選択すると下の画面が表示されます。定形外サイズの用紙を、幅50.8～370.8mm、長さ25.4～541mmの範囲内で定義して使用することができます。

注意事項

- シートフィーダをお使いの場合は用紙サイズA3（縦置き）、A3横はご使用になれません。
- シートフィーダをお使いの場合は封筒洋形2号、洋形5号はご使用になれません。

給紙方法について

給紙方法を選択します。MultiImpact 700LX2プリンタドライバがサポートする給紙方法は次のとおりです。

画面表示	内　容
シートガイド前方排出	シートガイドに用紙をセットし、シートガイドに排出します。*1 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド前方排出（上余白0）	シートガイドに用紙をセットし、シートガイドに排出します。*1､*2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド後方排出	シートガイドに用紙をセットし、スタッカに排出します。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートガイド後方排出（上余白0）	シートガイドに用紙をセットし、スタッカに排出します。*2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ前方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、シートガイドに排出します。*3 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ前方排出（上余白0）	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、シートガイドに排出します。*2、*3 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ後方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、スタッカに排出します。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
シートフィーダ後方排出（上余白0）	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、スタッカに排出します。*2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ	フロントトラクタに用紙をセットします。 プリンタの用紙吸入位置は9.7mm（文字下端）に設定してください。
フロントトラクタ（上下余白0）	フロントトラクタに用紙をセットします。*2 プリンタの用紙吸入位置は3.8mm（文字下端）に設定してください。

*1 リモートパネルでシートガイドの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-6（MSW4-6）を ON にしている場合は、後方排出されます。

*2 通常の印刷では使用しません。印刷可能領域をミシン目近くまで取りたい場合にのみ、使用してください。ただし、以下の点をご承知の上で使用してください。

- ユーザーズマニュアル記載の印刷保証領域以外は、かすれ等の印刷品位劣化が生じる場合があります。
- ミシン目上は印刷しないでください。ピン折れ等の障害が発生することがあります。

*3 リモートパネルでシートフィーダの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-7（MSW4-7）を ON にしている場合は、後方排出されます。

［グラフィックス］シート

このプロパティシートはグラフィックスに関する以下の設定を行います。

- 解像度
- ディザリング
- 濃度

解像度

MultiImpact 700LX2の解像度は「160dpi」のみです。

ディザリング

使用するディザパターンを選択します。デフォルトは「細かく」です。

- なし

  濃淡を使わず、白か黒で印刷します。
- 軽く

  解像度300dpi以上のプリンタを使用するときに選びます。MultiImpact 700LX2には適していません。
- 細かく

  解像度200dpi以下のプリンタを使用するときに最適です。MultiImpact 700LX2にも最適です。
- ラインアート

  カラー印刷データにせずに、印刷するグラフィックに黒、白グレー階調の間にくっきりとした境目のあるときに選んでください。このプロパティシート中の［色］の［カラー制御］を［白黒のみで印刷］に設定している場合のみ選択可能です。
- 誤差拡散法

  はっきりした境目のない写真や絵を印刷する場合に選択してください。

濃度

グラフィックスの明暗を増減するときに使います。印刷を薄くするときは［明］の方向へ、印刷を濃くするときは［暗］の方向へ設定します。デフォルト値は100です。

［デバイスオプション］シート

このプロパティシートはデバイスオプションに関しての設定を行います。

印刷品質

- 指定なし

  高速印刷および印刷方向（片方向／両方向）を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。
- 標準（片方向印刷）

  最も印刷品質が高いモードです。印刷は左から右へ行います。縦罫線などの印刷位置を揃えたいときに有効です。
- 標準（両方向印刷）

  両方向最短印刷になり、片方向印刷に比べて印刷時間が短縮されます。
- 高速（片方向印刷）

  印刷データを１ドットおきに間引きます。ヘッドの横送りを高速にするため、［標準（片方向印刷）］に比べて印刷時間が短縮されます。
- 高速（両方向印刷）

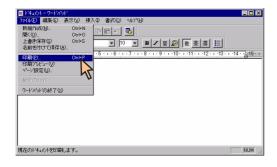
  両方向最短印刷に加え、印刷データを１ドットおきに間引きます。ヘッドの横送りを高速にするため、最も短い印刷時間になります。

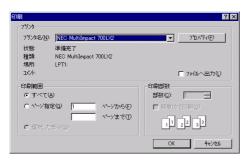
Windows NT 4.0 日本語版の場合

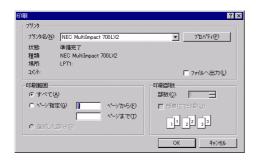
印刷の手順

ここでは、Windows NT 4.0で日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷ **使用するプリンタ名として「NEC MultiImpact 700LX2」が選択されていることを確認する。**

もし選択されていなければ、選択し直します。102ページの「プリンタドライバの選択」を参照してください。

❸ **印刷範囲、部数を指定する。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は［プロパティ］をクリックし、設定変更します。

❹ **印刷の設定が終わったら［OK］をクリックする。**

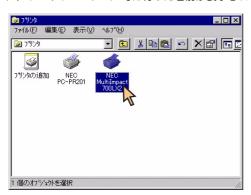
印刷が開始されます。

プリンタドライバの選択

1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタドライバを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタドライバを選択します。

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックする。

ドライバのインストール時に付けた名前が表示されます。

❸ ［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

これでプリンタドライバが選択されます。

印刷先の変更

LANアダプタによってネットワークに接続されているプリンタを指定する方法を説明します。プリンタソフトウェアのインストールにより作成されたプリンタの［ポート］プロパティシート上で行います。印刷先の変更は、「LPR Port」を使用した場合を例にとって説明します。

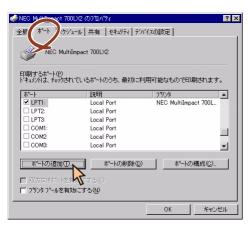
LANアダプタについては、LANアダプタの取扱説明書を参照してください。

ここではWindows NT 4.0 日本語版の環境で印刷先を変更する方法についてMultiImpact 700LX2とNEC PR-NP-07を使用した場合を例にとって説明します。

❶ **［NEC MultiImpact 700LX2のプロパティ］のダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダの［MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］シートを開く。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［LPR Port］を選んで、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **NEC PR-NP-07のIPアドレスを入力し、［プリンタキュー名］に、名前を入力し、［OK］をクリックする。**

❻ **以下のような画面が表示された場合は、［OK］をクリックする。**

❼［OK］をクリックする。

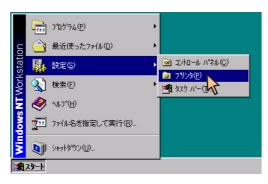
印刷先の変更が完了しました。

共有プリンタに設定する

MultiImpact 700LX2を、Windows NT 4.0環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあったクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows NT 4.0 日本語版の環境で、共有プリンタとして設定する手順について説明します。

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。

［NEC MultiImpact 700LX2］ダイアログボックスが表示されます。

❹ ［共有する］をチェックし、そのプリンタの共有名を入力し、［OK］をクリックする。

これで共有プリンタの設定は完了です。

印刷の詳細設定

次のような2つの［プロパティ］ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックス

印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次の2つのプロパティシートから構成されています。

- ［ページ設定］シート
- ［詳細］シート

［プロパティ］ダイアログボックス

プリンタのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の6枚のプロパティシートから構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションからは表示されません。

- ［全般］シート
- ［ポート］シート
- ［スケジュール］シート
- ［共有］シート
- ［セキュリティ］シート
- ［デバイスの設定］シート

- アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、［スタート］からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。
- ［既定のドキュメントのプロパティ］と［プロパティ］で同じ項目の設定は、［既定のドキュメントのプロパティ］の設定が優先されます。

［プロパティ］ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- デスクトップ上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。
- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［NEC MultiImpact 700LX2］アイコンをクリックする。

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❸へ、［プロパティ］ダイアログボックスを開きたいときは手順❹へ進んでください。

❸ ［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックする。

［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、110ページからの「［既定のドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

❹［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［プロパティ］ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、118ページからの「［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。

アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションから［プロパティ］ダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドまたは［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合、［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここではWindows NT 4.0に付属している日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を参照してください。

❶［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。

❷［プロパティ］をクリックする。

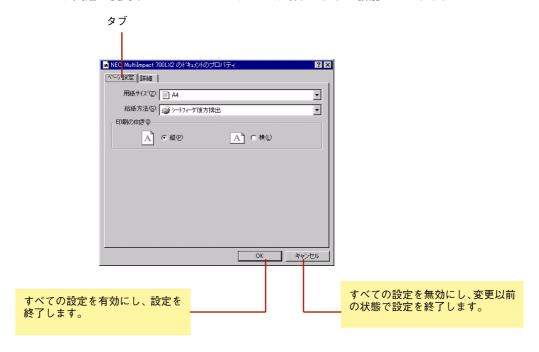
下のような［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

チェック

アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は［スタート］から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

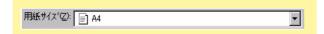
[既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスで詳細設定を行う

[既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている2つのボタンには以下のような機能があります。

[ページ設定] シート

このプロパティシートはページ設定に関する以下の設定を行うものです。

- 用紙サイズについて
- 給紙方法について
- 印刷の向き

用紙サイズについて

用紙サイズを選択します。MultiImpact 700LX2プリンタドライバがサポートする用紙の種類は次のとおりです。

画面表示		内　容
A3	(297×420mm)	A3サイズの用紙を縦置きにセットします。
A3横	(420×297mm)	A3サイズの用紙を横置きにセットします。
A4	(210×297mm)	A4サイズの用紙を縦置きにセットします。
A4横	(297×210mm)	A4サイズの用紙を横置きにセットします。
A5	(148×210mm)	A5サイズの用紙を縦置きにセットします。
A5横	(210×148mm)	A5サイズの用紙を横置きにセットします。
B4（JIS）	(257×364mm)	B4サイズの用紙を縦置きにセットします。
B4（JIS）横	(364×257mm)	B4サイズの用紙を横置きにセットします。
B5	(182×257mm)	B5サイズの用紙を縦置きにセットします。
B5横	(257×182mm)	B5サイズの用紙を横置きにセットします。
はがき	(100×148mm)	はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
はがき横	(148×200mm)	はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき	(200×148mm)	往復はがきを縦置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
往復はがき横	(148×200mm)	往復はがきを横置きにセットします。「ハガキ印刷モード」で使用します。
10×11インチ		10インチ幅の連続紙をセットします。
15×11インチ		15インチ幅の連続紙をセットします。
封筒　角形2号　横		封筒　角形2号（332×240mm）を横置きにセットします。
封筒　角形3号　横		封筒　角形3号（277×216mm）を横置きにセットします。
封筒　長形3号　横		封筒　長形3号（235×120mm）を横置きにセットします。
封筒　長形4号　横		封筒　長形4号（205×90mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形2号　横		封筒　洋形2号（162×114mm）を横置きにセットします。
封筒　洋形5号　横		封筒　洋形5号（217×95mm）を横置きにセットします。
名刺	(55×91mm)	名刺または名刺サイズの用紙を縦置きにセットします。
登録した用紙		Windows NT4.0の「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙を使用する場合は、登録した用紙名を選択してください。以下の範囲内で作成してください。用紙の登録方法については「ユーザー定義用紙サイズの登録」（123ページ）をご覧ください。 幅　50.8～420.05mm／高さ　25.4～541mm

注意事項

- シートフィーダをお使いの場合は用紙サイズA3（縦置き）、A3横はご使用になれません。
- シートフィーダをお使いの場合は封筒洋形2号、洋形5号はご使用になれません。
- 各用紙サイズを使用する際のプリンタの用紙吸入位置は以下のように設定してください。
  - はがき、はがき横、往復はがき、往復はがき横：11.5mm（文字中央）
  - ユーザー定義用紙サイズ：3.8mm（文字下端）
  - 上記以外の用紙サイズ：9.7mm（文字下端）

給紙方法について

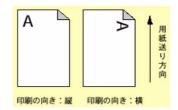
給紙方法を選択します。詳細は以下のとおりです。

画面表示	内　容
自動選択	［デバイスの設定］プロパティシートの給紙方法の設定に従います。
シートガイド前方排出	シートガイドに用紙をセットし、シートガイドに排出します。＊1
シートガイド後方排出	シートガイドに用紙をセットし、スタッカに排出します。
シートフィーダ前方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、シートガイドに排出します。＊2
シートフィーダ後方排出	オプションのシートフィーダに用紙をセットし、スタッカに排出します。
フロントトラクタ	フロントトラクタに用紙をセットします。

＊1　リモートパネルでシートガイドの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-6（MSW4-6）を ON にしている場合は、後方排出されます。

＊2　リモートパネルでシートフィーダの排出方向を後方排出にしている場合、またはプリンタのメモリスイッチ 4-7（MSW4-7）を ON にしている場合は、後方排出されます。

印刷の向き

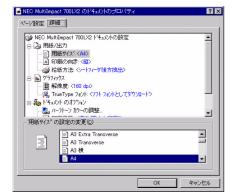
縦： 用紙を縦長に使って印刷します。
横： 用紙を横長に使って印刷します。

［詳細］シート

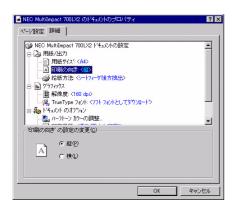
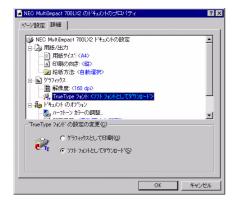
このプロパティシートは詳細に関する以下の設定を行います。

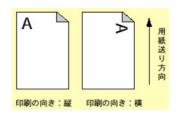
［変更したオプションを元に戻す］

変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。

［ラスタプリンタドライバのバージョン情報］

ラスタプリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

用紙サイズ

印刷用紙のサイズを選択します。
MultiImpact 700LX2がサポートする用紙については111ページを参照してください。

印刷の向き

縦：　用紙を縦長に使って印刷します。
横：　用紙を横長に使って印刷します。

給紙方法

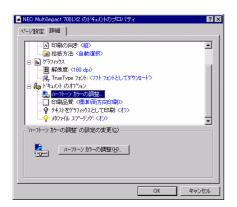
給紙方法を選択します。詳細は112ページを参照してください。

解像度

MultiImpact 700LX2では設定の必要はありません。

TrueTypeフォント

「ソフトフォントとしてダウンロード」のみ選択可能です。

＊　Windows NT 4.0のサービスパックのバージョンによっては表示されない場合があります。

ハーフトーンカラーの調整

［ハーフトーンの調整］ボタンをクリックすると［ハーフトーンの調整］ダイアログボックスが表示されます。

ハーフトーンカラーの調整について

［標準値］

すべての設定値を初期設定に戻します。

［戻す］

すべての設定値をダイアログボックスを開いたときの状態に戻します。

［開く］

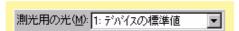
グラフィックスファイルを選択して開きます。

［名前を付けて保存］

開いたグラフィックスファイルを保存します。グラフィックのサイズ・向き・色に対して行った変更結果が保存されます。

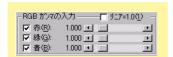
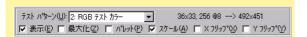
色や明るさなどの調整

グラフィックスのコントラストや明るさを調整します。

ｺﾝﾄﾗｽﾄ	：	明暗の色調の差を調整します。
明るさ	：	光の輝度を調整します。
暗い色	：	このチェックボックスをチェックすることで露出過度のグラフィックスを調整します。
反転	：	このチェックボックスをチェックすることで色の反転を調整します

測光用の光

測光用の光を選択します。

RGBガンマの入力

リニア
このチェックボックスをチェックすることで、明るさを入力値と等しくするかどうかを指定します。

黒／白の混合率

イメージの最も暗い点から最も明るい点までの範囲を設定します。

テストパターン

参照色またはグラフィックスが表示されます。

印刷品質

- 指定なし

  高速印刷および印刷方向（片方向／両方向）を指定しません。プリンタ本体の設定が有効となります。

- 標準（片方向印刷）

  左から右へ印刷を行います。最もきれいに印刷することができます。

- 標準（両方向印刷）

  両方向最短印刷を行います。片方向印刷に比べて印刷時間が短縮されます。

- 高速（片方向印刷）

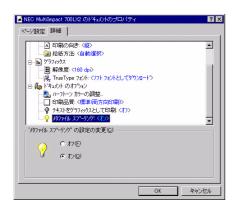
  印刷データを 1 ドットおきに間引いてから左から右へ印刷を行います。［標準（片方向印刷）］に比べて印刷時間が短縮されます。

- 高速（両方向印刷）

  印刷データを 1 ドットおきに間引いて両方向最短印刷を行います。最も高速に印刷することができます。

テキストをグラフィックスとして印刷

オフ： テキストを設定されているフォントで印刷します。

オン： プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。

メタファイルスプーリング

印刷情報をディスクに格納する形式を指定します。

オン：　EMF（メタファイル）形式

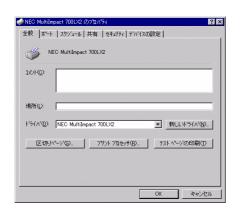
オフ：　RAW形式

- ［用紙サイズ］、［給紙方法］、［印刷の向き］の3つの設定はページ設定と詳細プロパティシートの両方にあります。どちらか一方のプロパティシートで設定を変更すると、もう一方も変更されます。
- 用紙サイズは、給紙方法に割り当てる機能です。このため、アプリケーションより給紙方法を設定したときなど、自動的に用紙サイズが給紙方法に割り当てられたものに変わる場合があります。

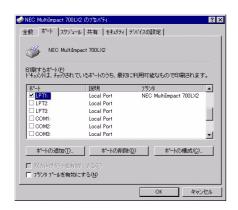
［プロパティ］ダイアログボックスで詳細設定を行う

［プロパティ］ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。
また、各プロパティシート共通に使用されている2つのボタンには以下のような機能があります。

［全般］シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

［ポート］シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[スケジュール] シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[共有] シート

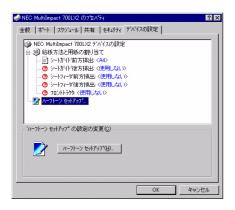
このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ] シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0対応のプリンタドライバ共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありませんが、詳しくはWindows NT 4.0のヘルプをご覧ください。

[デバイスの設定] シート

このシートはデバイスの設定に関する以下の設定を行います。

[変更したオプションを元に戻す]

変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。

[ラスタプリンタドライバのバージョン情報]

プリンタドライバのバージョンに関する情報を表示します。

給紙方法と用紙の割り当て

MultiImpact 700LX2がサポートしている給紙方法から、使用するものを選択します。

ツリービューの中の給紙方法の1つをクリックすると[「給紙方法」の設定の変更] として給紙方法に割り当てる用紙が表示されます (MultiImpact 700LX2でサポートする給紙方法については112ページを参照してください)。給紙方法に割り当てる用紙を選択します。

> チェック
>
> [給紙方法] として [自動選択] を選択したときに、[給紙方法と用紙の割り当て] の設定が有効となります。設定方法については、122ページを参照してください。

ハーフトーンセットアップの設定の変更

[ハーフトーンセットアップ] をクリックすると [デバイスカラー /ハーフトーンのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。[ハーフトーンセットアップ] については以下の項目を参照してください。

ハーフトーンセットアップについて

[戻す]

すべての設定値をダイアログボックスを開いたときの状態にします。

[標準値]

すべての設定値を標準値に戻します。

ハーフトーンのパターン

画面パターン1つ分のサイズを設定します。サイズはピクセル（画素）単位で計測されます。

- デバイスガンマ

  ガンマ特性を用いて、出力データの明るさを調整します。値を小さくすると明るくなり、大きくすると暗くなります。
- ピクセルの大きさ

  ピクセルの大きさを設定して、印刷濃度を調整します。

給紙方法と用紙の割り当てについて

給紙方法と用紙の割り当てにより、給紙方法を自動選択する場合は以下のように設定します。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスを開く。**

［プロパティ］ダイアログボックスの開き方については、107ページの「［スタート］ボタンを使って呼び出す」をご覧ください。

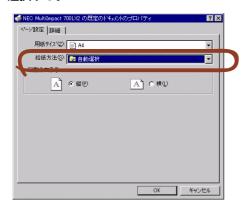
❷ **［デバイスの設定］シートで［給紙方法と用紙の割り当て］を設定し、［OK］をクリックする。**

チェック

同じ用紙サイズを複数の給紙方法に割り当てた場合は、上の方に表示されている給紙方法が選択されます。

❸ **［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを開く。**

［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスの開き方については、107ページの「［プロパティ］ダイアログボックスを開く」をご覧ください。

❹ **［ページ設定］シートで給紙方法から［自動選択］を選択する。**

チェック

［自動選択］以外の給紙方法を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］の設定にかかわらず、ここで選択した設定方法で印刷が行われます。

❺ **使用する用紙サイズを選択し、［OK］をクリックする。**

チェック

ここで［給紙方法と用紙の割り当て］で設定した用紙サイズ以外の用紙を選択した場合は、［給紙方法と用紙の割り当て］で一番上に表示されている給紙方法で印刷が行われます。

ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

❶ ［プリンタ］フォルダを開く。

❷ ［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックし、［プリンタサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを開く。

❸ ［用紙］シートにおいて［新しい用紙を作成する］をチェックする。

❹ ［用紙の説明］に用紙の名前を設定する。

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

❺ ［単位］を指定して［用紙サイズ］と［余白］を設定する。

チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- MultiImpact 700LX2プリンタドライバでは、幅50.8～420.05mm、長さ25.4～541mmの範囲内で用紙サイズを使用することができます。
- MultiImpact 700LX2プリンタドライバでは、ユーザー定義用紙サイズの左右余白は0mm固定です。また、上下余白は給紙方法を選択することで設定されます。このため、用紙登録時の余白設定は反映されません。

❻ ［用紙の保存］をクリックする。

❼ ［用紙］一覧に新しい用紙が表示されたことを確認する。

5章
リモートパネル

リモートパネルは、MultiImpact 700LX2の操作パネルから行う各種設定をご使用のコンピュータの画面上で実行できるように作成されたソフトウェアです。

ここではMultiImpact 700LX2リモートパネルの起動方法、リモートパネルの使い方について説明します。リモートパネルの設定項目の詳細については、リモートパネルのヘルプをご覧ください。

チェック

リモートパネルはWindows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版、Windows Me 日本語版、Windows 98 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版でのみ動作します。リモートパネルのインストール方法についてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。

リモートパネルの起動

［リモートパネル］は以下の方法で開きます。

［スタート］の［すべてのプログラム］から、［NEC Multi-Impact 700LX2リモートパネル］フォルダの［NEC MultiImpact 700LX2リモートパネル］をクリックします。

右のようなリモートパネルが表示されます。

✔チェック

リモートパネルの起動時の設定表示は、プリンタ本体の設定状態に関わらず、プリンタの工場出荷設定の値を表示します。

リモートパネルの使い方

リモートパネルを起動すると次のような［リモートパネル］メインダイアログボックスが表示されます。

タイトルバー

このアイコンをクリックすると、システムメニューを表示します。

メニューバー

リモートパネルでプリンタの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

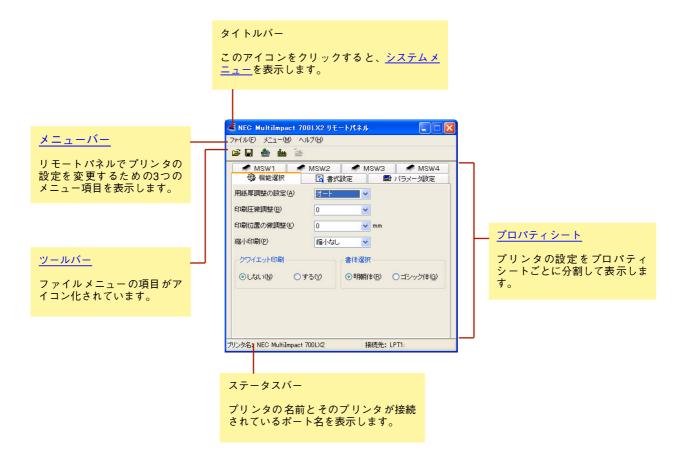
ツールバー

ファイルメニューの項目がアイコン化されています。

プロパティシート

プリンタの設定をプロパティシートごとに分割して表示します。

ステータスバー

プリンタの名前とそのプリンタが接続されているポート名を表示します。

システムメニュー

- **元のサイズに戻す**
  アイコン化されているリモートパネルをウィンドウ状態に戻します。アイコン化されていないときはグレー表示されます。
- **移動**
  リモートパネルのウィンドウを移動します。リモートパネルがアイコン表示されているときは移動できないため、グレー表示されます。
- **サイズ変更**
  使用できないためグレー表示されます。
- **最小化**
  リモートパネルをアイコン表示します。すでにアイコン表示されているときはグレー表示されます。
- **最大化**
  使用できないためグレー表示されます。
- **閉じる**
  リモートパネルを終了します。

メニューバー

リモートパネルでプリンタの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

ファイル

［ファイル］をクリックすると、リモートパネルで設定した値を書き込んだり、工場出荷時の設定値に戻して表示させたりすることができます。

設定ファイルの読み込み

この項目をクリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。

設定ファイルへの書き込み

この項目をクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するための右のダイアログボックスが表示されます。

設定値をプリンタへ送信

選択されているプリンタにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。

工場出荷設定値を表示

リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき右のダイアログボックスが表示されます。

このとき［キャンセル］をクリックすると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。［OK］をクリックすると右のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンタ本体の設定値は変更されません。［設定値をプリンタに送信］を選択してはじめて設定値は変更されます。

プリンタの選択

リモートパネルで設定変更したいプリンタを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiImpact 700LX2プリンタドライバがインストールされている場合のみ、プリンタを選択するため右のダイアログボックスが表示されます。
設定を変更または表示したいプリンタをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンタ名および接続先が表示されます。

［OK］をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンタの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

チェック

ご使用のコンピュータにMultiImpact 700LX2プリンタドライバが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］はグレー表示され、選択できません。

終了

リモートパネルを終了することができます。

メニュー

リモートパネルで設定変更したい項目を選択することができます。

設定変更したい項目を選択します。設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

ヘルプ

ヘルプをクリックすると、リモートパネルのヘルプやバージョン情報を表示することができます。

ヘルプ目次

リモートパネルのヘルプを表示します。

バージョン情報

リモートパネルのバージョン情報を表示します。

ツールバー

- **［設定ファイルの読み込み］ボタン**
  このボタンをクリックすると［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。

- **［設定ファイルへの書き込み］ボタン**
  このボタンをクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するためのダイアログボックスが表示されます。

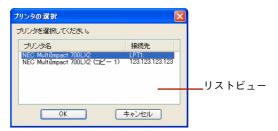
- **［設定値をプリンタへ送信］ボタン**
  このボタンをクリックするとプリンタにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。

- **［工場出荷設定を表示］ボタン**
  リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき次のダイアログボックスが表示されます。

このとき［キャンセル］を選択すると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。
［OK］を選択すると次のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。

チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンタ本体の設定値は変更されません。［設定値をプリンタに送信］を選択してはじめて設定値は変更されます。

- ［プリンタの選択］ボタン
  このボタンをクリックするとリモートパネルで設定変更したいプリンタを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiImpact 700LX2プリンタドライバがインストールされている場合のみ、プリンタを選択するため次のダイアログボックスが表示されます。設定または表示したいプリンタをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンタ名および接続先が表示されます。

［OK］をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンタの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

チェック

ご使用のコンピュータにMultiImpact 700LX2プリンタドライバが1つしかインストールされていない場合は、［プリンタの選択］はグレー表示され、選択できません。

プロパティシート

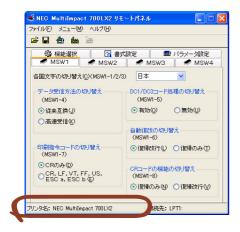
プリンタの設定をプロパティシートごとに分割して表示します。

設定項目の詳細については、ユーザーズマニュアルまたはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

設定変更手順

リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

❶ **設定を変えたいプリンタかどうか確認する。**

ステータスバーのプリンタをプリンタ名で確認してください。もし希望のプリンタでない場合はツールバーの［プリンタの選択］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［プリンタの選択］を選んで変更します。

チェック

プリンタの変更はプリンタが複数ある場合のみ可能です。

❷ **希望の設定項目のあるタブをクリックする。**

希望するプロパティシートを選択し、設定項目を表示させてください。

❸ **プロパティシートで設定を変更する。**

設定項目の詳細については、リモートパネルのヘルプをご覧ください。

❹ **変更した設定内容をプリンタに書き込む。**

ツールバーの［設定値をプリンタへ送信］ボタンをクリックするか［ファイル］メニューから［設定値をプリンタへ送信］を選択します。

❺ **［ファイル］メニューから［終了］を選択し、リモートパネルを終了する。**

これでリモートパネルの設定変更は終了です。

チェック

- リモートパネルは、対応機種のプリンタドライバがインストールされていない場合、起動できません。対応機種のプリンタドライバをインストールしてから、再度リモートパネルを起動してください。
- リモートパネルから設定値を送信する場合、接続先を確認し、正しい接続先になっていることを確認してから送信してください。また、コンピュータと送信先プリンタが正しく接続されていることを確認し、誤って他のプリンタに送信しないように注意してください。

6章 PrinterSignalStation

この章では、PrinterSignalStationを正常に機能させるための注意事項、およびPrinterSignalStationが提供する各機能の設定方法を説明します。また、説明はWindows XPの画面を使用していますが、Windows 2000/Server 2003でも同様です。

PrinterSignalStationの使用できる環境

PrinterSignalStationをインストールできる環境は、次のとおりです。それ以外ではご使用になれません。

- Windows 2000 日本語版
- Windows XP 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版

PrinterSignalStationを正しく動作させるには、次のいずれかが必要となります。

- LANアダプタ（PR-NP-07）
- プリンタケーブル（PC-CA205、PC-PRCA-01）

上記以外のLANアダプタおよびプリンタ切替器、プリンタバッファ等を接続した場合、PrinterSignalStationは正しく動作しない場合があります。

PrinterSignalStationに関する注意事項

ここでは、PrinterSignalStationを正常に機能させるための注意事項について説明します。

PrinterSignalStationを動作させる前に

PrinterSignalStationを動作させる前に、以下の項目を確認してください。

- PrinterSignalStationを正しく動作させるためには、プリンタのプロパティの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックし、プリンタとの双方向通信機能を有効にする必要があります。
- コンピュータ本体とプリンタの接続で、NEC指定以外のプリンタケーブルやプリンタインタフェース変換アダプタまたは、プリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器、プリンタセレクタなどを使用している環境では、PrinterSignalStationは、正しく動作しない場合があります。
- PrinterSignalStationは、ローカルプリンタに対してもネットワーク上の共有プリンタに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上の共有プリンタで使用される場合、PrinterSignalStationソフトウェアおよびPrinterSignalStation対応のプリンタドライバが、サーバ、クライアントの両者にインストールされている必要があります。
- PrinterSignalStationは、プリンタプールをサポートしていません。プリンタのプロパティの［ポート］シートの［プリンタプールを有効にする］がチェックされている場合は、PrinterSignalStationはプリンタの状態を正しく表示できません。チェックをはずしてご使用ください。
- PrinterSignalStationとプリンタポートを直接アクセスしてプリンタの状態を監視するユーティリティを同時に使用すると、PrinterSignalStationが正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じてプリンタの監視を行わないように設定してください。

PrinterSignalStationの制限事項

一部コンピュータのパラレルポートの設定（例：ECPポート）によっては、PrinterSignalStationの動作および、印刷に不具合が生じる場合があります。このような場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照し、パラレルポートの設定を変更していただくことにより、PrinterSignalStationが正常に動作できるようになる場合があります。

転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境についてのご注意

転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrinterSignalStationを使用している場合に、PrinterSignalStationの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。考慮すべきネットワーク環境の例として、以下のケースがあります。

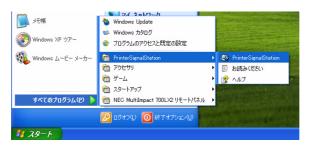
- ネットワークプリンタが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- プリントサーバ、DNSサーバ、WINSサーバが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ローカルネットワークの通信自体が従量課金ネットワークの場合

これらを避けたい場合は、以下のように設定してください。

- プリンタのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］のチェックをはずして、PrinterSignalStationの双方向通信機能を無効にしてください。
- PrinterSignalStationの［環境設定］ダイアログボックスを開き、［監視するプリンタの選択］シートにおいて、課金されるネットワークに接続しているプリンタのチェックをはずし、PrinterSignalStationの監視対象からはずしてください。

ソフトウェアの起動

PrinterSignalStationは、ローカルプリンタの印刷、管理に加え、ネットワークで印刷される方、ネットワークプリンタを管理する方のために、さまざまな機能を提供します。
また、PrinterSignalStationは一度起動するとタスクトレイに常駐するので、PrinterSignalStationを終了させない限り、再度起動させる必要はありません。

PrinterSignalStationはインストール後、自動的に起動します。
再度、PrinterSignalStationを起動する場合は、［スタート］ボタンから起動します。

[PrinterSignalStationフォルダ]

タスクトレイアイコン

PrinterSignalStationは起動後、タスクトレイに常駐することにより、次のようなことが可能となります。

- タスクトレイからメニュー画面を容易に開くことができる
- プリンタドライバの［プロパティ］や［プリンタフォルダ］などを開くことができる
- リモートパネルを起動することができる

＊ 別途、お使いのプリンタに対応したリモートパネルをインストールする必要があります。

PrinterSignalStationが提供するこれらの機能により、従来［スタート］ボタンから行っていた作業を容易に行えるようになります。また、プリンタの状態によってアイコンの表示が変化したり、バルーンのポップアップによってプリンタの状態通知をしますので、プリンタの状態監視がタスクトレイでも行えます。

バルーンポップアップ

PrinterSignalStationは次のようなバルーンポップアップを使用してプリンタの状態を通知します。
また、Windows XP以降のOSをお使いの場合は、ポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［状態］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは140ページを参照してください）。

バルーンポップアップは次の情報を表示します。

- ［プリンタフォルダ］で設定したプリンタ名
- 印刷したファイル名（印刷終了時）
- プリンタの状態
- 日付／時刻

同時に複数のプリンタを監視している場合は、次のようなバルーンポップアップを使用してプリンタの状態を通知します。
また、Windows XP以降のOSをお使いの場合はポップアップされた表示内容によって、バルーンをクリックすると［プリンター一覧］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは140ページを参照してください）。

[複数プリンタ監視時のバルーンポップアップ]

また、プリンタの状態監視以外にも、次のような場合にバルーンを表示します。

- 監視中のプリンタが削除された
  以下のバルーンポップアップを表示します。

＜プリンタ名＞ プリンタが削除されたため、監視を中止しました ＜日付＞　＜時刻＞

[プリンタ削除警告バルーン]

- 監視中プリンタの印刷ポートが変更され、監視不可能な印刷ポートになった
  以下のバルーンポップアップを表示します。

＜プリンタ名＞ 印刷ポートが変更されたため、監視を中止しました ＜日付＞　＜時刻＞

[印刷ポート変更警告バルーン]

- PrinterSignalStation起動時に、監視可能なプリンタドライバがインストールされているが、監視設定されていない場合は、以下のバルーンポップアップを表示します。Windows XP以降のOSをお使いの場合、バルーンをクリックすると、［環境設定］ダイアログボックスを表示することができます（詳しくは141ページを参照してください）。

監視中のプリンタがありません [環境設定]から監視するプリンタを選択してください ＜日付＞　＜時刻＞

[監視中のプリンタなし警告バルーン]

バルーンポップアップが表示されている時間の設定は、［環境設定］―［通知の設定］で変更可能です（詳しくは142ページを参照してください）。複数プリンタを監視する場合は、プリンタエラー>プリンタ警告>プリンタ通常の優先度でバルーンポップアップを表示します。

メニューの起動

タスクトレイからアイコンをクリックすることによって、以下のメニューを表示させることができます。

［左クリック］

PrinterSignalStationが監視しているプリンタの一覧を表示させたり、監視しているプリンタの［印刷設定］や［プロパティ］を開くためのメニューを表示することができます。

［トレイアイコン（左クリック）］

左クリックメニューを開くと以下のメニューを表示します。

［プリンター覧］

監視しているプリンタを一覧を表示する［プリンター覧］ダイアログボックスを開きます（詳しくは140ページを参照してください）。

［プリンタ名］

- 状態
  クリックしたプリンタの詳細な状態を表示する［状態］ダイアログボックスを開きます（詳しくは140ページを参照してください）。

- プリンタフォルダ
  クリックしたプリンタフォルダを開きます。

［プリンタフォルダ］

- 印刷設定
  クリックしたプリンタの印刷設定を開きます。

- プロパティ
  クリックしたプリンタのプロパティを開きます。

［ヘルプ］

PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは145ページを参照してください）。

［右クリック］

PrinterSignalStationの環境設定やリモートパネルの起動など、詳細な設定ができるメニューを表示することができます。
また、PrinterSignalStationを終了させることができます。

［トレイアイコン（右クリック)］

右クリックメニューを開くと、以下のメニューを表示します。

［プリンター覧］

［プリンター覧］ダイアログボックスを開いて、監視しているプリンタを一覧表示します（詳しくは140 ページを参照してください）。

［プリンタ名］

- 状態（詳しくは140ページを参照してください）。
- プリンタフォルダ
- 印刷設定
- プロパティ

［環境設定］

［環境設定］ダイアログボックスを開いて、プリンタの監視内容、通知内容を設定します（詳しくは141 ページを参照してください）。

＊ 管理者権限がない場合は、設定できません。

［リモートパネル］

［リモートパネル］ダイアログボックスを開いて、リモートパネルを起動します（詳しくは145ページを参照してください）。

［ヘルプ］

PrinterSignalStationのヘルプを開きます（詳しくは145ページを参照してください）。

［バージョン情報］

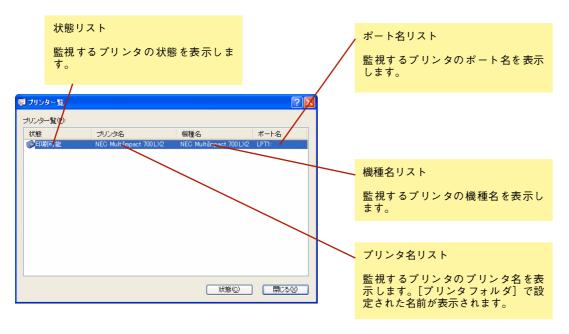
［バージョン情報］ダイアログボックスを開いて、PrinterSignalStationのバージョン情報を表示します。

［バージョン情報］

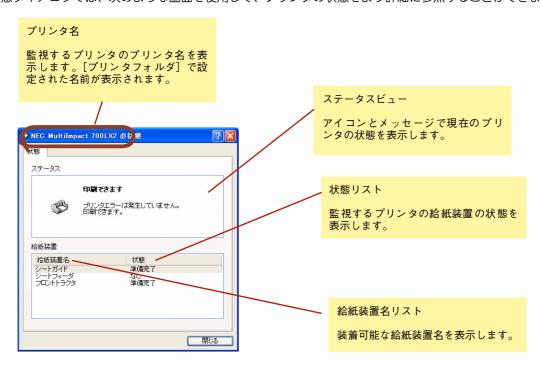
［終了］

PrinterSignalStationを終了します。

プリンター覧

プリンター覧ダイアログでは、次のような画面を使用して、監視しているプリンタを一覧表示することができます。

[プリンター覧]

状態

状態ダイアログでは、次のような画面を使用して、プリンタの状態をより詳細に参照することができます。

[状態]

環境設定

環境設定ダイアログでは、監視するプリンタの選択やバルーンポップアップで表示する内容を設定することができます。管理者権限のない場合は、［環境設定］を表示できません。

- ［監視するプリンタの選択］タブ
  次の画面でPrinterSignalStationで監視するプリンタを選択します。
  PrinterSignalStationでは、ここでチェックボックスにチェックを付けたプリンタを監視します。
  また、チェックを付けたプリンタは、タスクトレイのメニューにプリンタ名が追加され、プリンタの［印刷設定］や［プロパティ］を開くことができるようになります（詳しくは138ページを参照してください）。
  監視するプリンタは同時に複数選択することができます。

［監視するプリンタの選択］

チェック

チェックを付けないとプリンタ一覧などに表示されません。プリンタドライバのポートは、LPT、USBまたはStandard TCP/IP Portを選択してください。また、［双方向サポートを有効にする］にチェックが付いていることを確認してください。

監視するプリンタの選択タブで、［設定］ボタンをクリックすると、プリンタ一覧で選択されたプリンタの環境設定ができます。

［プリンタの設定］

- 監視の設定
  プリンタドライバで設定されているポートの状態監視方法を設定します。

［通常監視］

プリンタのSelect、Busy、PE信号により、高速にプリンタを監視します。

［高度監視］

プリンタのSelect、Busy、PE信号に加え、双方向通信機能により、詳細なプリンタの監視を行います。ただし、プリンタの状態変化を検出するまで、数秒の時間がかかる場合があります。

チェック

プリンタによって高度監視ができない場合があります。高度監視は、LPT、USBおよびStandard TCP/IP Port使用時のみ設定できます。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

高度監視を使用する場合は、PR-NP-07の「Print Port Mode」を「Enable」に設定してください。PR-NP-07の設定についてはPR-NP-07のオンラインマニュアルをご覧ください。PR-NPX-05を使用している場合は、高度監視は動作しません。

「KSPプリンタ支援ソフトウエア」を使用する場合は、PrinterSignalStationの［監視の設定］を通常監視とし、PR-NP-07の「Print Port Mode」を「Disable」に設定してください。

- Standard TCP/IP Portの設定
  プリンタの印刷ポートがStandard TCP/IP Portである場合のSNMPコミュニティ名を設定します。プリンタに装着されたLANアダプタに設定されているSNMPコミュニティ名を設定します。

チェック

入力できる文字数は、0～32文字です。入力できる文字は、英数字、ハイフン（-）、アンダーバー（_）です。設定変更する場合は、管理者権限が必要となります。

- ［通知の設定］タブ
  プリンタの状態を通知するバルーンポップアップの表示設定を行います。

［通知の設定］

［通知情報表示時間］

バルーンポップアップの表示時間を示します。バルーンのポップアップは設定時間が経過すると自動的に閉じます。設定値は、1～60秒の間で設定することができます。初期設定では10秒に設定されています。

プリンタの状態がチェックボックスの内容と一致した場合､チェックが付いているとバルーンポップアップ表示するようになります。チェックボックスの設定により､以下のタイミングでプリンタの状態をバルーンでポップアップ表示します。

- 印刷終了を通知する

  プリンタの印刷終了時に、次のようなバルーンをポップアップし、印刷終了を通知します。

［印刷終了］

- 通常時のプリンタ警告を通知する

  プリンタが印刷を行っていない時に、プリンタ警告が通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタ警告を通知します。

［プリンタ警告］

- 通常時のプリンタエラーを通知する

  プリンタが印刷を行っていない時に、プリンタエラーが通知された場合、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタエラーを通知します。

［プリンタエラー］

- 印刷時のプリンタ警告を通知する

  プリンタが印刷中にプリンタ警告を通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタ警告を通知します。

［プリンタ警告（印刷中)］

- 印刷時のプリンタエラーを通知する

  プリンタが印刷中にプリンタエラーを通知された場合に、次のようなバルーンをポップアップし、プリンタエラーを通知します。

［プリンタエラー（印刷中)］

［ユーザログオン時に通知を開始する］

ユーザがWindowsにログオンすると、自動的にPrinterSignalStationを起動しプリンタの状態通知を開始します。PrinterSignalStationを手動で起動したい場合は、チェックボックスのチェックを外してください。チェックを外している場合は、Windowsにログオンしてから、［スタート］メニュー―［すべてのプログラム］―［PrinterSignalStation］の［PrinterSignalStation］をクリックしてください。

チェック

チェックボックスのチェックをすべて外すと、PrinterSignalStationを起動してもバルーンのポップアップはされません。
サーバ／クライアントによる共有プリンタでご使用の場合は、クライアントの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

[詳細設定ボタン]

PrinterSignalStationがプリンタの状態を監視する間隔を設定します。

[詳細設定]

- LPT/USBの設定

[通常時プリンタ監視間隔]

プリンタドライバで設定されているポートが、LPTかUSBで、印刷を行っていない場合のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

[印刷時プリンタ監視間隔]

プリンタドライバで設定されているポートが、LPTかUSBで、印刷中のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、0.5、1～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

- Standard TCP/IP Portの設定

[通常時プリンタ監視間隔]

プリンタドライバで設定されているポートが、Standard TCP/IP Portで、印刷を行っていない場合のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、1～5秒の間で設定できます。初期設定は2秒です。

[印刷時プリンタ監視間隔]

プリンタドライバで設定されているポートが、Standard TCP/IP Portで、印刷中のプリンタの状態監視間隔を設定します。プリンタの監視間隔は、0.5、1～5秒の間で設定できます。初期設定は1秒です。

チェック

サーバ／クライアントによる共有プリンタでご使用の場合は、サーバの設定が有効となります。設定を変更する場合は、管理者権限が必要となります。

- 印刷時にジョブの同期を行う
  プリンタでの印刷動作が完全に終了してから、次の印刷を開始します。連続印刷の場合などでも、各ジョブの印刷動作が終了したことを確実に通知するようになります。

リモートパネルの起動

インストールされているリモートパネルを表示します。また、リモートパネルを起動することができます。

［リモートパネル］

- リモートパネルがインストールされていない場合は何も表示されません。お使いのプリンタに対応したリモートパネルをインストールしてから再度開きなおしてください。
- リモートパネルを異なるプリンタに対して使用すると、プリンタの設定が正しく行われず、正しく印刷できなくなる場合があります。

ヘルプを見る

PrinterSignalStationのヘルプを見るためには、タスクトレイのアイコンを右クリックし、メニューから［ヘルプ］を開くか、［？］ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックしてください。

［メニューから開くヘルプ］

［？ボタンから表示するヘルプ］

トレイアイコン

PrinterSignalStationでは、タスクトレイに次の3種類のアイコンを使用してプリンタの状態を表示します。

プリンタ通常…プリンタの状態に問題がなく、印刷可能な状態

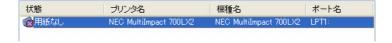
プリンタ警告…プリンタの状態に問題があり、印刷できないが容易に回避可能な状態

プリンタエラー…プリンタの状態に問題があり、印刷できない状態

ステータス

タスクトレイと同様のアイコンを使用してプリンタの状態を表示し、文字によるメッセージを付随します。

－ ［状態］

－ ［プリンタの一覧］

PrinterSignalStationが正しく動作しないときは

次の表にPrinterSignalStationが正しく動作しないときの症状とその原因、対処方法を示します。それぞれの方法に従って対処してください。

症　状	原因と対処方法
インストール／起動	
PrinterSignalStation がインストールできない	PrinterSignalStationが対応していないOSにはできません。 → PrinterSignalStationのサポートOSは、Windows XP/2000、およびWindows Server 2003です。ご使用になっているOSをご確認ください。
	インストール先のハードディスクの空き容量がありません。 → PrinterSignalStation は約 2MB の容量を使用します。2MB 以上の空き容量があるハードディスクにインストールしてください。
PrinterSignalStationが起動しない	PrinterSignalStationが正しくインストールされていません。 → PrinterSignalStationが正しくインストールされていない可能性があります。いったんアンインストールし、再度インストールしてください。
PrinterSignalStationが自動起動してしまう／自動起動されない	PrinterSignalStationが自動起動する、または、自動起動しないに設定されています。 → ［環境設定］ダイアログボックスの［通知の設定］シートで、［ユーザログオン時に通知を開始する］の設定をご確認ください。 → チェックされていない場合は、OSにログオンしても起動されません。
起動時に「PrinterSignalServiceが開始されません」と表示され、終了してしまう	PrinterSignalStationのサービスが正しく起動していません。 ① コンピュータを再起動し、PrinterSignalStationが正しく起動するかどうかをご確認ください。 ② PrinterSignalStationをいったんアンインストールし、再度インストールし直すことで正しく起動するかどうかをご確認ください。
設　定	
［環境設定］ダイアログボックスが表示できない	環境設定を行うためのアクセス権がありません。 → ［環境設定］ダイアログボックスにより、PrinterSignalStation の動作設定を変更するためには、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要です。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。
使用したいプリンタが［監視するプリンタの選択］リストに表示されない	PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバがインストールされていません。 → PrinterSignalStation をご使用になる場合は、PrinterSignalStation に対応したプリンタドライバが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiImpactに添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールしてご使用ください。 → ネットワーク共有プリンタで PrinterSignalStation をご使用になる場合は、クライアントPC側にもPrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールする必要があります。PrinterSignalStation対応のプリンタドライバを「LPT1:」や「FILE:」の接続先でインストールし、その後、接続先をネットワーク共有プリンタに変更してください。
	インストールされているプリンタドライバの双方向通信の設定が有効になっていません。 → インストールされているプリンタドライバのプロパティの［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。
	ご使用になるプリンタドライバが、PrinterSignalStationでサポートしているポートに接続されていません。 → PrinterSignalStationでは、「LPTx:」、「USBxxx」あるいはStandard TCP/IP Portをサポートしています。ご使用になるプリンタの接続先をご確認ください。
高度監視設定で動作しない	PR-NPX-05に接続しています。 → PR-NPX-05は高度監視に対応していません。
	高度監視設定を行うために必要なコンポーネントがインストールされていません。 → 高度監視を行う場合は、ご使用になるプリンタ用のコンポーネントが必要です。コンポーネントのインストールについては、ソフトウエアマニュアルをご覧ください。
	PR-NP-07で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるにはPR-NP-07の「Print Port Mode」設定をEnableに設定してください。PR-NP-07の設定についてはPR-NP-07のマニュアルをご覧ください。高度監視と通常監視の違いについては、150～152ページをご覧ください。 KSPプリンタ支援ソフトウエアを使用する場合は、PrinterSignalStationを通常監視に設定し、PR-NP-07の「Print Port Mode」をDisableに設定してください。

症状	原因と対処方法
設定	
［双方向サポートを有効にする］がチェックできない。または「グレー」で表示されている	PrinterSignalStationに対応したプリンタドライバがインストールされていません。 → PrinterSignalStation をご使用になる場合は、PrinterSignalStation に対応したプリンタドライバが必要です。PrinterSignalStation対応のMultiImpactに添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMから、PrinterSignalStation対応のプリンタドライバをインストールしてご使用ください。
	プリンタドライバの設定を変更するためのアクセス権がありません。 → プリンタドライバの［双方向サポートを有効にする］の設定を変更する場合は、「コンピュータの管理者」および「Administrators」といった管理者権限が必要となります。管理者権限で環境設定を行うか、システム管理者に連絡してください。
TerminalServiceでの運用で、ユーザの権限にかぎらず、［環境設定］が変更できてしまう	TerminalServiceの設定で「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されています。 → Terminal Serviceの動作設定として、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」が設定されている場合、OSの仕様により、Terminal Serviceすべてのユーザに対して［環境設定］の変更が許可されます。システム管理者以外のユーザが環境設定を設定変更できないようにするには、「Terminal Server 4.0のUsersと互換性のあるアクセス許可」を設定しないでください。
プリンタ監視	
［プリンタ一覧］ダイアログにプリンタが表示されない	プリンタが監視対象として設定されていません。 → ［環境設定］―［監視するプリンタの選択］で、ご使用になるプリンタを監視対象に設定してください。
プリンタエラーあるいは印刷完了が通知されない	［環境設定］―［通知の設定］の各チェックボックスが正しく設定されていません。 → PrinterSignalStationは、この設定に応じてプリンタステータスの通知を行います。ご覧になりたい内容に従って各項目を設定してください。
	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンタがサポート外のプリンタであることを認識すると、プリンタのステータス通知内容を「通常監視」と同等の内容に変更します。ご使用になるプリンタに対応したPrinterSignalStation対応のプリンタドライバをご使用ください。
	［環境設定］―［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンタの設定が「通常監視」に設定されています。 → 設定が「通常監視」の場合、通知内容は「高度監視」よりも簡易的な内容となります。詳細な情報を表示させるには「高度監視」に設定してください。高度監視と通常監視の違いについては、150～152ページをご覧ください。
	「タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ」の［タスクバー］シートの［カスタマイズ］でPrinterSignalStationの動作が「常に非表示」に設定されています。 → 設定が「常に非表示」の場合は、バルーン表示による通知は行われません。「アクティブでないときに非表示」または「常に表示」に設定してください。
状態ダイアログボックスの「給紙装置」がグレーのまま表示されない	［環境設定］―［監視するプリンタの選択］で、ご使用になっているプリンタの設定が「通常監視」に設定されています。 → 設定が「通常監視」の場合、「給紙装置」は表示されません。高度監視と通常監視の違いについては、150～152ページをご覧ください。
状態ダイアログボックスの「給紙装置」が「不明」と表示される	プリンタの電源が入っていません。 → 接続されているプリンタの電源が入っていない場合、PrinterSignalStationは、給紙装置をすべて「不明」と表示します。プリンタの電源を入れてください。
	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationは、接続されているプリンタがサポート外のプリンタであることを認識すると、給紙装置をすべて「不明」と表示します。プリンタ装置に対応したプリンタドライバをご使用ください。
	PR-NPX-05に接続しています。 → PR-NPX-05は高度監視に対応していません。
	PR-NP-07で「Print Port Mode」設定がDisableになっています。 → 高度監視設定で動作させるにはPR-NP-07の「Print Port Mode」設定をEnableに設定してください。PR-NP-07の設定についてはPR-NP-07のオンラインマニュアルをご覧ください。高度監視と通常監視の違いについては、150～152ページをご覧ください。 KSPプリンタ支援ソフトウエアを使用する場合は、PrinterSignalStationを通常監視に設定し、PR-NP-07の「Print Port Mode」をDisableに設定してください。

症状	原因と対処方法
プリンタ監視	
「ネットワークエラー」が表示されたままになる	ネットワーク共有プリンタをご使用の場合、プリントサーバの電源が入っていないか、ネットワークケーブルが正しく接続されていません。 → プリントサーバの電源を入れてください。 → ネットワークケーブルを正しく接続してください。
	ネットワークの設定が正しく行われていません。 → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンタの監視を行います。ネットワークエラーが発生しているプリンタに印刷を行って、印刷が正しく行えない場合は、Standard TCP/IP Portの設定およびOSのTCP/IPの設定を正しく行ってください。 → PrinterSignalStationを再起動してください。 → コンピュータを再起動してください。
「電源OFF／ケーブル断」が表示されたままになる	ご使用になっているプリンタの電源が入っていません。 → プリンタの電源を入れてご使用ください。
	ご使用になっているコンピュータとプリンタが正しく接続されていません。 → プリンタケーブル、ネットワークケーブルを正しく接続してください。
	接続ポートが「USBxxx」の場合、プリンタやプリンタケーブルが正しく設定されていません。 → PC側のケーブルをいったん抜いた後、再度接続し直すことで正しく動作する場合があります。
	Standard TCP/IP Portで接続している場合は、［環境設定］―［監視するプリンタの選択］の「コミュニティ名」の設定と、ご使用になっているLANアダプタの設定が一致していません。 → PrinterSignalStationは、SNMPプロトコルを使用してプリンタの監視を行います。SNMPプロトコルによって、正しくネットワーク通信を行うためには、PrinterSignalStationに設定されているコミュニティ名と、ご使用になっているLANアダプタのコミュニティ名に同じ文字列を設定してください。
「情報取得中」が表示されたままとなる	ご使用になっているプリンタに正しく印刷できることをご確認ください。 → ご使用になっているプリンタに正しく印刷できる場合は、印刷が完了したことを確認した後、PrinterSignalStationを再起動してください。印刷できない場合は、PCとプリンタの接続が正しく行われていることをご確認ください。
印刷完了の通知が「遅い」または「早い」	［環境設定］―［通知の設定］の［詳細設定］の設定をご確認ください。 ① プリンタが印刷完了したことを確認したい場合 → ［印刷時にジョブの同期を行う］をチェックしてください。この設定により、PrinterSignalStationはプリンタが印刷を終了したことを確認してから印刷完了を通知するようになります。 ② プリンタの印刷完了確認が遅い場合 → ［印刷時にジョブの同期を行う］がチェックされていて、印刷完了の通知が遅い場合は、ご使用になるポートの［印刷時プリンタ監視間隔］を変更してください。プリンタの監視間隔を短く設定することで、印刷完了の通知をより速く行えるようになります。 ③ プリンタの印刷完了確認が不要の場合 → プリンタの印刷完了を確認する必要がない場合は［印刷時にジョブの同期を行う］のチェックを外してください。この設定によりPrinterSignalStationはプリンタに対して印刷データを送信し終わったことを確認した時点で印刷完了を通知するようになります。
	Standard TCP/IP Portで接続している場合、ポートの設定［標準TCP/IPポートモニタの構成］で［SNMPステータスを有効にする］が有効になっています。 → プリンタドライバのプロパティまたはサーバーのプロパティの［ポート］シート -［ポートの構成］の［SNMPのステータスを有効にする］のチェックを外してください。
印刷結果が不正になる	ご使用になっているプリンタとプリンタドライバの機種名が一致していません。 → PrinterSignalStationに対応していないプリンタを「高度監視」設定で監視した場合、印刷結果が不正になる場合があります。その場合、［環境設定］―［監視するプリンタの選択］でご使用になっているプリンタの監視設定を「通常監視」に変更してください。
その他機能	
リモートパネルが起動できない	PrinterSignalStationに対応したプリンタのリモートパネルがインストールされていません。 → PrinterSignalStationに対応したプリンタのリモートパネルをインストールしてください。
	リモートパネルに対応したプリンタドライバがインストールされていません。 → リモートパネルに対応したプリンタドライバをインストールしてください。

- アイコン一覧
  以下は、プリンタの状態通知のアイコンです。

アイコン	アイコン	プリンタの状態
	プリンタ通常	印刷可能
		ドキュメント準備中
		印刷中
		ドキュメント削除中
		ドキュメント削除終了
		印刷終了
		情報取得中
	プリンタ警告	ドキュメント一時停止
		プリンタ一時停止
		他ポート使用中＊1
	プリンタエラー	オフライン
		カバーオープン＊1
		用紙なし
		用紙サイズエラー＊1､＊2
		紙づまり＊1
		リボンジャム＊1、＊2
		プリンタ装置エラー＊1
		電源OFF/ケーブル断
		ネットワークエラー
		情報取得エラー

＊1　高度監視時のみ表示

＊2　MultiImpact 700LX2 ではサポートしていません。

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー>プリンタ警告>プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

- バルーンポップアップ一覧
  以下は、バルーンポップアップの状態通知一覧です。

アイコン	バルーンポップアップ表示内容	プリンタの状態
アイコンなし	バルーンPopupなし	印刷可能
		ドキュメント準備中
		印刷中
		ドキュメント削除中
		情報取得中
	＜プリンタ名＞ 印刷が終了しました（＜ドキュメント名＞） ＜日付＞＜時刻＞	印刷終了
	＜プリンタ名＞ ドキュメントの印刷を一時停止中です（＜ドキュメント名＞） ＜日付＞＜時刻＞	ドキュメント一時停止
	＜プリンタ名＞ プリンタは一時停止中です ＜日付＞＜時刻＞	プリンタ一時停止
	＜プリンタ名＞ 印刷ポートと異なるポートで処理しています ＜日付＞＜時刻＞	他ポート使用中＊1
	＜プリンタ名＞ プリンタはオフラインです ＜日付＞＜時刻＞	オフライン
	＜プリンタ名＞ カバーが開いています ＜日付＞＜時刻＞	カバーオープン＊1
	＜プリンタ名＞ 用紙がありません ＜日付＞＜時刻＞	用紙なし
	＜プリンタ名＞ 正しい用紙サイズで印刷できませんでした ＜日付＞＜時刻＞	用紙サイズエラー＊1、＊2
	＜プリンタ名＞ 紙づまりです ＜日付＞＜時刻＞	紙づまり＊1
	＜プリンタ名＞ インクリボンがつまっています ＜日付＞＜時刻＞	リボンジャム＊1、＊2
	＜プリンタ名＞ プリンタで障害が発生しています ＜日付＞＜時刻＞	プリンタ装置エラー＊1
	＜プリンタ名＞ 電源がOFFかケーブルが接続されていません ＜日付＞＜時刻＞	電源OFF/ケーブル断
	＜プリンタ名＞ ネットワークエラーが発生しています ＜日付＞＜時刻＞	ネットワークエラー
	＜プリンタ名＞ プリンタの情報が取得できません ＜日付＞＜時刻＞	情報取得エラー

＊1　高度監視時のみ表示

＊2　MultiImpact 700LX2 ではサポートしていません。

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー＞プリンタ警告＞プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

- ステータス一覧

以下はプリンタの状態通知の文字の一覧です。[状態]ダイアログでは、アイコンと下記の文字を合わせてプリンタの状態を表示します。

プリンタの状態	表示内容
印刷可能	印刷できます。 プリンタエラーは発生していません。印刷できます。
ドキュメント準備中	印刷ドキュメント準備中です。 プリンタに印刷ドキュメントを送信する準備をしています。(スプール中)
印刷中	印刷しています。 印刷ドキュメントをプリンタへ送信し、印刷しています。
ドキュメント削除中	印刷ドキュメントを削除中です。 プリンタに送信中の印刷ドキュメントを削除しています。
情報取得中	プリンタの情報を取得中です。 プリンタの現在の情報を取得しています。
ドキュメント一時停止	ドキュメントの印刷を一時停止中です。 プリンタフォルダでドキュメントの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。
プリンタ一時停止	プリンタは一時停止中です。 プリンタフォルダでプリンタの一時停止を解除してください。プリンタのアクセス権がない場合はシステム管理者に連絡してください。
他ポート使用中＊1	印刷ポートと異なるポートで処理しています。 印刷ポートと異なるポートで印刷中かもしれません。しばらくお待ちください。
オフライン	プリンタはオフラインです。 プリンタの状態を確認し、印刷可スイッチを押してください。
カバーオープン＊1	カバーが開いています。 カバーをきちんと閉じてください。
用紙なし	用紙がありません。 用紙をセットしてください。
用紙サイズエラー＊1、＊2	正しい用紙サイズで印刷できませんでした。 指定された用紙がセットされているか確認してください。
紙づまり＊1	紙づまりです。 つまった用紙を取り除いてからカバーを閉じてください。
リボンジャム＊1、＊2	インクリボンがつまっています。 つまったインクリボンを取り除いてから新しいインクリボンをセットし、カバーを閉じてください。
プリンタ装置エラー＊1	プリンタで障害が発生しています。 プリンタの電源を入れ直してください。
電源OFF/ケーブル断	電源がOFFかケーブルが接続されていません。 プリンタの電源とケーブル接続を確認してください。
ネットワークエラー	ネットワークエラーが発生しています。 ネットワークの接続を確認してください。
情報取得エラー	プリンタの情報が取得できません。 このプリンタに対応していないプリンタドライバを使用して印刷中かもしれません。しばらくお待ちください。

＊1　高度監視時のみ表示

＊2　MultiImpact 700LX2 ではサポートしていません。

複数のプリンタを監視している場合は、プリンタエラー>プリンタ警告>プリンタ通常の優先度でアイコンを表示します。

付録
技術情報

ここでは、本プリンタの初期状態、文字コード、その他の技術情報について説明します。

初期状態

プリンタの電源スイッチをONにしたとき、ソフトウェアリセット（ESC c1）、パラメータリセット（ESC c8）、強制リセットをしたとき、およびインタフェース信号INPUT PRIMEを受信したときの初期状態を次に示します。【　】は工場設定です。

項目	電源ON	強制リセット	ESC c1	INPUT PRIME	ESC c8
用紙長	【66行（11インチ）】または「パラメータ設定」の「用紙長」の設定値による			変化しない	
ボトム領域	なし			変化しない	
垂直タブセット位置	チャンネル2：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 チャンネル3〜6：なし			変化しない	
用紙行位置	現在行を第1印刷行（T.O.F）位置とする				
レフトマージン幅	000				
ライトマージン幅	**【136】**または80（メモリスイッチ2-7による）				
水平タブセット位置	なし				
行メモリ	クリア				
行メモリアドレス	最左端相当位置				
改行幅	4.23mm（1/6インチ）				
キャラクタモード	**【カタカナモード（8ビットコード）】**または英数モード（7ビットコード）（メモリスイッチ2-6による）				
グラフィックモード	**【ネイティブモード】**またはコピーモード（メモリスイッチ2-3による）				
印刷モード	**【HDパイカ】**またはHSパイカ（メモリスイッチ2-5による）				
セレクト／ディセレクト	セレクト ただし用紙なしの時はディセレクト			変化しない ただし用紙なし時 はディセレクト	変化しない
印刷方向（文字）	**【両方向最短】**または片方向（メモリスイッチ2-8による）				
改行方向	順方向改行				
拡大印刷	解除				
強調印刷	解除				
ラインの指定	アンダライン				
ラインの太さの指定	細線				
ライン印刷モード	解除				
外字登録	未登録状態（クリア）				クリアしない
ダウンロード文字登録	未登録状態（プリンタ内蔵文字印刷モード）				クリアしない
半角縦印刷	解除				
半角組文字縦印刷	解除				
漢字文字幅	3.81mm（3/20インチ）				
漢字文字サイズ	10.5ポイント				
スクリプト文字	解除				
高速印刷	**【解除】**または選択（メモリスイッチ4-5による）				変化しない
カラー	黒				
シートフィーダ	全排出実行、用紙なし状態解除				第1印刷行 （T.O.F）位置で は排出しない
ミシン目スキップ	**【スキップしない】**またはスキップする（メモリスイッチ3-8による）				
印刷方向（ドット列）	片方向または**【両方向】**（メモリスイッチ2-8、4-4による））				
カット紙センタリング位置	40/10インチまたは設定値（パラメータ設定による）				
連続紙センタリング位置	36/10インチまたは設定値（パラメータ設定による）				
漢字書体	明朝体		変化しない		
ANK文字フォント	**【標準】**、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B（パラメータ設定による）				変化しない

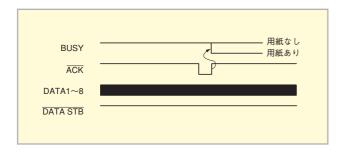
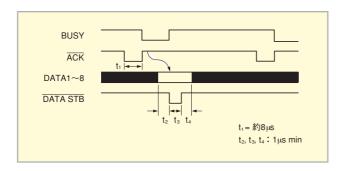
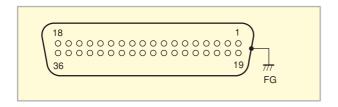
項目	電源ON	強制リセット	ESC c1	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	ESC c8
ハガキ印刷モード	**【解除】**または選択（パラメータ設定による）		変化しない		
固定ドットスペース	解除				
倍率設定	解除				
縮小組文字縦印刷	解除				
文字修飾	解除				
縮小印刷	解除		変化しない		
漢字コード表	**【1978年】**、1983年、1990年（パラメータ設定による）				

インタフェース

インタフェース信号の機能

ピン番号	信号名	略称	方向 ﾌﾟﾘ⇔ｺﾝﾋﾟｭ ﾝﾀ　ｰﾀ	機能
1	データストローブ	$\overline{\mathrm{DATA\ STB}}$	←	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。LOWのままでは次の動作を開始しない。 DATA1～8 / DATA STB / BUSY / 1μs min 1μs min 1μs min
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。パルス幅は最小3μsとする。
10	アクノレッジ	$\overline{\mathrm{ACK}}$	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約8μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能（BUSY）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● ディセレクト中のとき。 ● INPUT PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT PRIME信号がHIGHになるまでの間。 ● データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間。
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙の有無を示す。
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。
14	オートフィード	$\overline{\mathrm{AUTOFEED}}$	←	IEEE1284準拠モードの場合、逆方向通信の時使用する。
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	→	プリンタが電源投入状態であることを示す。
19～30	TWISTED PAIRGND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	$\overline{\mathrm{INPUT\ PRIME}}$	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。定常状態はHIGHである。
32	フォルト	$\overline{\mathrm{FAULT}}$	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 ● ディセレクト中のとき。 ● プリンタがエラー状態のとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34, 35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	$\overline{\mathrm{SELECT\ IN}}$	—	IEEE1284準拠モードにする信号

タイムチャート

● 電源ON時

● データ受信時

コネクタピン配置

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DATA STB	11	BUSY	21*	TWISTED PAIR GND	31	INPUT PRIME
2	DATA 1	12	PE	22*	TWISTED PAIR GND	32	FAULT
3	DATA 2	13	SELECT	23*	TWISTED PAIR GND	33	SG
4	DATA 3	14	AUTOFEED	24*	TWISTED PAIR GND	34	（将来の拡張用）
5	DATA 4	15	（将来の拡張用）	25*	TWISTED PAIR GND	35	（将来の拡張用）
6	DATA 5	16*	SG	26*	TWISTED PAIR GND	36	SELECT IN
7	DATA 6	17	FG	27*	TWISTED PAIR GND		
8	DATA 7	18	DCN	28*	TWISTED PAIR GND		
9	DATA 8	19*	TWISTED PAIR GND	29*	TWISTED PAIR GND		
10	ACK	20*	TWISTED PAIR GND	30*	TWISTED PAIR GND		

＊　これらのピン端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1～8	+5V 1KΩ 470pF 10KΩ LS04または LS14相当品

信号名	回路形式
$\overline{\text{DATA STB}}$ $\overline{\text{INPUT PRIME}}$	+5V 1KΩ 470pF 470Ω LS04または LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ PE SELECT DCN	LS244相当品 470pF

信号名	回路形式
BUSY	100Ω LS244 相当品 470pF

文字コード表

本プリンタは、8ビットコード、7ビットコードのうちの1つと漢字コードを使用することができます。
8ビットコードと7ビットコードの切り替えはメモリスイッチ2-6によって行います。工場設定は8ビットコードです。
また、メモリースイッチ1-1〜1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は各国特殊文字の入らないコードです。
漢字コードは、半角文字、JIS第1水準の漢字や記号など、およびJIS第2水準の漢字を印刷するのに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります（JIS 1978年版準拠）。

<table>
<tr><th rowspan="5">文字種
印刷モード</th><th colspan="3">ANK</th><th rowspan="3">CG
グラフィック
56種</th><th>ANK</th><th rowspan="5">漢字*
7014種</th></tr>
<tr><th>英数字・記号
(SPを含む)
96種</th><th>カタカナ・記号
63種</th><th>ひらがな
55種</th><th rowspan="3">各国文字
15種</th></tr>
<tr><th colspan="3">214種</th></tr>
<tr><th colspan="4">270種</th></tr>
<tr><th colspan="5">285種</th></tr>
<tr><td>NHSパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>HDパイカモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>コンデンスモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>エリートモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>プロポーショナルモード</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td></tr>
<tr><td>漢字モード</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td></tr>
</table>

○：印刷可能

＊　漢字の詳細：

JIS第1水準漢字	2965種	計　7014種
JIS第2水準漢字	3384種	
記号（SPを含む）	108種	
英数字	62種	
ひらがな	83種	
カタカナ	86種	
ギリシャ文字	48種	
ロシア文字	66種	
半角文字（SPを含む）	212種	

1バイト系コード表

8ビットコード表

8ビットコード表　―カタカナモード―

b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
				b8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
				b7	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
				b6	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
				b5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	タ	ミ	＝	╳
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

8ビットコード表　―ひらがなモード―

b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
				b8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
				b7	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
				b6	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
				b5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	▁	┴		ー	た	み	＝	╳
0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	あ	ち	む	╞	円
0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	い	つ	め	╪	年
0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▄	├	」	う	て	も	╡	月
0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▅	▔	、	え	と	や	◢	日
0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	
1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	
1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	♦	
1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	
1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

7ビットコード表

b8	b7	b6	b5						0 または 1							
	↓								0	0	0	0	1	1	1	1
		↓							0	0	1	1	0	0	1	1
			↓						0	1	0	1	0	1	0	1
b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7
				0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q
				0	0	1	0	2		DC2	"	2	B	R	b	r
				0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s
				0	1	0	0	4	EOT	DC4	注2	4	D	T	d	t
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10
				1	1	0	1	D	CR	GS	-	=	M	注6	m	注11
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o	

注13（2〜5列）

<注1〜注12>　各国特殊文字
（メモリースイッチ1-1〜1-3で切り替えます）。

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

<注13>　2〜5列はキャラクタモードによって以下のように切り替わります。

行＼列	CGグラフィックモード				ひらがなモード				カタカナモード			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5
0	▁	┴	═	╳		ー	た	み		ー	タ	ミ
1	▂	┬	╞	円	。	あ	ち	む	。	ア	チ	ム
2	▃	┤	╪	年	「	い	つ	め	「	イ	ツ	メ
3	▄	├	╡	月	」	う	て	も	」	ウ	テ	モ
4	▅	▔	◢	日	、	え	と	や	、	エ	ト	ヤ
5	▆	─	◣	時	・	お	な	ゆ	・	オ	ナ	ユ
6	▇	│	◥	分	を	か	に	よ	ヲ	カ	ニ	ヨ
7	█	▕	◤	秒	ぁ	き	ぬ	ら	ァ	キ	ヌ	ラ
8	▏	┌	♠		ぃ	く	ね	り	ィ	ク	ネ	リ
9	▎	┐	♥		ぅ	け	の	る	ゥ	ケ	ノ	ル
A	▍	└	♦		ぇ	こ	は	れ	ェ	コ	ハ	レ
B	▌	┘	♣		ぉ	さ	ひ	ろ	ォ	サ	ヒ	ロ
C	▋	╭	●		ゃ	し	ふ	わ	ャ	シ	フ	ワ
D	▊	╮	○		ゅ	す	へ	ん	ュ	ス	ヘ	ン
E	▉	╰	╱		ょ	せ	ほ	゛	ョ	セ	ホ	゛
F	┼	╯	╲		っ	そ	ま	゜	ッ	ソ	マ	゜

漢字コード表（2バイト系コード表）

チェック

本プリンタでは,従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表にも対応しています。それらをコンピュータから切り替えるときは、拡張制御コードをご使用ください。詳しくは、(「FS 05F 漢字コード表の選択」(174ページ))をご覧ください。

次の漢字コード表（半角文字、全角文字—JIS第1水準—、全角文字—JIS第2水準—）は、JIS1978年版に準拠しています。

漢字コード表　—半角文字—

行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

＜注＞　0列、0030行の「0」の書体はメモリスイッチ3-7により「 Ø 」に変更できます。

漢字コード表　―全角文字（JIS第1水準）―

第2バイト 第1バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓																															
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я												
28																																													
29																																													
2A																																													
2B																																													
2C																																													
2D																																													
2E																																													
2F																																													
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫

漢字コード表　—全角文字（JIS第1水準）—（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ							ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω																																						
			а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
藁	蕨	椀	湾	碗	腕																																											

漢字コード表　―全角文字（JIS第2水準）―

第1バイト＼第2バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤
52	辦	勛	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑
58	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷
59	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈
5A	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩
5C	棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝
62	癩	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷
64	筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆
67	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢
69	蕁	蕊	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞
70	陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈
71	顴	顳	顱	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘
72	髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺
73	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝
74																																													

漢字コード表　—全角文字（JIS第2水準）—（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
嶋	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
拯	拮	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
攣	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
猗	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
衫	袁	衾	衰	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
霾	霽	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
騖	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠

テスト印刷サンプル

（30%縮小）

←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第1水準）

←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第2水準）

←2バイト系　明朝体　半角文字
←1バイト系　標準　HDパイカ文字
←1バイト系　標準　NHSパイカ文字
←1バイト系　標準　コンデンス文字
←1バイト系　標準　エリート文字
←1バイト系　標準　プロポーショナル文字
←1バイト系　イタリック　HDパイカ文字
←1バイト系　イタリック　NHSパイカ文字
←1バイト系　イタリック　コンデンス文字
←1バイト系　イタリック　エリート文字
←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字
←1バイト系　クーリエ　HDパイカ文字
←1バイト系　クーリエ　NHSパイカ文字
←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字
←1バイト系　クーリエ　エリート文字
←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字
←1バイト系　ゴシック　HDパイカ文字
←1バイト系　ゴシック　NHSパイカ文字
←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字
←1バイト系　ゴシック　エリート文字
←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字
←2バイト系　ゴシック　全角文字（第1水準）

（以下省略）

制御コード一覧

以下の制御コード表の詳細については、別売の「日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル」を参照してください。

基本制御コード表

○：有

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
印刷	CR	0D	印刷し復帰	○
改行	LF	0A	1行改行	○
水平タブの実行	HT	09	水平タブ位置へ移動	○
垂直タブの実行	VT	0B	垂直タブ位置へ移動	○
改ページ	FF	0C	改ページ	○
倍角文字コード および キャラクタモード	SO	0E	倍角文字モード設定（8ビットコード）	○
			カタカナモード設定（7ビットコード）	○
	SI	0F	倍角文字モード解除（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	○
	DC2	12	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード設定（7ビットコード）	○
	DC4	14	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード解除（7ビットコード）	○
キャンセル	CAN	18	バッファの印刷データをキャンセル	○
セレクト／ディセレクト	DC1	11	セレクト状態にする	○
	DC3	13	ディセレクト状態にする	○
VFUの設定	GS	1D	VFUの設定開始	○
	RS	1E	VFUの設定終了	○
n行改行	US	1F	0～72行改行	○
VFUの実行			VFUの実行	○
外字の登録終了	EOT	04	外字の登録終了	○
同期コード*	EM	19	印刷動作が終了するまでデータを受け付けない	○

＊マークの付いているコードは新しく追加されたコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（173ページ）をご覧ください。

拡張制御コード表

○：有、×：無

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
印刷モード	ESC N	1B 4E	HSパイカモード設定	○
	ESC H	1B 48	HDパイカモード設定	
	ESC Q	1B 51	コンデンスモード設定	
	ESC E	1B 45	エリートモード設定	
	ESC P	1B 50	プロポーショナルモード設定	
	ESC K	1B 4B	漢字（横印刷）モード設定	
	ESC t	1B 74	漢字（縦印刷）モード設定	
HSパイカモード	ESC n 0	1B 6E 30	NHSパイカモード設定	×
	ESC n 1	1B 6E 31	SHSパイカモード設定	
キャラクタモード	ESC $	1B 24	カタカナモード設定（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	
	ESC &	1B 26	ひらがなモード設定（8ビットコード）	
			ひらがなモード設定（7ビットコード）	
	ESC #	1B 23	無効（8ビットコード）	
			CGグラフィックモード設定（7ビットコード）	
スクリプト文字モード	ESC s 1	1B 73 31	スーパスクリプト文字モード設定	○
	ESC s 2	1B 73 32	サブスクリプト文字モード設定	
	ESC s 0	1B 73 30	スクリプト文字モード解除	
外字	ESC +	1B 2B	外字（24 x 24ドット）の登録	○
	ESC ＊	1B 2A	外字（16 x 16ドット）の登録	○
ダウンロード文字	ESC ℓ	1B 6C	ダウンロード文字の登録	○
	ESC ℓ+	1B 6C 2B	ダウンロード文字印刷	○
	ESC ℓ-	1B 6C 2D	プリンタ内蔵文字印刷	○
	ESC ℓ0	1B 6C 30	ダウンロード文字クリア	○
文字の拡大	ESC e	1B 65	縦横拡大率指定	○
キャラクタリピート	ESC R	1B 52	キャラクタリピート	○
強調印刷モード	ESC !	1B 21	強調印刷モード設定	○
	ESC "	1B 22	強調印刷モード解除	
アンダライン／オーバライン	ESC X	1B 58	ライン印刷モード設定	○
	ESC Y	1B 59	ライン印刷モード解除	○
	ESC _	1B 5F	ラインの指定	○
	FS 0 4 L	1C 30 34 4C	ラインの太さの指定	○
高速印刷モード	ESC d 0	1B 64 30	高速印刷モード設定	○
	ESC d 1	1B 64 31	高速印刷モード解除	
ドットスペース	ESC [00]$_H$	1B 00	0ドットスペース	○
	ESC [01]$_H$	1B 01	1ドットスペース	
	ESC [02]$_H$	1B 02	2ドットスペース	
	ESC [03]$_H$	1B 03	3ドットスペース	
	ESC [04]$_H$	1B 04	4ドットスペース	
	ESC [05]$_H$	1B 05	5ドットスペース	
	ESC [06]$_H$	1B 06	6ドットスペース	
	ESC [07]$_H$	1B 07	7ドットスペース	
	ESC [08]$_H$	1B 08	8ドットスペース	
	FS w	1C 77	固定ドットスペース	
ドット列印刷モード	ESC S	1B 53	8ビットドット列対応グラフィック印刷モード	○
	ESC I	1B 49	16ビットドット列対応グラフィック印刷モード	
	ESC J	1B 4A	24ビットドット列対応グラフィック印刷モード	

分類	コード	16新数	機能概要	機能の有無
ドット列印刷モード	ESC V	1B 56	8ビットドット列リピートモード	○
	ESC W	1B 57	16ビットドット列リピートモード	
	ESC U	1B 55	24ビットドット列リピートモード	
	ESC F	1B 46	ドットアドレッシング	
ドット対応グラフィックドット数	ESC D	1B 44	コピーモード設定	○
	ESC M	1B 4D	ネイティブモード設定	
印刷方向	ESC >	1B 3E	片方向印刷モード設定	○
	ESC]	1B 5D	両方向印刷モード設定	
水平タブ	ESC (	1B 28	水平タブセット	○
	ESC)	1B 29	水平タブ部分クリア	
	ESC 2	1B 32	水平タブオールクリア	
簡易VFU	ESC v	1B 76	VFUのセット	○
マージン	ESC L	1B 4C	レフトマージン設定	○
	ESC /	1B 2F	ライトマージン設定	
漢字半角文字の縦印刷モード	ESC h 1	1B 68 31	漢字半角文字の縦印刷モード設定	○
	ESC h 0	1B 68 30	漢字半角文字の縦印刷モード解除	
	ESC q	1B 71	漢字半角の組文字縦印刷モード設定	
倍率設定と縮小文字の組文字印刷モード	FS m	1C 6D	倍率設定	○
	FS P	1C 50	縮小文字の組文字印刷モード設定	
漢字文字幅と漢字文字サイズ	FS A	1C 41	漢字文字幅3/20インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	○
	FS B	1C 42	漢字文字幅1/5インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	
	FS C	1C 43	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント	
	FS D	1C 44	漢字文字幅2/15インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント相当	
	FS F	1C 46	漢字文字幅1/10インチ、漢字文字サイズ7ポイント相当	
	FS G	1C 47	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ12ポイント相当	
漢字文字幅	FS p	1C 70	漢字文字幅の切り替え	○
漢字文字サイズ	FS 0 4 S	1C 30 34 53	漢字文字サイズの切り替え	○
改行幅	ESC A	1B 41	1/6インチ改行モード設定	○
	ESC B	1B 42	1/8インチ改行モード設定	
	ESC T	1B 54	n/120インチ改行モード設定	
改行方向	ESC f	1B 66	順方向改行モード設定	○
	ESC r	1B 72	逆方向改行モード設定	
シートフィーダ制御	ESC a	1B 61	排出後吸入（シートフィーダ装着時）	○
	ESC b	1B 62	排出（シートフィーダ装着時）	○
	FS f	1C 66	ホッパの切り替え（ダブルビンシートフィーダ装着時）	×
ANK文字フォント	ESC O	1B 4F	ANK文字フォントの切り替え	○
	FS 0 6 F	1C 30 36 46	文字フォントの選択	
漢字フォント	ESC O	1B 4F	漢字フォントの切り替え	○
カラー	ESC C	1B 43	カラーの切り替え	×
文字修飾	FS c	1C 63	文字修飾の設定または解除	○
ソフトウェアリセット	FSC c 1	1B 63 31	初期状態にリセット	○
縮小設定*1	FS 0 5 f	1C 30 35 66	縮小印刷の設定	○
書体選択*1	FS 0 6 F	1C 30 36 46	書体の選択	○
パラメータリセット*1	ESC c 8	1B 63 38	初期状態にリセット	○
漢字コード表の選択*1	FS 0 5 F	1C 30 35 46	漢字コード表を選択する	○
カット紙の排出方向モードの切り替え*1	FS 0 2 ER FS 0 2 EF	1C 30 32 45 52 1C 30 32 45 46	カット紙手前側排出モードの設定 カット紙奥側排出モードの設定	○
用紙の選択*1	ESC m 1 ESC m 2	1B 6D 31 1B 6D 32	連続紙（前）用紙モードの設定 カット紙用紙モードの設定	○
	ESC m 3	1B 6D 33	連続紙（後）用紙モードの設定*2	×
バーコード印刷*1	FS '	1C 60	バーコードの印刷	○

＊1　新しく追加されたコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（173 ページ）をご覧ください。

＊2　MultiImpact 700LX2 は、連続紙（後）用紙モードの設定ができません。

次の倍率に関する制御コードはプリンタに依存します。

(1)　ESC e
(2)　FS m

本プリンタの場合は、以下のようになります。

(1)　ESC e（縦横拡大率指定）
　　コマンド仕様
　　ESC e　n1　n2
　　n1:縦拡大率
　　n2:横拡大率
　　n1、n2共に1、2、3、4、6、8を設定可能

(2)　FS m（倍率指定）
　　コマンド仕様
　　FS m　n1/n2、n3/n4、P1.
　　n1/n2:縦倍率
　　n3/n4:横倍率
　　下表の設定となります。

		横倍率　n3/n4								
		1/2	1/1	2/1	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1
縦倍率 n1/n2	1/2	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	1/1	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	2/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	3/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	4/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	5/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	6/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	7/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	8/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○

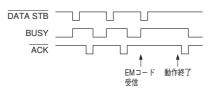
新制御コードのコマンド仕様

201PLリファレンス記載の制御コードに対して、本プリンタに新しく加わる制御コードについて説明します。

EM　　　　　同期コード

	EM
16進	19
10進	25

同期動作を行います。

- 同期コードは印刷開始コードの直後に入れてください。
- 同期コードを受信すると、受信バッファが空になり、印刷および改行などの機械的動作が終了するまで次のデータを受け付けません。
- 同期データ受信後、すべての動作終了までBUSY信号をHIGHに保ちます。すべての動作終了後、BUSY信号をLOWにしてACK信号を出力します。
- 動作例：印刷＋印刷開始コード＋同期コード

FS 05f　　　　　縮小設定

	FS	0	5	f	n_1	n_2	n_3	p_1
16進	1C	30	35	66	n_1	n_2	n_3	p_1
10進	28	48	53	102	n_1	n_2	n_3	p_1

縮小印刷を設定します。
n_1とn_2とn_3は縮小率を表し、組み合わせは次の中から選択します。

1 0 0 …縮小率印刷解除
0 8 0 …4/5縮小印刷
0 6 7 …2/3縮小印刷

p_1は縮小基準位置を表します。設定は次のとおりです。

L …左端基準

- すべての文字コードに対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印刷します。
- 縮小印刷は、操作パネルを使っても設定できます。詳しい操作は2章の「メニューモードの設定方法」(25ページ)を参照してください。
- 縮小印刷は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です
- プリンタがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- ハガキ印刷モードが選択されているとき、またはメモリスイッチの切り替えにより1行の文字数が80桁になっているときは、縮小印刷はできません。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見えにくくなるものがあります。
- 本プリンタは、中央基準をサポートしておりません。

FS 06F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

使用する漢字フォントを直接指定します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}とn_{23}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …明朝体
2 0 0 …ゴシック体
8 5 1 …詳細は「カスタマバーコードを印刷する」（181ページ）を参照してください。
C L R …詳細は「カスタマバーコードを印刷する」（181ページ）を参照してください。

ESC c8　パラメータリセット

	ESC	c	8
16進	1B	63	38
10進	27	99	56

各種パラメータをリセットします。

リセットされる内容については、「初期状態」（154ページ）をご覧ください。

FS 05F　漢字コード表の選択

	FS	0	5	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}
16進	1C	30	35	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}
10進	28	48	53	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}

漢字コード表を選択します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 …JIS 1978年版（JIS C6226-1978）
0 1 …JIS 1983年版（JIS X0208-1983）
0 2 …JIS 1990年版（JIS X0208-1990）

- 本プリンタでは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表に対応しています。漢字コード表をコンピュータから切り替えるときは、この制御コードを使用してください。
- 本プリンタで印刷される文字は、基本的に上記 JIS に準拠していますが、デザイン処理などの都合により、多少字形の異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字とが異なる場合があります。

FS 02 ER　　カット紙手前側排出モードの設定

	FS	0	2	E	R
16進	1C	30	32	45	52
10進	28	48	50	69	82

カット紙を手前側（シートガイド）へ排出します。

FS 02 EF　　カット紙奥側排出モードの設定

	FS	0	2	E	F
16進	1C	30	32	45	46
10進	28	48	50	69	70

カット紙を奥側（スタッカ）へ排出します。

ESC m 1　　連続紙（前）用紙モードの設定

	ESC	m	1
16進	1B	6D	31
10進	27	109	49

印刷する用紙を連続紙（前）にします。

- 連続紙ランプが点灯します。
- カット紙用紙モードになっているときは用紙の排出を行います。

ESC m 2　　カット紙用紙モードの設定

	ESC	m	2
16進	1B	6D	32
10進	27	109	50

印刷する用紙をカット紙にします。

- シートフィーダが装着されているときは、シートフィーダランプが点灯します。
- シートフィーダが装着されていないときは、シートフィーダランプが点灯します。
- 連続紙モードになっているときは用紙を退避します。

特殊文字の印刷

本プリンタでは、「バーコード」と「OCR-B相当フォント」の印刷ができます。印刷するには、それぞれの制御コードを送ります。ここではプリンタ内部のフォントを使用する場合について説明しています。

バーコードを印刷する

- 印刷範囲内であれば、1行にいくつでもバーコードを印刷することができます。ただし、1つのバーコードが次の行にまたがる場合は、そのバーコードは印刷されずにその部分のデータが無効となります。
- 本プリンタで印刷したバーコードは、ドットの組み合わせで印刷するため、本来の規格と多少差異が生じます。したがってバーコードの読み取りは、十分評価を行ってから使用してください。
- インクが薄くなったインクリボンで印刷したバーコードは、読み取りができないことがあります。バーコードを印刷するときはなるべく新しいインクリボンを使用してください。
- バーコードと文字を同一行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。したがってバーコード印刷の制御コードを分解し、改行幅の指定が必要になります。
- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の縦の長さの方が大きい場合、バーコードの下端と下部に印刷される文字が離れることがあります（180ページ参照）。
- JANはJIS B 9550に準拠していますが、レフト／ライトガイドバー、センタバーは下方へ拡大できません。
- 印刷するバーコードの左右には、読み取り用の空白エリアが必要になります。水平タブ（HT）などを使用してください。
- バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4～104.7g/m^2（連量70～90kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。

制御コード

FS'　　バーコード印刷

	FS	`	n_{11}	n_{12}	,	n_2	,	n_3	,	n_{41}	n_{42}	,
16進	1C	60	n_{11}	n_{12}	2C	n_2	2C	n_3	2C	n_{41}	n_{42}	2C
10進	28	96	n_{11}	n_{12}	44	n_2	44	n_3	44	n_{41}	n_{42}	44

n_{51}	n_{52}	n_{53}	,	n_{61}	n_{62}	.
n_{51}	n_{52}	n_{53}	2C	n_{61}	n_{62}	2E
n_{51}	n_{52}	n_{53}	44	n_{61}	n_{62}	46

バーコードを印刷します。

n11、n12は2桁の10進数を指定します。

0 1 …NW-7（スタート／ストップキャラクタ指定）
0 2 …NW-7
0 3 …JAN標準
…JAN短縮
0 4 …CODE 39
0 5 …INDUSTRIAL 2 OF 5
0 6 …INTERLEAVED 2 OF 5

n2は1桁の10進数で、0、1、2のいずれかを指定します。

0 …ヒューマンリーダブルエリアの印刷なし
1 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの下部に印刷する
2 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの上部に印刷する

n3は2、3、4のいずれかのモジュール幅を1桁の10進数で指定します。

n41、n42は2桁の10進数で30を指定します。

3 0 …3:1（ワイド：ナロー＝3:1）

n51、n52、n53は0〜9までの数字で、バーコードの縦の長さ（n/160インチ）を3桁の10進数で指定します。

n61、n62は0〜9までの数字で、バーコードの桁数を2桁の10進数で指定します。

- バーコードを印刷するには、この制御コードに引き続き、n61、n62で指定した桁数分のバーコードデータを送ります。
- n11、n12が01であるときは、NW-7のスタート／ストップキャラクタの指定になります。このとき、n2〜n5は省略し、n6には2を指定します。この制御コードに引き続きスタートキャラクタとストップキャラクタを送ります。
- スタート／ストップキャラクタのディフォルト値はともに“a”とします。
- JAN標準（13桁）と短縮（8桁）の区別は、n61、n62に指定されたデータの桁数によって行います。
- ヒューマンリーダブルエリアは、バーコードの下部、または上部に OCR-B 文字にて指定されたデータキャラクタを印刷します。
- モジュール幅とは、バー 1本の印刷ドット数を意味します。
- INTERLEAVED 2 OF 5のデータ桁数は、偶数で指定してください。
- バーコードの縦の長さ（n/160インチ）のnの範囲は、1≦n≦999です。ただしn=0が指定された場合は、現在設定されている改行幅がバーコードの縦の長さになります。したがって、改行幅の切り替え機能と組み合わせることによって、最小0.212mm（1/120インチ）単位での設定が可能となります。ただし、実際の印刷はドットピッチで行うため、0.159mm（1/160インチ）単位で変換されます。

バーコードの概要

バーコードに関する概要を説明します。

バーコードの種類

名称	機能概要		桁数
NW-7（コーダバー）	データ	数字　0〜9（10個）＊1 記号　ー＄：／．＋（6個）	可変（34）
	スタート、ストップ	abcdetn＊ABCDETN（15個）	
JAN標準	データ	数字　0〜9（10個）	12+CD＊2（13）
	レフトガードバー、センタバー、ライトガードバー		
JAN短縮	同上		7+CD（8））
Code 39	データ	数字　0〜9（10個） 英字　A〜Z（26個） 記号　ー＄／．＋%SP（7個）	可変（34）
	スタート、ストップ	＊	
Industrial 2 OF 5	データ	数字　0〜9（10個）	可変（34）
	スタート、ストップ		
Interleaved 2 OF 5	データ	数字　0〜9（10個）	可変（34） （ただし偶数のみ）
	スタート、ストップ		

＊1　桁数の（　）内は最大桁数を表します。

＊2　CD とは、「チェックディジット」のことです。

バーコード指令の概要

バーコードは次の表のとおり、6つのパラメータで形成され、それぞれの指令により各種のバーコードが印刷できます。

パラメータ	概要
P1	バーコードの種類を指定する。
P2	ヒューマンリーダブルエリアの有無を指定する。
P3	バーコードのモジュール幅をドット数で指定する。
P4	バーコードのワイドバーとナローバーの横の長さの比を指定する。
P5	バーコードの縦の長さをドット数（n/160インチ）で指定する。
P6	バーコードデータの桁数を指定する。チェックディジットは本プリンタでは自動付加しないためコンピュータから出力する。

バーコードの横の長さ

各バーコード種別によるバーコードの横の長さの算出は次のとおりです。

単位：ドット

種別	スタートバー	ストップバー	センタバー	データバー	備考
NW-7	14	13	—	14/12	0～9—$は12ドット ：／.+は14ドット
JAN標準	3	3	5	7	合計95ドット
JAN短縮	3	3	5	7	合計67ドット
Code 39	16	15	—	16	—
Industrial 2 OF 5	10	9	—	14	—
Interleaved 2 OF 5	4	5	—	18	データキャラクタ2桁で1個のデータバーとする

ただし、表はモジュール幅が1ドットの場合であり、実際のモジュール幅は「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせて求めることができます。JANの場合は、合計ドット数に「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせ求めることができます。

例：　NW-7（モジュール幅：3、桁数：6）

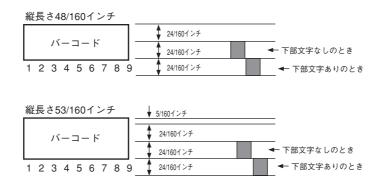
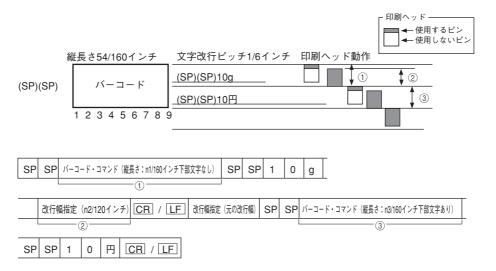
モジュール幅　スタート　データ　ストップ　　　インチ・ミリ概算（固定）　印刷ドット密度（固定）

3　x（14　+（12x6）+　13）＝297　→　297 x 25.4　÷　160≒ 47mm

バーコード印刷時は、「上記で求めた長さ＋余白の長さ」が印刷範囲を超えないように注意してください。

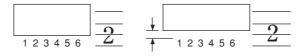
バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意

- 印刷開始位置は、次に印刷する文字の左上をバーコードの左上として印刷します。

- バーコード印刷は、印刷ヘッドの24ピン（24/160インチ）を基準に印刷処理を行うため、改行ピッチとの間にギャップがあるので、印刷終了時の印刷ヘッドの位置に注意してください。

- バーコードと通常の文字を同じ行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。その場合は、バーコードコマンドを分解し、n/120インチ改行命令により改行する必要があります。

① 文字ピッチ分のバーコードの幅の長さを指定します。
バーコードの縦の長さ ＝ 改行ピッチ
＝ 1/6インチ
≒ 27/160インチ＊[1]
n1=27

② ①のコマンド終了時に、印刷ヘッドを次の印刷行に改行させせます。
改行幅 ＝ 印刷ヘッドの高さ
＝ 24/160インチ
＝ 18/120インチ
n2=18

③ 残りのバーコードを印刷します。
残りのバーコードの縦の長さ ＝ バーコードの縦の長さ－①のコマンドの縦の長さ
＝ 54/160-27/160インチ
＝ 27/160インチ
n3=27

- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の長さの方が大きい場合、バーコードの下端とその下部の文字が離れる場合があります。

＊1 バーコードの縦の長さを1/160インチに換算したときの端数は保持されます。この端数の累積による印刷位置ずれを防ぐためには、改ページコード（FF）で改ページするか、1/160インチ換算で端数のないバーコードの縦の長さを設定してお使いください。

カスタマバーコードを印刷する

本プリンタでは、カスタマバーコードは、通常の漢字と同様に2バイト文字として扱われます。したがって、201PLで定義された文字制御（文字幅、文字サイズ、アンダーライン、文字修飾など）の影響を受けます。しかし、カスタマバーコードの仕様から逸脱した文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾などが行われると、読み取り機で読み取れなくなってしまいますので注意が必要です。カスタマバーコードは文字サイズ9.5ポイント、文字幅3.39mm（2/15インチ）の設定で印刷してください。

カスタマバーコードに盛り込む情報は、文字、-（ハイフン）、およびアルファベットから構成される新郵便番号および住所表示番号*です。ただし住所の方書き部分にビル、マンション等の棟・室番号などが存在する場合には、これを含めます。（＊住所番号とは住所の文字部分をハイフンで結んだものであり、住所表示実施地域については丁目一番一号まで、住居表示未実施地域については番地一枝番までの情報を基本とします）。

- 住所表示実施地域の例
  〒153　世田谷区若林3丁目16番4号
  ↓
  154-0023　3-16-4
  新郵便番号　住所表示番号
- 住所表示実施地域の例
  〒213　川崎市高津区溝口1207-4
  ↓
  213-0001　1207-4
  新郵便番号　住所表示番号

カスタマバーコードフォントを指定する制御コード

<2バイト文字書体の選択>

[FS][0][6][F][2][-][n1][n2][n3]
[n1][n2][n3]は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。
851　カスタマバーコード書体（回転なし）
CLR　2バイト文字書体を初期状態に戻す。

カスタマバーコードのフォーマット

以下にカスタマバーコードのフォーマットを示します。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号をつなぐハイフンは省くものとします。また、英字1文字は、制御コードと数字コードの組み合わせにより実現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックディジット＋ストップコード
バーコード桁数：　(1)　(7)　(13)　(1)　(1)

<住所表示番号が規定の桁数13桁に対して過不足のある場合>

- 13桁を超える場合　13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目にあたる場合、この制御コードに該当するバーコードまでを含めるものとする。
- 13桁に満たない場合　13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとする。

また、チェックディジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数になるように生成する。
各キャラクタのチェック用数字への置き換えは、次のとおりです。

キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

＜住所表示番号を抜き出すルール＞

- 町域名以降の住所から、住所表示番号を抜き出す基本ルールは次のようになります。

① アルファベットの小文字は大文字に置き換える。
② “&”、“／”、“・”、“.”は取り除き、後ろのデータをつめる。
③ ①、②で整理されたデータから算用数字、ハイフン、連続していないアルファベット1文字を必要な文字情報として抜き出す。
④ 抜き出された文字の前にある「漢字」、「かな文字」、「カタカナ文字」、「漢数字」、「2文字以上連続したアルファベット文字」、「ブランク」はハイフン1文字に置き換える。
⑤ ④の置き換えで、ハイフンが連続する場合には1つにまとめる。
⑥ 先頭がハイフンの場合は取り除く。

- さらに次のような補足ルールがあります。

① 漢数字が下記の特定文字の前にある場合は抜き出し対象とし、算用数字に変換して抜き出す。
特定文字：「丁目」、「丁」、「番地」、「番」、「号」、「地割」、「線」、「の」、「ノ」
② 連続していないアルファベット 1文字は抜き出し対象となるが、算用数字に続くアルファベット1文字‘F’に限っては抜き出し対象としない。
③ ②に記述したように、算用数字に続くアルファベット1文字‘F’は抜き出し対象とならないが、さらに、‘F’以降のデータに抜き出し対象となる文字がある場合、F’はハイフン1文字に置き換える。
④ 抜き出し後のバーコードデータについて、アルファベット文字の前後にあるハイフンは取り除く。
⑤ ④の処理でアルファベット文字の前後に当たるハイフンを取り除いた結果、2文字以上の連続したアルファベット文字が残った場合、取り除かないでそのままにする。

例）　住所表示番号抜き出し例

東3丁目ー20ー5　郵便・A&bコーポB603号
　↓　（基本ルール①）
東3丁目ー20ー5　郵便・A&BコーポB603号
　↓　（基本ルール②）
東3丁目ー20ー5　郵便ABコーポB603号
　↓　（基本ルール③、④）
ー3ーー20ー5ーB603
　↓　（基本ルール⑤、⑥）
3ー20ー5ーB603
　↓　（補足ルール④）
3ー20ー5B603

例）カスタマバーコードの生成例

- 住所
千葉県鎌ケ谷市右京塚　東3丁目ー20ー5　郵便・A&bコーポB603号
- 新郵便番号（273ー0102）＋住所表示番号（3ー20ー5B603）
273ー01023ー20ー5B603
- 郵便番号の3〜4桁目間のハイフンを省く
27301023ー20ー5B603
- 英字は制御コード＋数字に置き換える
27301023ー20ー5CC1　1　603
- 住所表示部分が13桁になるまで制御コードCC4を付加する
27301023ー20ー5CC1　1　603　CC4　CC4
- チェックディジット（CD）を計算する
2+7+3+0+1+0+2+3+10+2+0+10+5+11+1+6+0+3+14+14+CD=94+CD=19の倍数
CD=(19 x 5)ー94=1
- CD、スタートコード、ストップコードを付加する
STC　27301023ー20ー5CC1　1　603　CC4　CC4　1　SPC
- それぞれのコードを読み取る
＜27301023ー20ー5a1603dd1＞
- プリンタの印刷モードを漢字（横印刷）モード設定にするため、ESC Kコマンドをプリンタに送信する。
- 読み替えたコードを2バイト文字でプリンタに送信する。

カスタマバーコードのコード体系

- 数字（0～9）
- ハイフンおよびスタート・ストップコード
- 制御コード（英語用制御コード3種・予備用制御コード5種）
- 英字（A～Z）

以下の文字コード以外が指定されたときは、全角スペースを印刷します。

数字

キャラクタ	0	1	2	3	4
コード割付	2330h 数字「0」	2331h 数字「1」	2332h 数字「2」	2333h 数字「3」	2334h 数字「4」
カスタマバーコード					
コード組合せ	－	－	－	－	－
バー種類	144	114	132	312	123

キャラクタ	5	6	7	8	9
コード割付	2335h 数字「5」	2336h 数字「6」	2337h 数字「7」	2338h 数字「8」	2339h 数字「9」
カスタマバーコード					
コード組合せ	－	－	－	－	－
バー種類	141	321	213	231	411

ハイフンおよびスタート・ストップコード

キャラクタ	－	スタート（STC）	ストップ（STP）
コード割付	215Dh マイナス「－」	2163h 不等号「<」	2164h 不等号「>」
カスタマバーコード			
コード組合せ	－	－	－
バー種類	414	13	31

制御コード（英字用制御コード、予備用制御コード）

英字用制御コード

キャラクタ	CC1	CC2	CC3
コード割付	2361h 英数字「a」	2362h 英数字「b」	2363h 英数字「c」
カスタマバーコード			
コード組合せ	–	–	–
バー種類	324	342	234

予備用制御コード

キャラクタ	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
コード割付	2364h 英数字「d」	2365h 英数字「e」	2366h 英数字「f」	2367h 英数字「g」	2368h 英数字「h」
カスタマバーコード					
コード組合せ	–	–	–	–	–
バー種類	432	243	423	441	111

英字

キャラクタ	A	B	C	D	E
コード割付	2361h+ 2330h	2361h+ 2331h	2361h+ 2332h	2361h+ 2333h	2361h+ 2334h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC1+0	CC1+1	CC1+2	CC1+3	CC1+4
バー種類	324144	324114	324132	324312	324123

キャラクタ	F	G	H	I	J
コード割付	2361h+ 2335h	2361h+ 2336h	2361h+ 2337h	2361h+ 2338h	2361h+ 2339h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC1+5	CC1+6	CC1+7	CC1+8	CC1+9
バー種類	324141	324321	324213	324231	324411

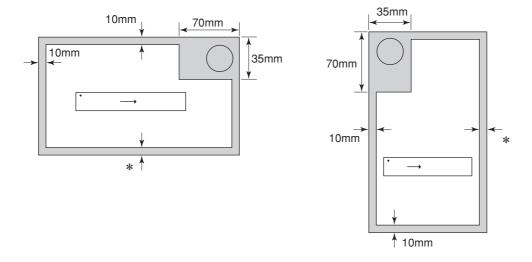
キャラクタ	K	L	M	N	O
コード割付	2362h+ 2330h	2362h+ 2331h	2362h+ 2332h	2362h+ 2333h	2362h+ 2334h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC2+0	CC2+1	CC2+2	CC2+3	CC2+4
バー種類	342144	342114	342132	342312	342123

キャラクタ	P	Q	R	S	T
コード割付	2362h+ 2335h	2362h+ 2336h	2362h+ 2337h	2362h+ 2338h	2362h+ 2339h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC2+5	CC2+6	CC2+7	CC2+8	CC2+9
バー種類	342141	342321	342213	342231	342411

キャラクタ	U	V	W	X	Y
コード割付	2363h+ 2330h	2363h+ 2331h	2363h+ 2332h	2363h+ 2333h	2363h+ 2334h
カスタマバーコード					
コード組合せ	CC3+0	CC3+1	CC3+2	CC3+3	CC3+4
バー種類	234144	234114	234132	234312	234123

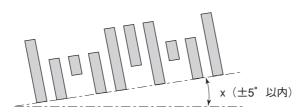
キャラクタ	Z
コード割付	2363h+ 2335h
カスタマバーコード	
コード組合せ	CC3+5
バー種類	234141

カスタマバーコードの印刷位置

カスタマバーコードの上下左右には2mm以上の余白を設けるものとなっています。ただし、窓枠の上下左右とカスタマバーコードの間の空白は封筒と内容物のズレにかかわらず、常に2mm以上必要です。
宛名を横書きする場合には、宛先氏名の直下にカスタマバーコードを単独で印刷します。
宛名を縦書きする場合には、左右または下部に単独で印刷します。
カスタマバーコードは郵便物の表面縁から10mmおよび消印領域である70mm x 35mmを除いた範囲内で印刷することができます。
ただし、＊部分はできるだけ15mm以上空けてください。
印刷方向は「・」を先頭とし、→の方向です。

カスタマバーコードが印刷される下地

カスタマバーコードが印刷されるバーコードの下地は白色または地模様のない淡い色のみです。

カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が、5度以内となるようにしてください。

使用するインクリボン

カスタマバーコードを印刷する時は黒のなるべく新しいインクリボンを使用してください。インクが薄くなったインクリボンで印刷するとバーコード読み取りができなくなる場合があります。

印刷品質

カスタマバーコード印刷面には反射率50%以上の紙を使用してください。印刷面とカスタマバーコードとの反射率PCSは0.6以上必要です。また、カスタマバーコードにはインクのにじみやかすれなどがないようにしてください。

OCR-B相当フォントを印刷する

OCR-B相当フォントとは次のようなフォントです。

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOI

以下の制御コードでANK文字の書体をOCR-B相当に指定することにより、ANK文字を印刷する際の書体がOCR-B相当になります。

FS 0 6 F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

ANK文字フォントのうちどれを使うかを直接指定します。

n_1は“1”にします。
n21、n22、n23の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …標準フォント
0 0 1 …イタリック
0 0 2 …クーリエ
0 0 3 …ゴシック
0 0 4 …OCR-B相当

索引

記号

N

O

P

W

ア

イ

オ

カ

キ

ケ

コ

シ

セ

タ

テ

ト

ハ

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ヨ

リ

レ

ロ

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会 のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策に基づく表示）

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕 様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。